

令和5年度
堺市市民意識調査
報告書

堺 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
	あなたご自身のことについて	2
A	堺のまちについて	9
B	安全・安心について（防災・防犯・子育て・健康・介護等）	12
C	都市魅力について（文化・観光・産業・環境等）	33
D	転入、転出について	62
III	調査票	72

I 調査の概要

1 調査の目的

市民のみなさまの日常生活における意識や行動に関するお考えをお聞かせいただき、今後の市政運営に活かすことを目的とします。

2 調査対象

無作為抽出した堺市在住の18歳以上の市民5,000人

3 調査期間

令和6年1月12日から令和6年1月26日

4 調査方法

郵送またはインターネットによる配布・回収

5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
5,000通	2,426通 (うちWEB回答566通)	48.5%

6 調査結果の表示方法

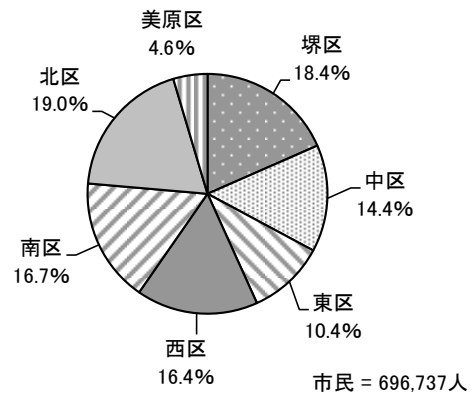
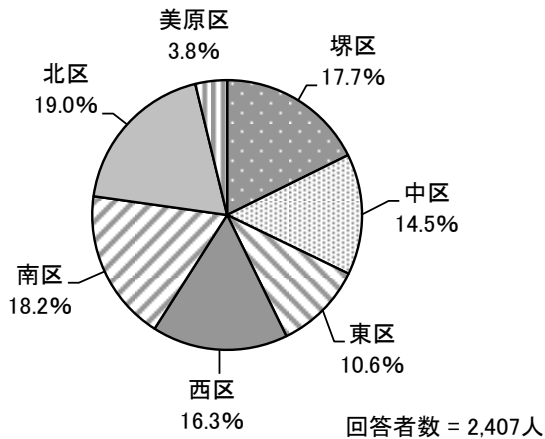
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示しています。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、全体より10ポイント以上高いものを■、全体より5ポイント以上高いものを■で網かけをしています。ただし、属性別の回答者数が30未満の場合は網かけをしていません。
- ・表中の「-」については、0.0%を意味しています。
- ・設問に対する全体の回答者数が30未満となった設問は、統計の有意性を考慮し報告書に記載していません。そのため、報告書と調査票で設問番号が異なるものがあります。

II 調査結果

あなたご自身のことについて

問1 お住まいの区（ひとつだけに○）

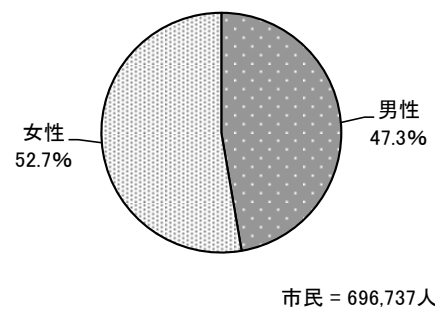
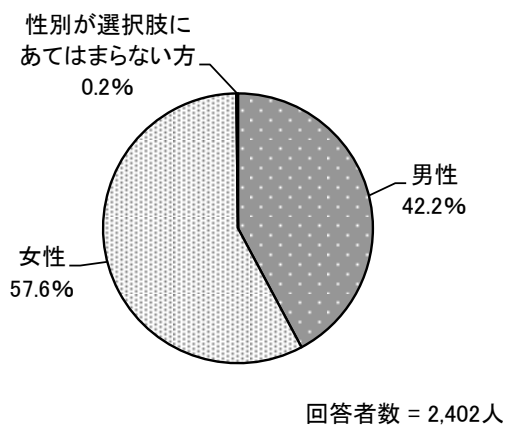
回答者の住んでいる区については、「北区」の割合が19.0%と最も高く、次いで「南区」の割合が18.2%、「堺区」の割合が17.7%となっています。



【参考】令和5年12月末時点の18歳以上
住民基本台帳人口
(日本人、外国人住民ともに含む)

問2 性別（ひとつだけに○）

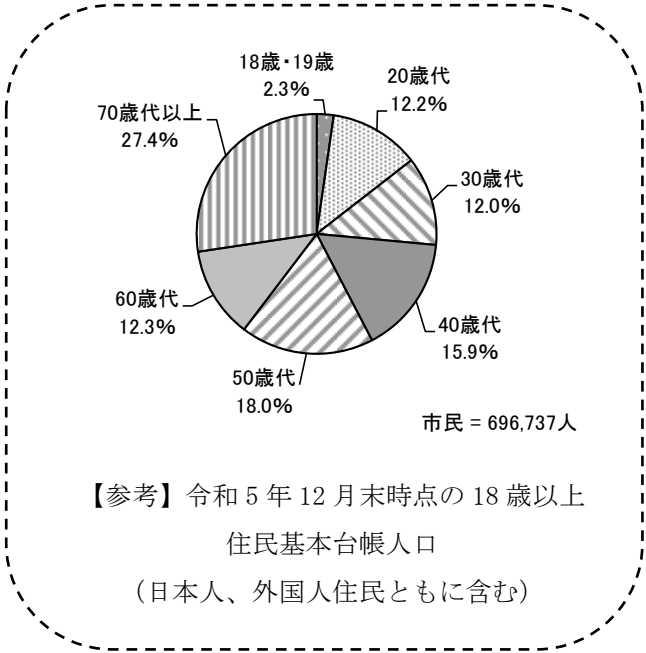
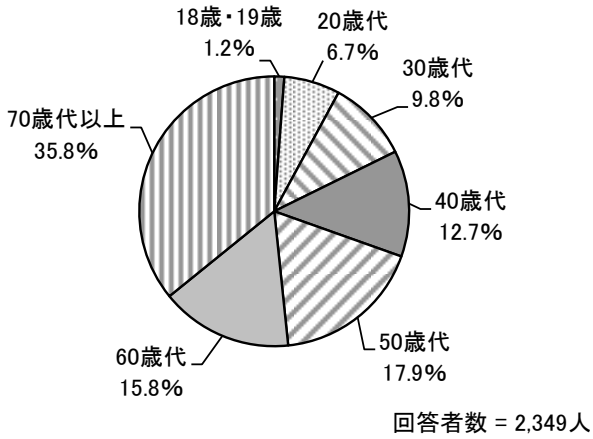
回答者の性別については、「女性」の割合が57.6%、「男性」の割合が42.2%となっています。



【参考】令和5年12月末時点の18歳以上
住民基本台帳人口
(日本人、外国人住民ともに含む)

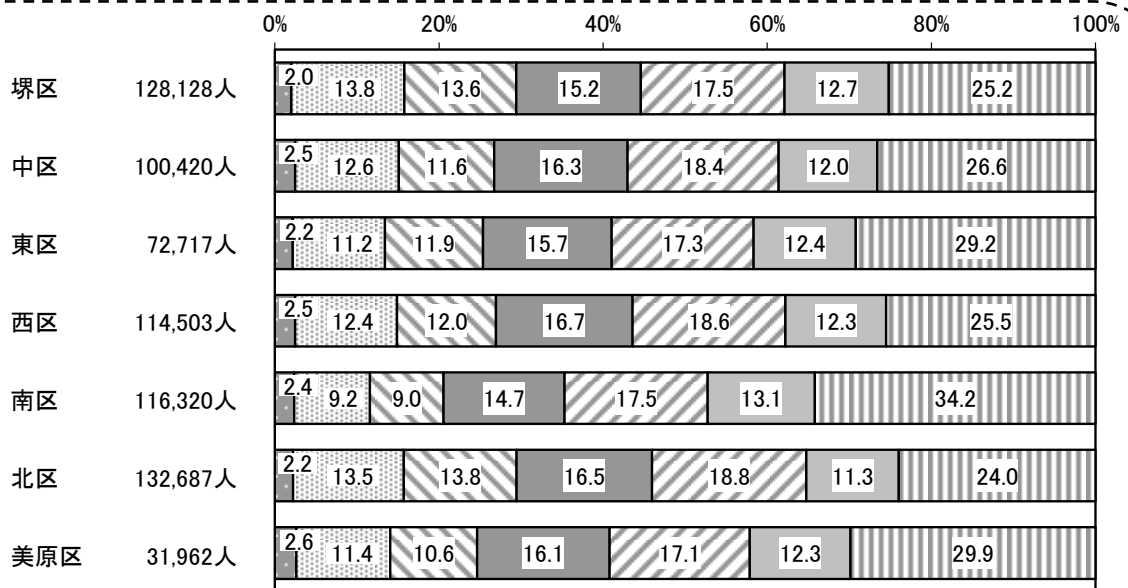
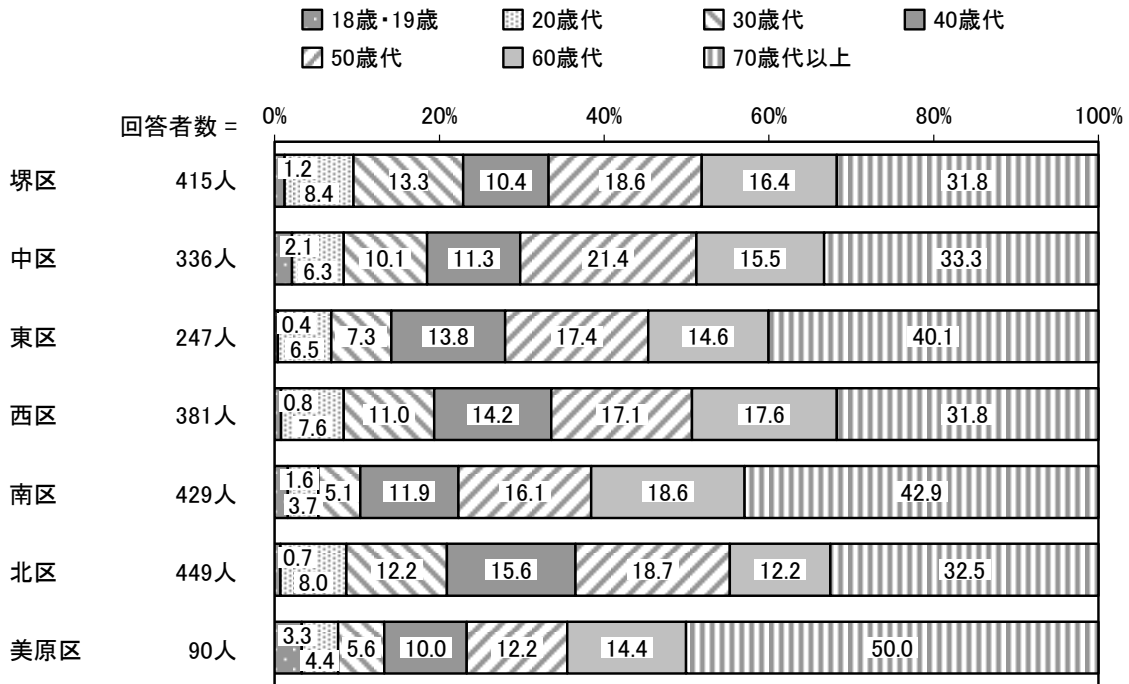
問3 年齢（数字をご記入ください）

回答者の年齢については、「70歳代以上」の割合が35.8%と最も高く、次いで「50歳代」の割合が17.9%、「60歳代」の割合が15.8%となっています。



【居住区別】

居住区別でみると、美原区で「70歳代以上」の割合が5割と高く、また、南区、東区でも4割強と高くなっています。一方、堺区、北区では「30歳代」以下の割合が高くなっています。

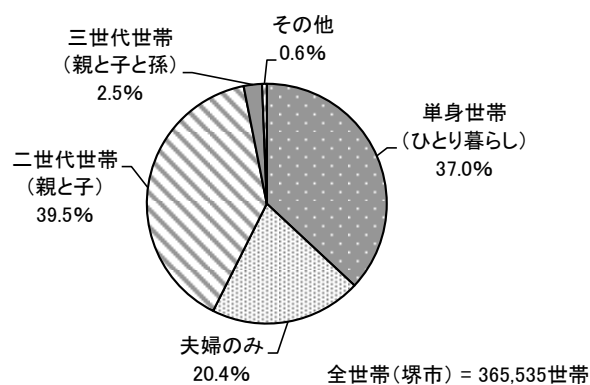
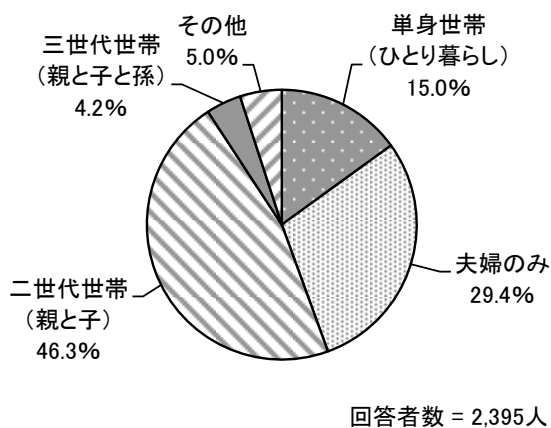


【参考】 令和5年12月末時点の18歳以上

住民基本台帳人口（日本人、外国人住民ともに含む）

問4 同居している世帯の構成（ひとつだけに○）

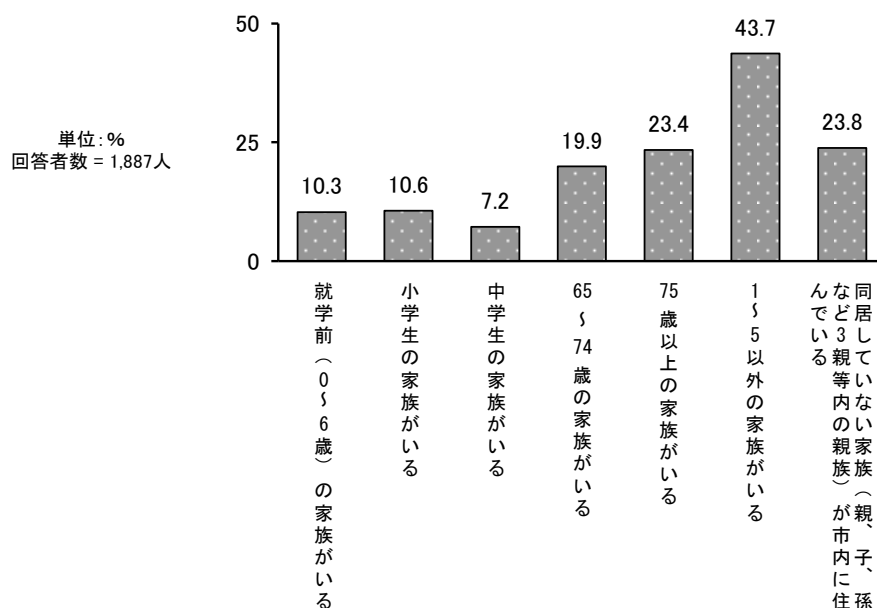
回答者の同居している世帯構成については、「二世世代世帯（親と子）」の割合が46.3%と最も高く、次いで「夫婦のみ」の割合が29.4%、「単身世帯（ひとり暮らし）」の割合が15.0%となっています。



【参考】令和2年国勢調査
人口等基本集計（総務省統計局）

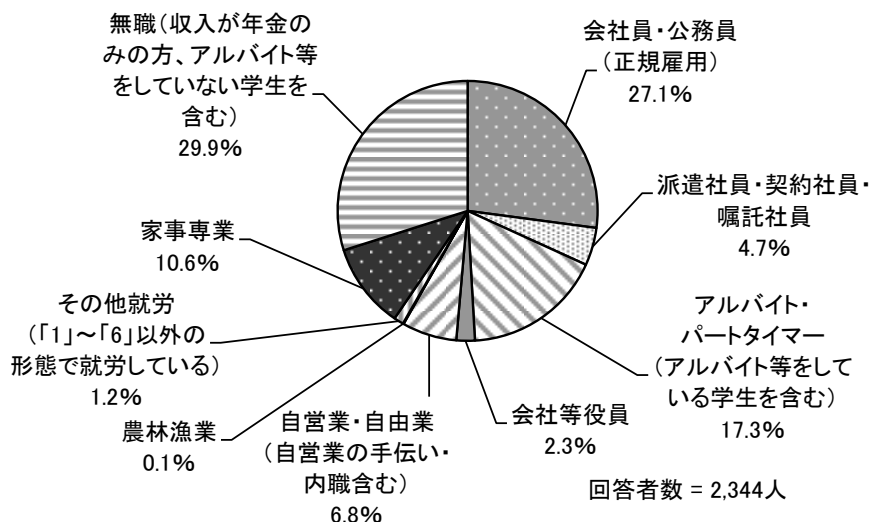
問5 同居家族等（あてはまるものすべてに○）

回答者の同居家族等については、「1～5以外の家族がいる」の割合が43.7%と最も高く、次いで「同居していない家族（親、子、孫など3親等内の親族）が市内に住んでいる」の割合が23.8%、「75歳以上の家族がいる」の割合が23.4%、「65～74歳の家族がいる」の割合が19.9%となっています。



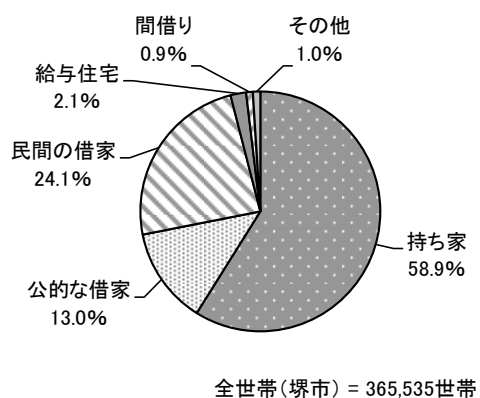
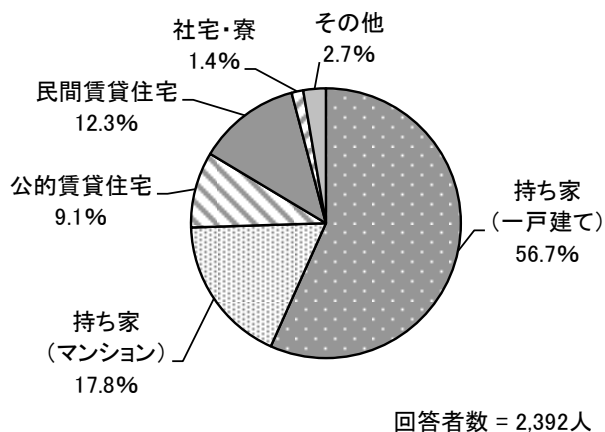
問6 職業（ひとつだけに○）

回答者の職業については、「無職（収入が年金のみの方、アルバイト等をしていない学生を含む）」の割合が29.9%と最も高く、次いで「会社員・公務員（正規雇用）」の割合が27.1%、「アルバイト・パートタイマー（アルバイト等をしている学生を含む）」の割合が17.3%となっています。



問7 お住まい（ひとつだけに○）

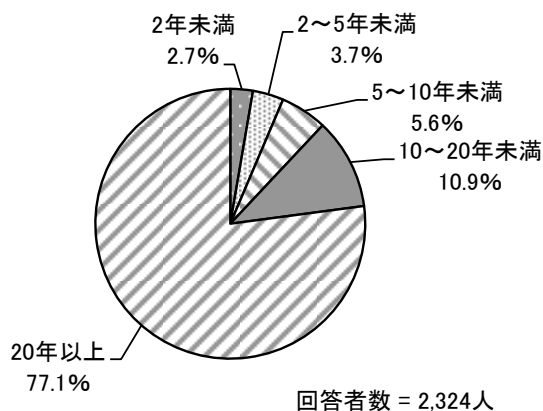
回答者の住んでいる住宅については、「持ち家（一戸建て）」の割合が56.7%と最も高く、次いで「持ち家（マンション）」の割合が17.8%、「民間賃貸住宅」の割合が12.3%となっています。



【参考】令和2年国勢調査
人口等基本集計（総務省統計局）

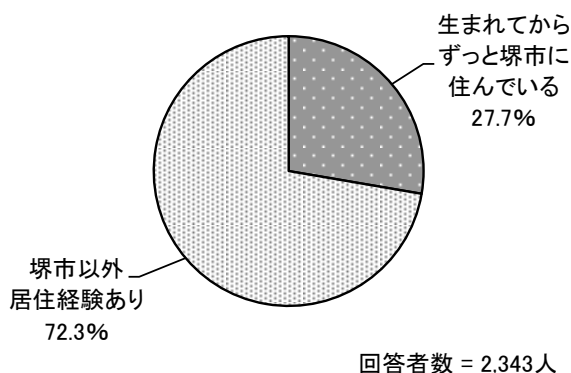
問 8 堺市に何年住んでいますか。(数字をご記入ください)

回答者の堺市の居住年数については、「20年以上」の割合が77.1%と最も高く、次いで「10～20年未満」の割合が10.9%となっています。

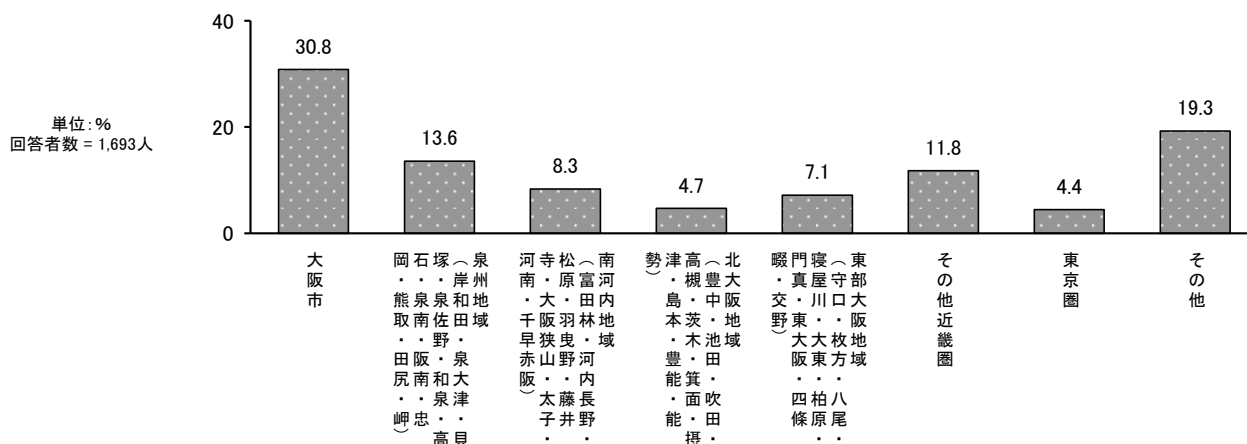


問 9 堺市に住む前は、どちらに住んでいましたか。(ひとつだけに○)

回答者の堺市に住む前の居住地については、「堺市以外居住経験あり」の割合が72.3%、「生まれてからずっと堺市に住んでいる」の割合が27.7%となっています。堺市以外に居住していた地域については、「大阪市」の割合が30.8%で最も高くなっています。

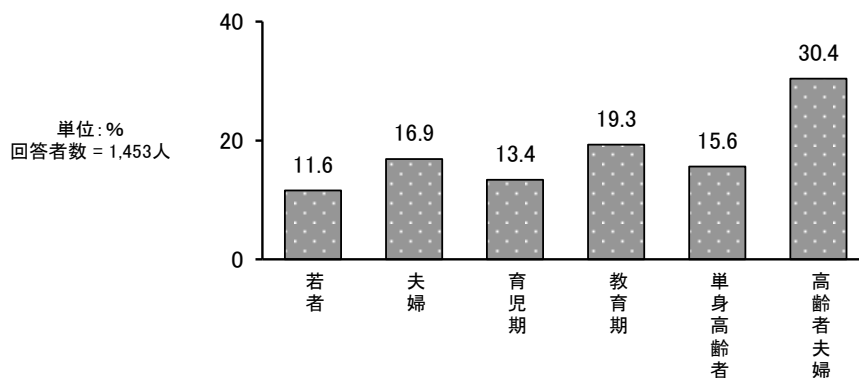


【堺市以外に居住していた地域】



ライフサイクル

ライフサイクルについては、「高齢者夫婦」の割合が 30.4%と最も高く、次いで「教育期」の割合が 19.3%、「夫婦」の割合が 16.9%となっています。



ライフサイクルの区分と区分の設定条件

区分	区分の設定条件
若者	18～29歳で、夫婦のみの世帯以外の世帯の回答者
夫婦	18～64歳で、夫婦のみの世帯の回答者
育児期	小学校入学前の子どもがいる世帯の回答者
教育期	小・中学生の子どもがいる世帯の回答者
単身高齢者	65歳以上の単身世帯の回答者
高齢者夫婦	65歳以上の夫婦のみの世帯の回答者

A 堺のまちについて

問1 これからも堺市に住み続けたいですか。(ひとつだけに○)

これからも堺市に住み続けたいかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた「そう思う」の割合が85.0%となっています。

令和4年度調査と比べると、「そう思う」の割合が4.2ポイント増加しています。

性別×年代でみると、「そう思う」の割合は、女性70歳代以上で9割強、男性50歳代と70歳代以上で87%台と高くなっています。男性はいずれの年代も8割を超えていますが、女性は8割を超えているのは60歳代以上のみとなっています。

居住区別でみると、「そう思う」の割合は、中区と南区で88%台と高めで、堺区と美原区で81%台と低めになっています。



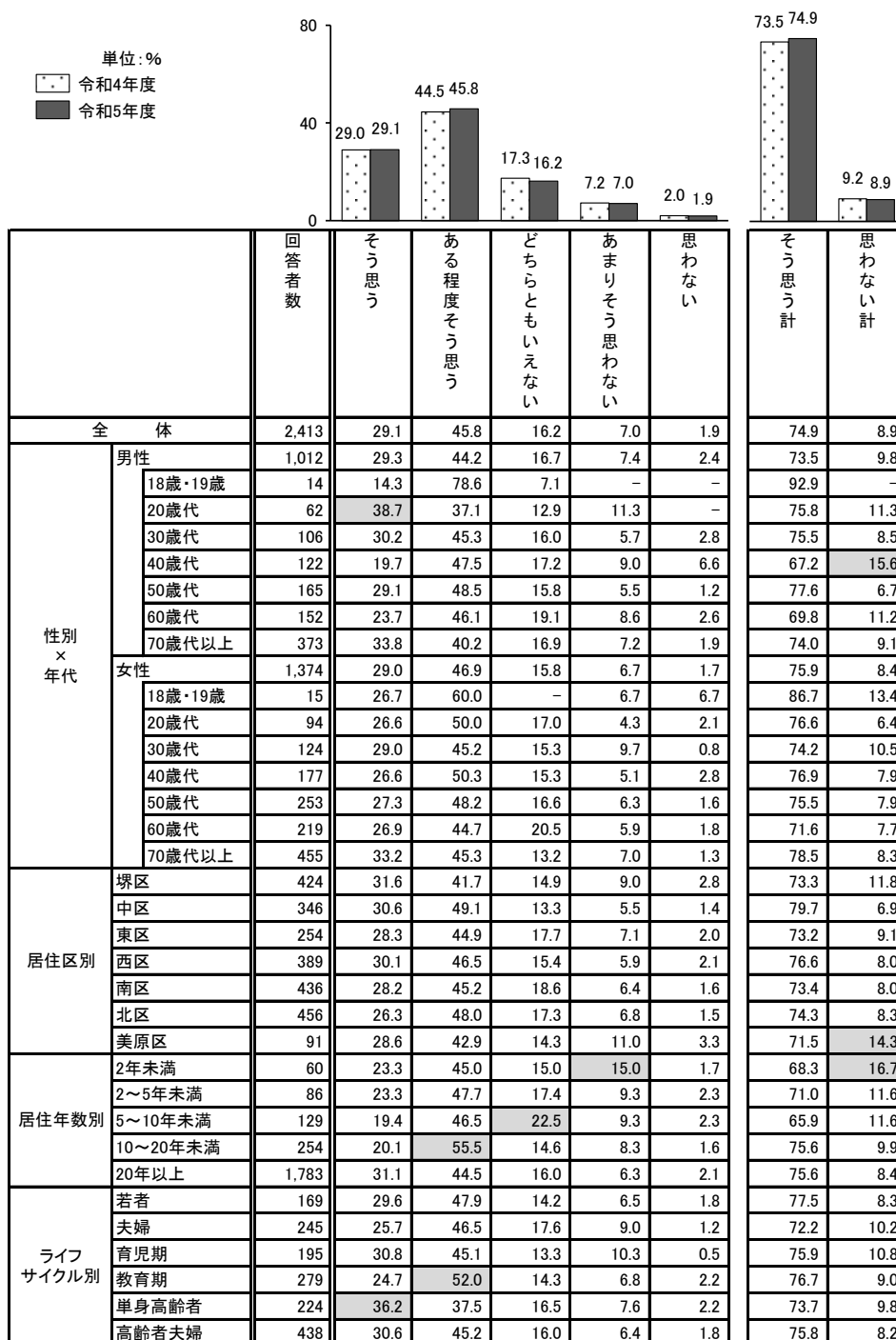
問2 堺市は魅力や愛着を感じるまちだと思いますか。(ひとつだけに○)

堺市は魅力や愛着を感じるまちだと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が74.9%となっています。

令和4年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代でみると、男性50歳代と女性70歳代以上で、“そう思う”の割合が高くなっています。一方、男性40歳代では、「あまりそう思わない」と「思わない」を合わせた“思わない”が高くなっています。

居住区別でみると、中区で“そう思う”の割合が79.7%と最も高くなっています。一方、美原区では、“そう思う”の割合は71.5%と低くなっています。



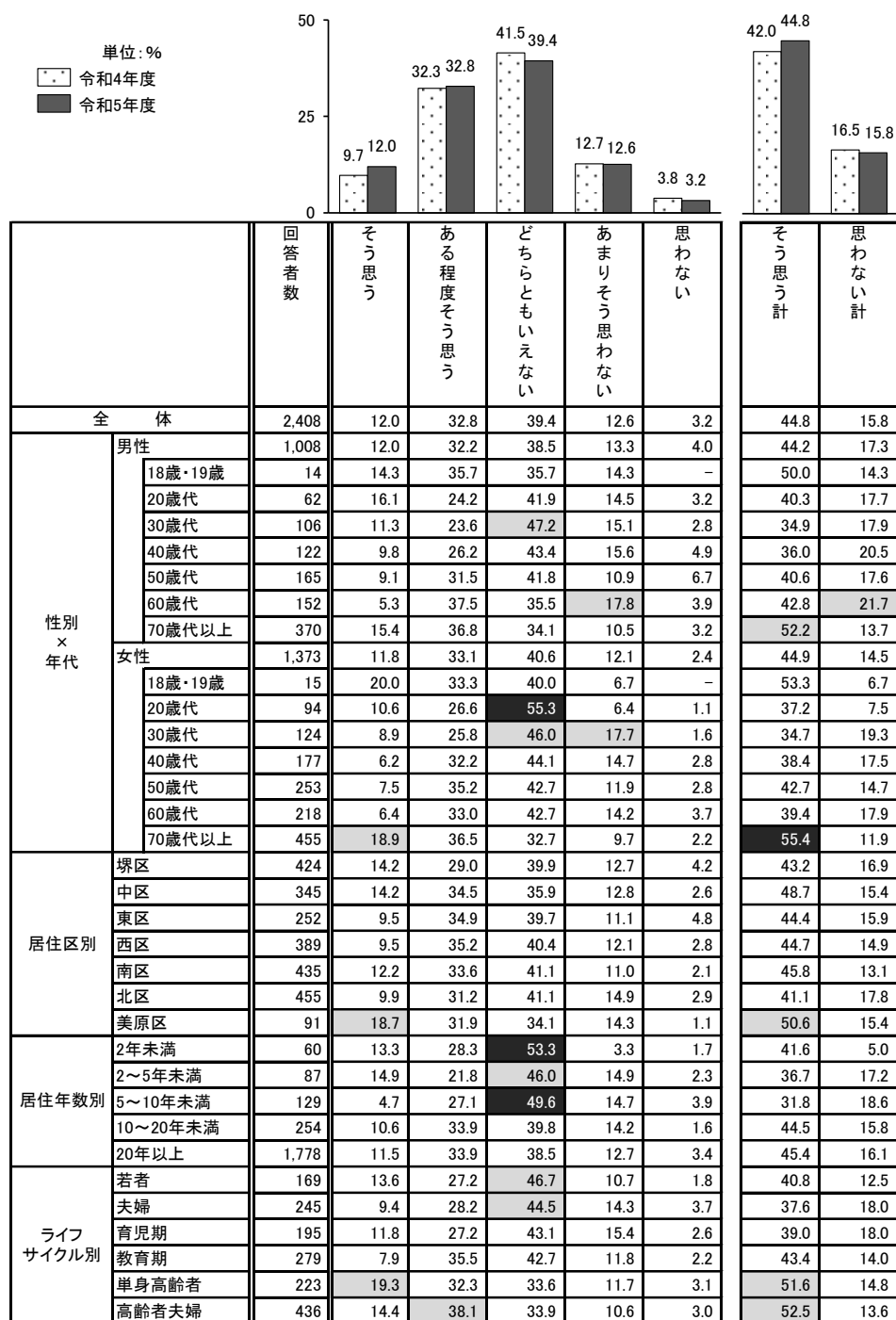
問3 堺市は年齢や性別、国籍にかかわらず、能力を十分に発揮できる環境*が整っているまちだと思いますか。※多様性を認め合う、差別のない平等な社会のこと（ひとつだけに○）

堺市は年齢や性別、国籍にかかわらず、能力を十分に発揮できる環境が整っているまちだと思うかについては「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が44.8%となっています。

令和4年度調査と比べると、“そう思う”の割合は2.8ポイント増加しています。

性別×年代でみると、男女とも70歳代以上で“そう思う”の割合が5割以上と高くなっています。一方、男女とも30歳代では34%台と低くなっています。

居住区別でみると、美原区で“そう思う”の割合が50.6%と高くなっています。



B 安全・安心について（防災・防犯・子育て・健康・介護等）

問1 堺市は災害に強く、安全・安心に暮らせるまちだと思いますか。
（ひとつだけに○）

堺市は災害に強く、安全・安心に暮らせるまちだと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が58.3%となっています。

令和4年度調査と比べると、“そう思う”の割合は3.0ポイント減少しています。

性別×年代でみると、男性20歳代と男女70歳代以上で、“そう思う”の割合が6割後半と高くなっています。

居住区別でみると、東区で“そう思う”の割合が6割後半と高くなっています。

ライフサイクル別でみると、高齢者夫婦で“そう思う”の割合が65.7%と高くなっている一方、教育期では50.2%と低くなっています。



問2 堺市は治安に関する不安が少ないまちだと思いますか。(ひとつだけに○)

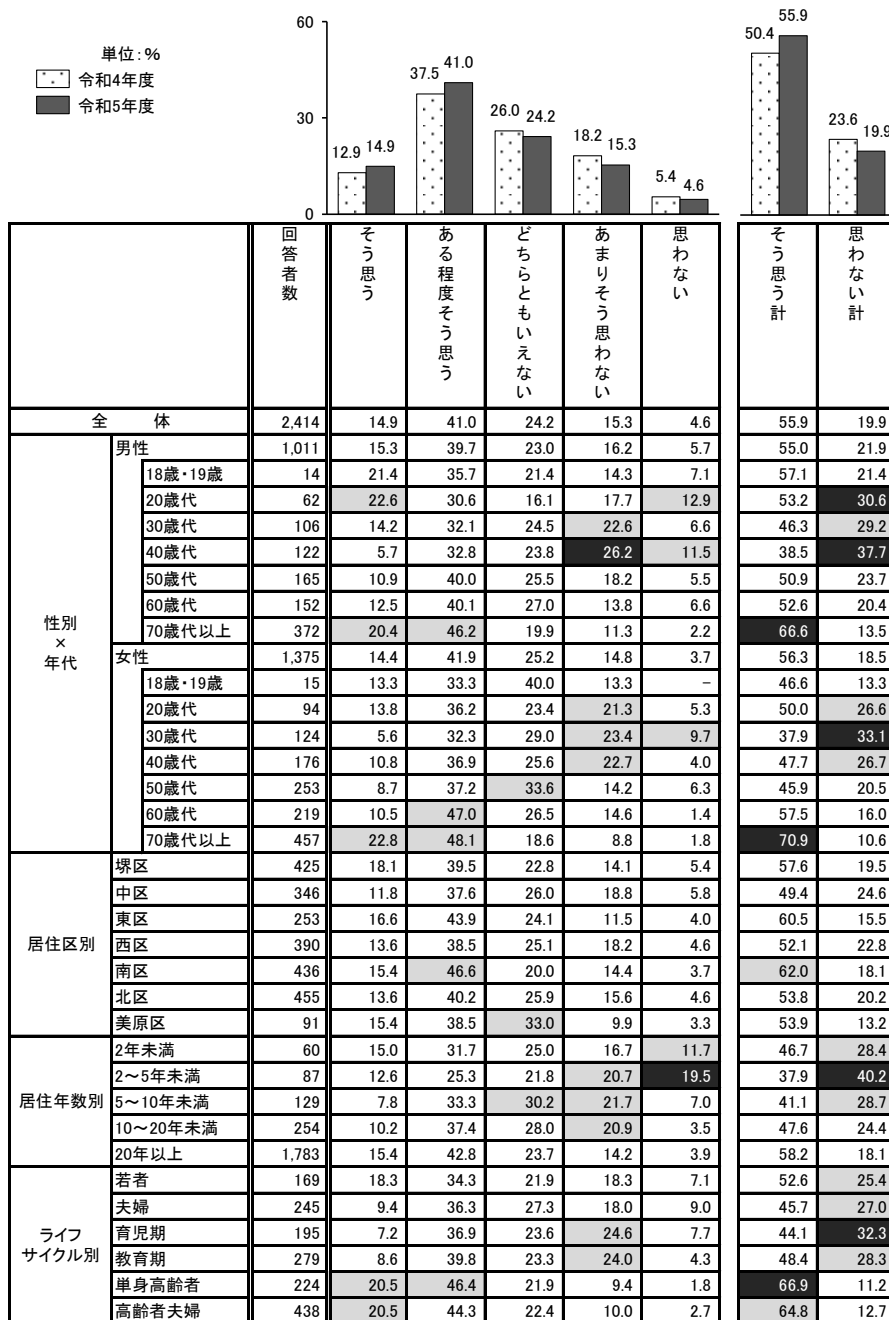
堺市は治安に関する不安が少ないまちだと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が55.9%となっています。

令和4年度調査と比べると、“そう思う”の割合は5.5ポイント増加しています。

性別×年代でみると、男女とも70歳代以上で、“そう思う”の割合が6割半ば～7割強と高くなっている一方、男女とも20～40歳代で「あまりそう思わない」と「思わない」を合わせた“思わない”の割合が2割半ばを超えており、特に男性40歳代で37.7%と高くなっています。

居住年数別でみると、2～5年未満の層で“思わない”の割合が40.2%と高くなっています。

ライフサイクル別でみると、単身高齢者、高齢者夫婦で“そう思う”の割合が6割を超えている一方、育児期では“思わない”が32.3%と高くなっています。

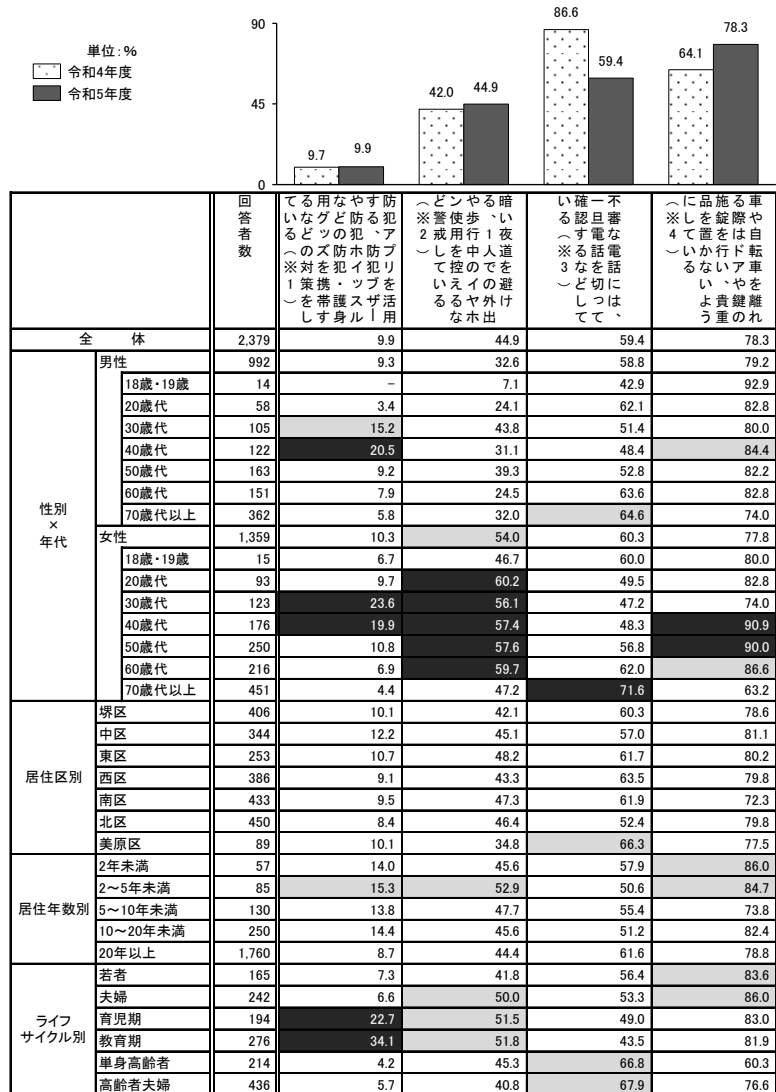


問3 生活に身近な犯罪（子どもや女性をねらった性犯罪・特殊詐欺・車上ねらい等の自動車関連犯罪など）に対して、あなたやあなたの家族が日頃から気にしている、または取り組んでいる防犯対策は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

生活に身近な犯罪（子どもや女性をねらった性犯罪・特殊詐欺・車上ねらい等の自動車関連犯罪など）に対して、あなたやあなたの家族が日頃から気にしている、または取り組んでいる防犯対策については、「車や自転車を離れる際はドアや鍵の施錠を行い、貴重品を置かないようにしている」の割合が78.3%と最も高く、次いで「不審な電話には、一旦電話を切って確認するなどしている」の割合が59.4%となっています。

性別×年代で見ると、女性40～50歳代では「車や自転車を離れる際はドアや鍵の施錠を行い、貴重品を置かないようにしている」の割合が約9割、女性20～60歳代では「暗い夜道を避ける、1人での外出や歩行中のイヤホン使用を控えるなど警戒している」の割合が6割前後、女性70歳代以上では「不審な電話には、一旦電話を切って確認するなどしている」の割合が7割強と高くなっています。

また、「防犯アプリを活用する、防犯ブザーや防犯ホイッスルなどの防犯・護身用グッズを携帯するなどの対策をしている」は、教育期で34.1%、育児期で22.7%と高くなっています。



※1 令和4年度は選択肢が「防犯ブザーや防犯ホイッスルなどの防犯・護身用グッズを携帯している」
 ※2 令和4年度は選択肢が「暗い夜道を避けたり、歩行中はイヤホンの使用を控えるなど警戒している」
 ※3 令和4年度は選択肢が「不審な電話には、個人情報や口座情報などを伝えないように注意している」
 ※4 令和4年度は選択肢が「車を離れる際は、ドアロックを行い、車内に貴重品を置かないようにしている」

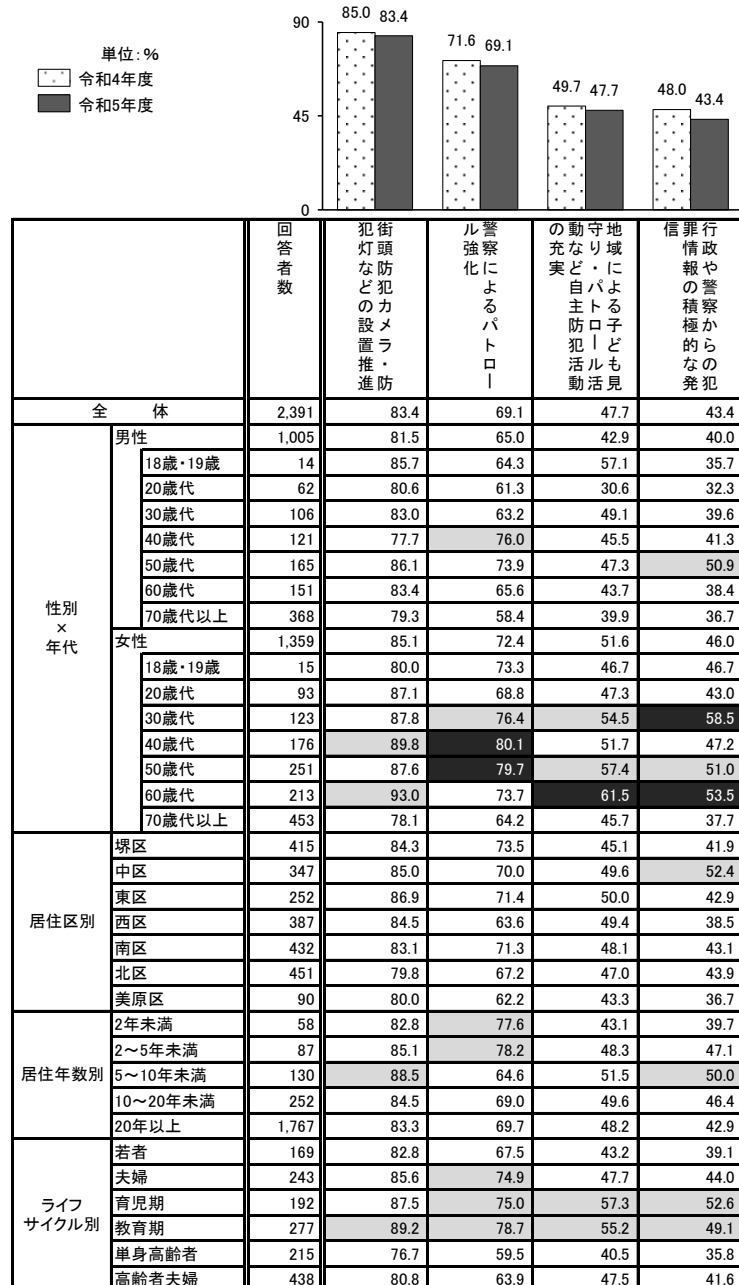
問4 生活に身近な犯罪（子どもや女性をねらった性犯罪・特殊詐欺・車上ねらい等の自動車関連犯罪など）を減らすために、有効と考えるものはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

生活に身近な犯罪（子どもや女性をねらった性犯罪・特殊詐欺・車上ねらい等の自動車関連犯罪など）を減らすために、有効と考えるものについては、「街頭防犯カメラ・防犯灯などの設置推進」の割合が83.4%と最も高く、次いで「警察によるパトロール強化」の割合が69.1%となっています。

令和4年度調査と比べると、いずれもやや減少していますが、傾向は変わりません。

性別×年代でみると、女性40～50歳代で「警察によるパトロール強化」、女性60歳代で「地域による子ども見守り・パトロール活動など自主防犯活動の充実」、女性30歳代と60歳代で「行政や警察からの犯罪情報の積極的な発信」の割合が、全体に比べて高くなっています。

ライフサイクル別でみると、育児期と教育期で全体的に割合が高くなっています。

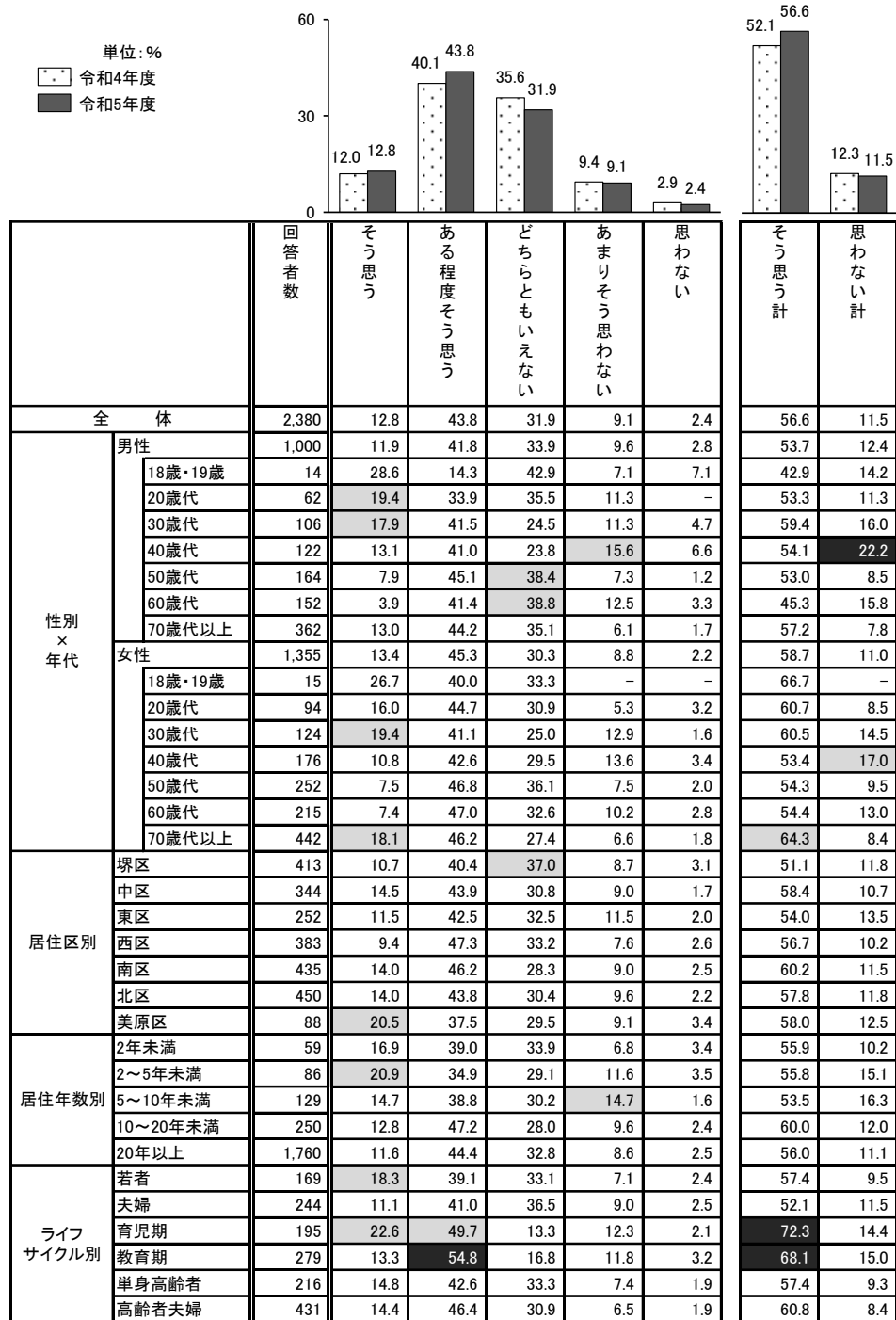


問5 堺市は子育てがしやすいまちだと思いますか。(ひとつだけに○)

堺市は子育てがしやすいまちだと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が56.6%となっています。

令和4年度調査と比べると、“そう思う”の割合が4.5ポイント増加しています。

ライフサイクル別でみると、育児期、教育期で“そう思う”の割合が7割前後と高くなっています。



問6 あなたがお住まいの地域は近所づきあいが良いと思いますか。(ひとつだけに○)

住んでいる地域の近所づきあいが良いと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が48.2%となっています。

令和4年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代でみると、女性70歳代以上で“そう思う”の割合が59.4%と高くなっています。一方、男性30～40歳代では「あまりそう思わない」と「思わない」を合わせた“思わない”の割合が3割半ば以上と高くなっています。

居住年数別でみると、居住年数が長くなるほど“そう思う”の割合が高くなっています。

ライフサイクル別でみると、教育期、単身高齢者、高齢者夫婦では“そう思う”の割合が5割を超えていますが、夫婦では35.9%と低く、“思わない”の割合が37.1%で上回っています。



問7 健康・介護など日常生活における困りごとについて、相談に乗ってくれたり助け
てくれる人が身近にいますか。(ひとつだけに○)

健康・介護など日常生活における困りごとについて、相談に乗ってくれたり助けてくれる人が
身近にいるかについては、「いる」の割合が67.9%、「いない」の割合が32.1%となっています。

令和4年度調査と比べると、「いる」の割合は3.5ポイント増加しています。

性別×年代で見ると、「いる」の割合は、女性では全ての年代で7割弱～8割弱と高いのに対
し、男性30歳代以上では約6割以下と低く、特に男性50歳代では50.3%と低くなっています。

居住区別で見ると、美原区で「いる」の割合が73.6%と高くなっています。

ライフサイクル別で見ると、若者、育児期、教育期で「いる」の割合が7割半ば前後と高くな
っています。



問 8 あなたは、生活や健康等の悩みがあるときの相談窓口を知っていますか。
(ひとつだけに○)

※相談窓口とは、行政機関による公的なものだけでなく民間団体によるものも含まれます。また電話、対面、訪問、SNS等の形態を問いません。

生活や健康等の悩みがあるときの相談窓口を知っているかについては、「知っている」の割合が40.8%、「知らない」の割合が59.2%となっています。

令和4年度とは設問文がやや異なりますが、割合自体にはあまり変化はみられません。

性別×年代で見ると、女性60歳代で「知っている」の割合が54.6%と高くなっている一方、男性50歳代では「知らない」の割合が70.7%と高くなっています。男性は総じて「知っている」の割合が低く、性別で見ると、女性より約10ポイント低くなっています。

居住区別で見ると、「知っている」の割合は、美原区で46.2%と高く、北区で36.6%と低くなっています。

ライフサイクル別で見ると、「知っている」の割合は、育児期、単身高齢者で47%台と高く、夫婦では31.4%と低くなっています。



※令和4年度は設問文が「あなたは、生活や健康等の悩みがあるときに相談できる場所(相談窓口)を知っていますか。」

問9 あなたはゲートキーパーについて知っていますか。(ひとつだけに○)
 ※ゲートキーパーとは、悩んでいる人や自殺の危険を示すサインを発している人に気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な相談窓口や支援につなげ、見守る人のことです。

ゲートキーパーについて知っているかについては、「知らない」の割合が80.1%と最も高く、次いで「名称は聞いたことがある」の割合が16.1%となっています。

令和4年度調査と比べると、ほぼ同等となっています。

性別×年代で見ると、男性20歳代で「内容を知っている」の割合が12.9%、男性30歳代で「名称は聞いたことがある」の割合が24.8%と高くなっています。また、女性40歳代で「知らない」の割合が85.2%と最も高くなっています。



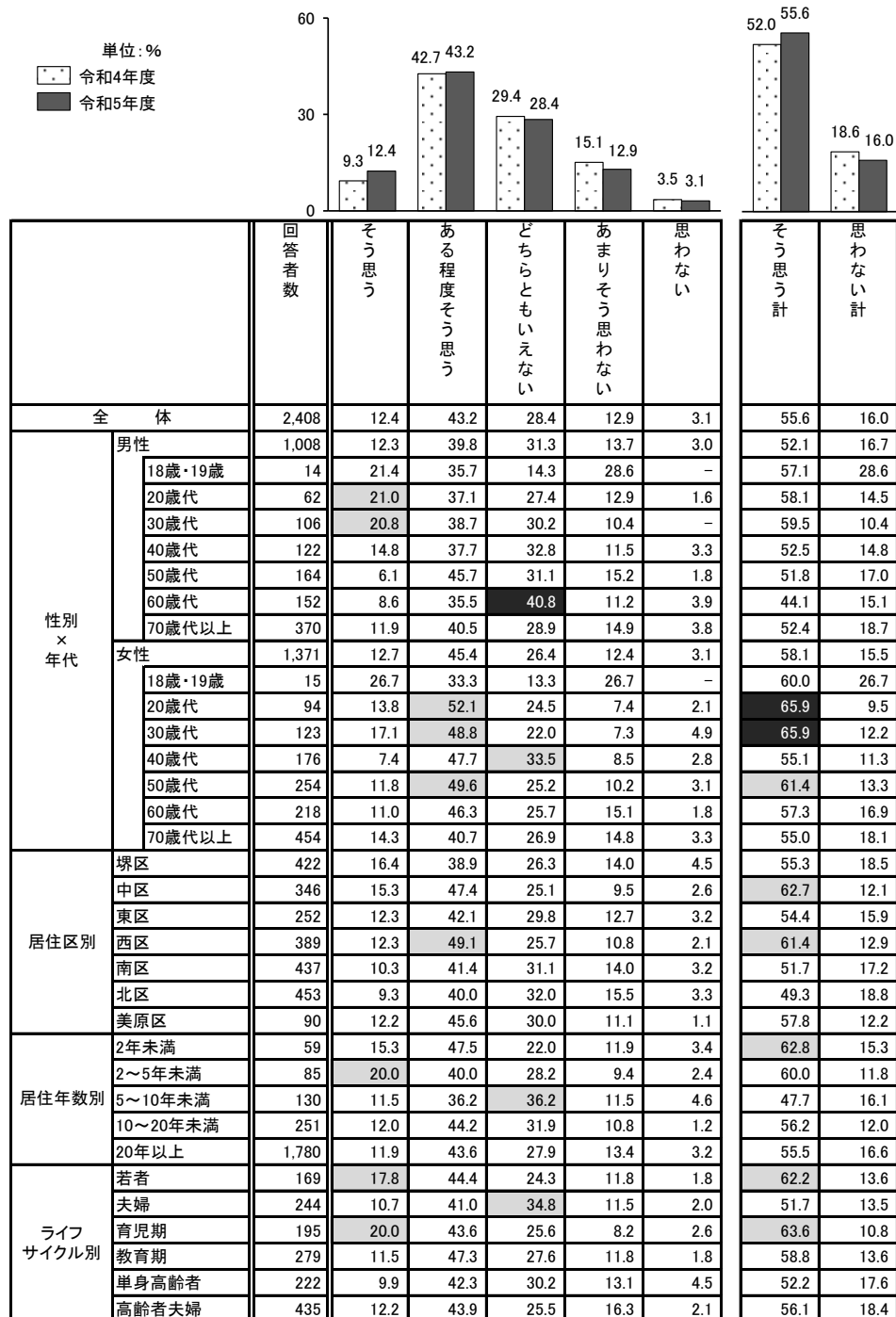
問 10 堺市は、地域行事（まつり、清掃活動、交流イベント等）や防犯、防災に関する取組など、地域でのさまざまな活動が活発なまちだと思いますか。（ひとつだけに○）

堺市は、地域行事（まつり、清掃活動、交流イベント等）や防犯、防災に関する取組など、地域でのさまざまな活動が活発なまちだと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が55.6%となっています。

令和4年度調査と比べると、“そう思う”の割合が3.6ポイント増加しています。

性別×年代でみると、女性20～30歳代で“そう思う”の割合が65.9%と高くなっています。

ライフサイクル別でみると、育児期、若者で“そう思う”の割合が6割台と高くなっています。



問 11 高齢者や子どもの見守りなど、地域福祉活動に参加したことがありますか。
(ひとつだけに○)

高齢者や子どもの見守りなど、地域福祉活動に参加したことがあるかについては、「ある」の割合が25.5%、「ない」の割合が74.5%となっています。

令和4年度調査とは設問文がやや異なりますが、割合自体はほぼ同等となっています。

性別×年代で見ると、男女20～30歳代および男性50歳代で「ない」の割合が8割を超えており、特に男性30歳代では9割半ばと高くなっています。一方、女性40～60歳代では「ある」が3割半ば前後と高くなっています。

居住年数別で見ると、10年未満で「ない」の割合が約9割以上となっています。

ライフサイクル別で見ると、教育期で「ある」の割合が40.3%と高くなっています。



※令和4年度は設問文が「高齢者や子どもの見守りなど地域課題に取り組む活動(地域福祉活動)に参加したことがありますか。」

問 12 前問で「ない」を選んだ方に伺います。
参加したことがない、最も大きな理由をお選びください。(ひとつだけに○)

地域福祉活動に参加したことがない、最も大きな理由については、「普段から地域との関わりがないから」の割合が 29.0%と最も高く、次いで「時間がないから」の割合が 26.7%となっています。

令和4年度調査と比べると、「普段から地域との関わりがないから」の割合が2.6ポイント減少するなどの増減はありますが、傾向は大きく変わりません。

性別×年代でみると、「時間がないから」の割合は、男性30～50歳代と女性20歳代で4割前後と高くなっています。

ライフサイクル別でみると、若者、育児期、教育期で「時間がないから」の割合が4割前後と高くなっています。



問 13 定期的に血圧や体重を測定するなど、自分自身の健康状態をチェックしていますか。(ひとつだけに○)

定期的に血圧や体重を測定するなど、自分自身の健康状態をチェックしているかについては、「している」の割合が77.9%、「していない」の割合が22.1%となっています。

令和4年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代で見ると、「している」の割合は、男女ともに60歳代以上で8割以上と高くなっている一方、男性20～30歳代、女性20歳代では「していない」の割合が4割を超えています。

ライフサイクル別で見ると、「している」の割合は、高齢者夫婦で91.3%と高く、若者で53.3%と低くなっています。



問 14 40 歳～74 歳の方に伺います。

あなたは特定健康診査を受診していますか。(ひとつだけに○)

※特定健康診査とは、生活習慣病の予防のため、40 歳から 74 歳までの方を対象に、メタボリックシンドロームに着目し行う健診のことで、職場の健康診断や人間ドックを含みます。

40 歳～74 歳の方で、特定健康診査を受診しているかについては、「受診している」の割合が 71.7%、「受診していない」の割合が 28.3%となっています。

令和 4 年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代でみると、男性 50 歳代で「受診している」の割合が 77.0%と高くなっています。男性ではいずれの年代でも「受診している」の割合は 7 割台ですが、女性では 60 歳代以上は約 6 割半ばとやや低めになっています。



問 15 前問で「受診していない」を選んだ方にお伺いします。
受診していない、最も大きな理由をお選びください。(ひとつだけに○)

40歳～74歳の方で、特定健康診査を受診していない最も大きな理由については、「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」の割合が42.6%と最も高く、次いで「その他」の割合が18.0%、「時間がとれなかったから」の割合が16.4%となっています。

令和4年度調査と比べると、「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」が6.6ポイント増加、「面倒だから」が6.0ポイント減少しています。

性別×年代で見ると、男女とも70歳代以上で「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」、男女とも40歳代で「時間がとれなかったから」の割合が、全体より10ポイント以上高くなっています。



問 16 医療や介護、健康について相談でき、必要なときには専門機関などを紹介してくれる、かかりつけの医師はいますか。(ひとつだけに○)

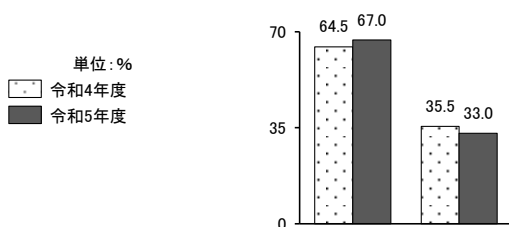
必要なときに診療や相談ができる、かかりつけの医師がいるかについては、「いる」の割合が67.0%、「いない」の割合が33.0%となっています。

令和4年度調査と比べると、「いる」の割合は2.5ポイント増加しています。

性別×年代で見ると、男女とも70歳代以上で「いる」の割合が8割を超えている一方、男女とも30～40歳代で「いない」の割合が5割を超えており、特に男性30歳代では65.7%と高くなっています。

居住区別で見ると、中区で「いる」の割合が73.8%と高くなっており、その他の区では6割台となっています。

ライフサイクル別で見ると、単身高齢者、高齢者夫婦で「いる」の割合が約8割と高く、一方、夫婦、育児期では「いない」の割合が約5割と高くなっています。



		回答者数	いる	いない
全 体		2,391	67.0	33.0
性別 × 年代	男性	992	66.1	33.9
	18歳・19歳	11	54.5	45.5
	20歳代	56	55.4	44.6
	30歳代	105	34.3	65.7
	40歳代	122	49.2	50.8
	50歳代	164	57.9	42.1
	60歳代	151	72.8	27.2
	70歳代以上	365	83.0	17.0
	女性	1,372	67.5	32.5
	18歳・19歳	15	66.7	33.3
	20歳代	91	53.8	46.2
	30歳代	120	48.3	51.7
	40歳代	177	46.9	53.1
	50歳代	253	60.9	39.1
60歳代	220	69.5	30.5	
70歳代以上	460	85.0	15.0	
居住区別	堺区	423	66.9	33.1
	中区	344	73.8	26.2
	東区	252	63.9	36.1
	西区	385	68.3	31.7
	南区	428	66.6	33.4
	北区	452	63.3	36.7
	美原区	88	63.6	36.4
居住年数別	2年未満	58	31.0	69.0
	2～5年未満	86	40.7	59.3
	5～10年未満	129	48.8	51.2
	10～20年未満	249	57.0	43.0
	20年以上	1,767	71.4	28.6
ライフ サイクル別	若者	157	57.3	42.7
	夫婦	242	49.6	50.4
	育児期	191	49.2	50.8
	教育期	278	57.2	42.8
	単身高齢者	222	80.6	19.4
	高齢者夫婦	437	80.8	19.2

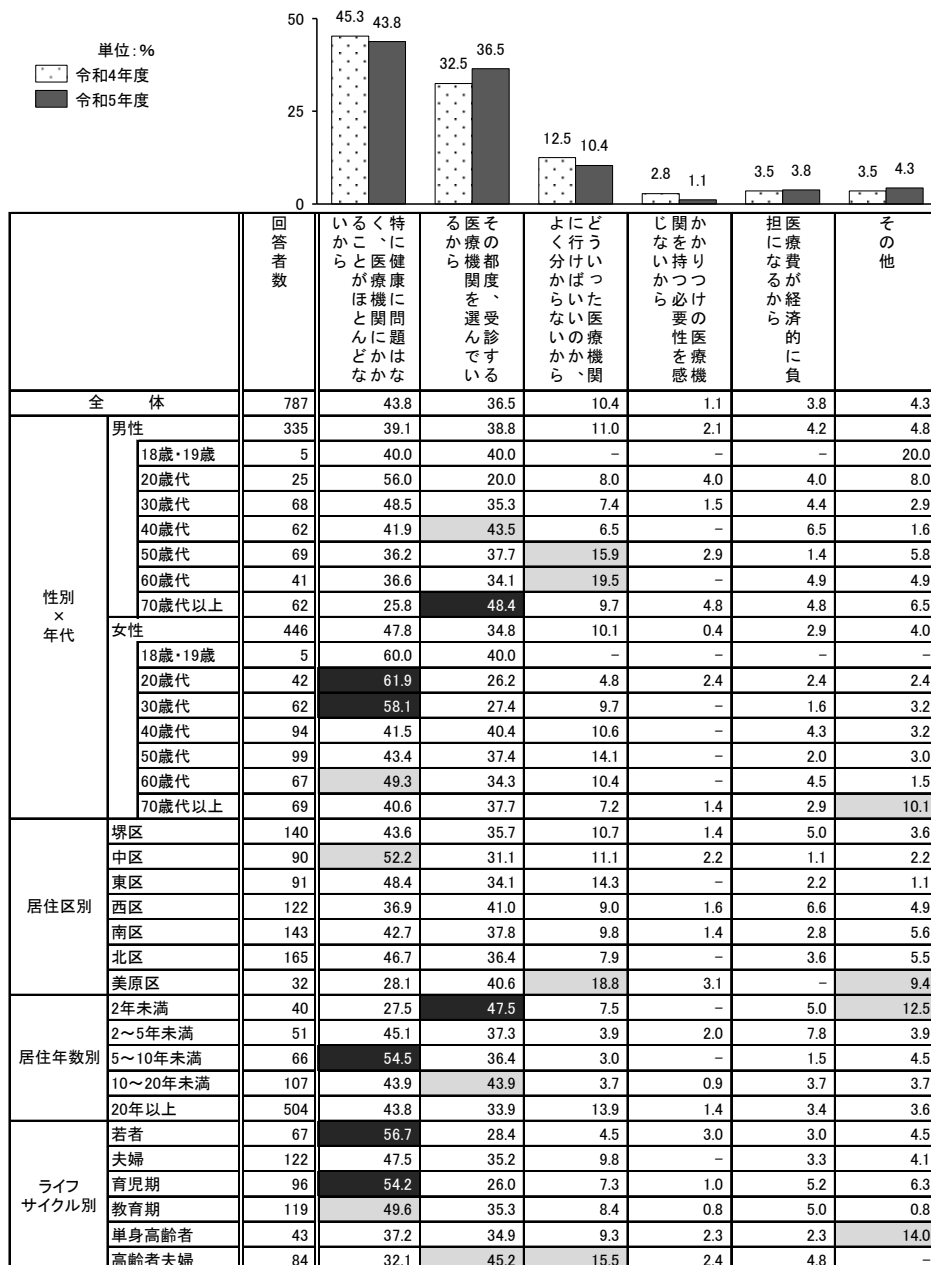
問 17 前問で「いない」を選んだ方に伺います。
 かかりつけの医師がいない、最も大きな理由をお選びください。
 (ひとつだけに○)

かかりつけの医師がいない最も大きな理由については、「特に健康に問題はなく、医療機関にかかることがほとんどないから」の割合が43.8%と最も高く、次いで「その都度、受診する医療機関を選んでいるから」の割合が36.5%となっています。

令和4年度調査と比べると、「その都度、受診する医療機関を選んでいるから」の割合が4.0ポイント増加しています。

性別×年代でみると、女性 20～30 歳代で「特に健康に問題はなく、医療機関にかかることがほとんどないから」の割合が6割前後と高くなっています。

ライフサイクル別でみると、若者、育児期で「特に健康に問題はなく、医療機関にかかることがほとんどないから」の割合が約5割半ばと高くなっています。



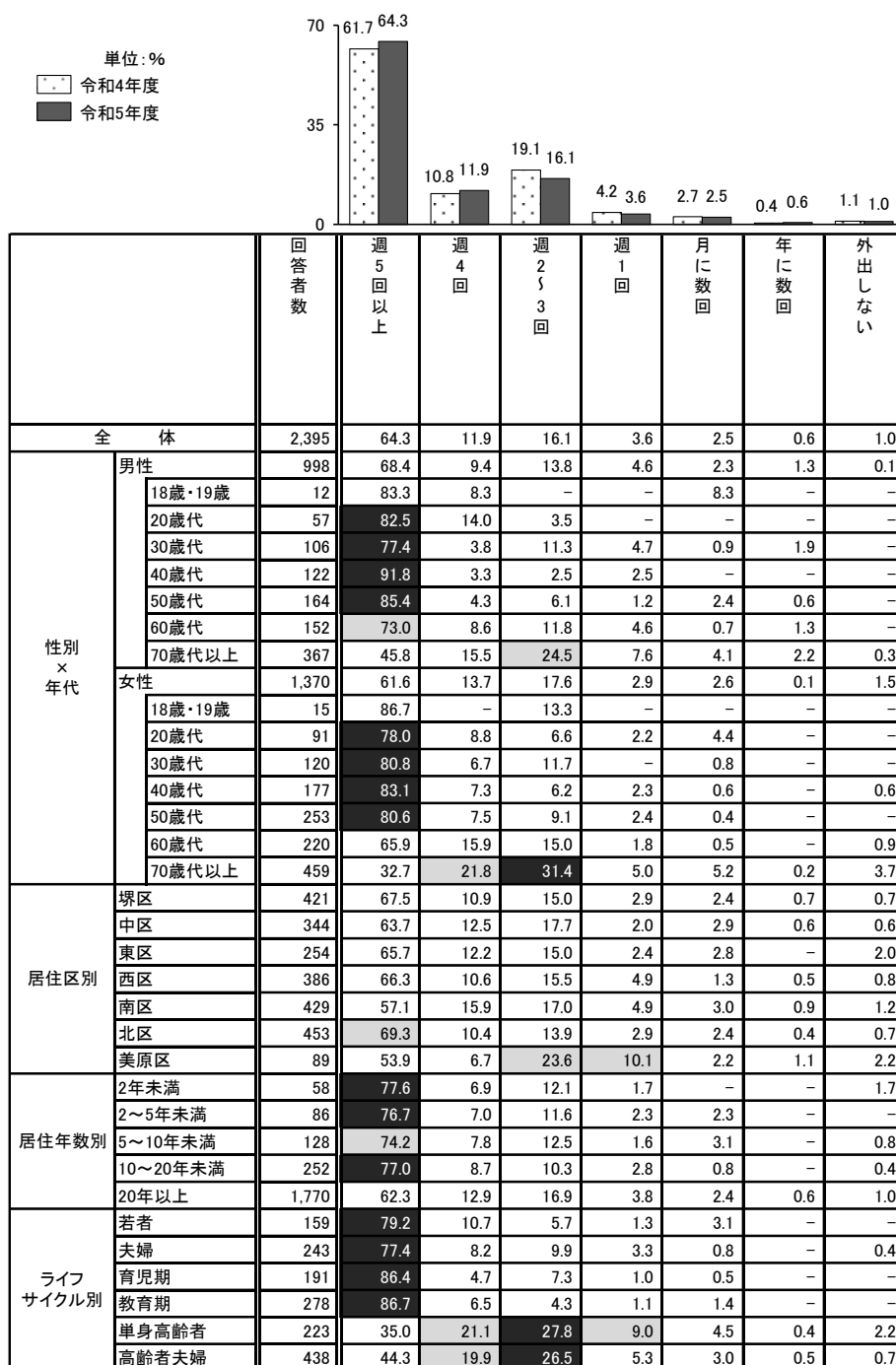
問 18 外出する頻度はどのくらいですか。(ひとつだけに○)
 ※学校、仕事、買い物、飲食、隣近所等への外出を含む

外出する頻度については、「週5回以上」の割合が64.3%と最も高く、次いで「週2～3回」の割合が16.1%、「週4回」の割合が11.9%となっています。

令和4年度調査と比べると、「週5回以上」の割合が2.6ポイント増加し、「週2～3回」の割合が3.0ポイント減少しています。

性別×年代でみると、男女とも20～50歳代で「週5回以上」の割合が7割半ばを超えています。

ライフサイクル別でみると、単身高齢者、高齢者夫婦では「週2～3回」の割合が2割台後半と高くなっています。



問 19 1日に30分以上の運動（日常の歩行や自転車を含む）やスポーツはどれくらい行っていますか。（ひとつだけに○）

1日に30分以上の運動（日常の歩行や自転車を含む）やスポーツはどれくらい行っているかについては、「週3回以上」の割合が45.6%と最も高く、次いで「ほとんど行っていない」の割合が24.1%、「週2回」の割合が11.5%となっています。

令和4年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代で見ると、男性20歳代で「週3回以上」の割合が59.6%と高くなっています。一方、女性20～40歳代では、「ほとんど行っていない」の割合が3割以上と高めになっています。

ライフサイクル別で見ると、高齢者夫婦で「週3回以上」の割合が55.9%と高くなっています。育児期、教育期では、「ほとんど行っていない」の割合が約3割と高めになっています。



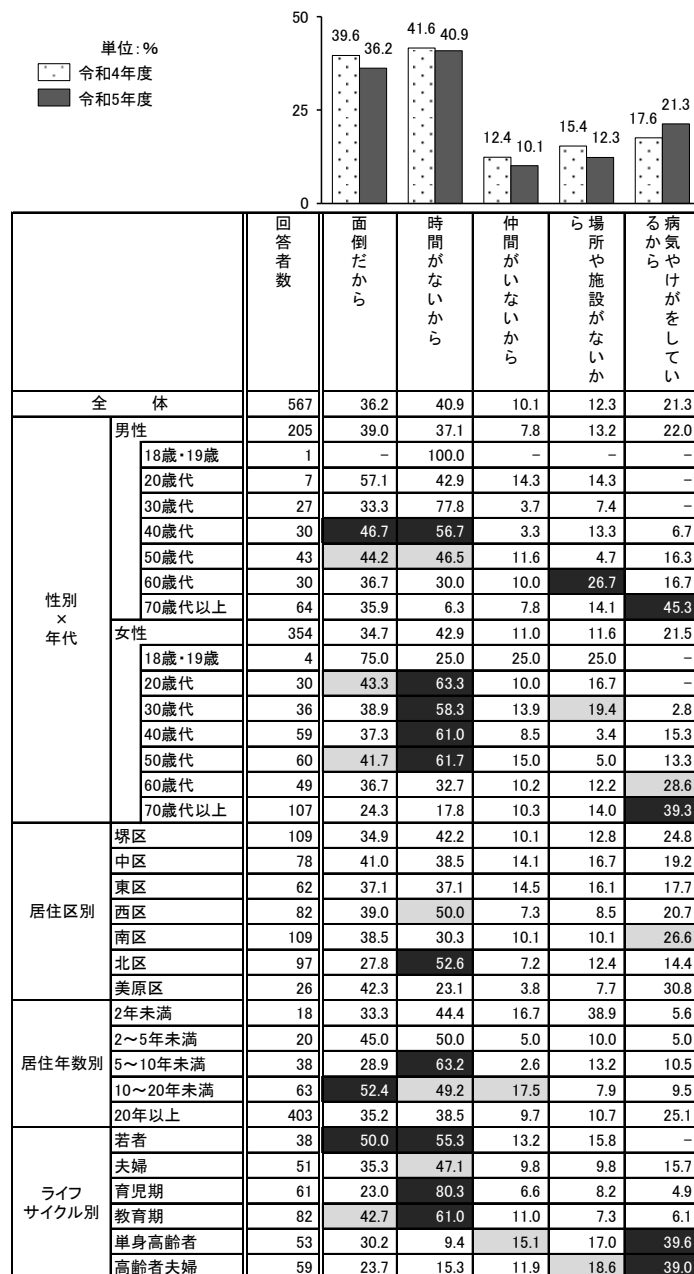
問 20 前問で「ほとんど行っていない」を選んだ方に伺います。
 ほとんど行っていない理由をお選びください。(あてはまるものすべてに○)

1日に30分以上の運動(日常の歩行や自転車を含む)やスポーツをほとんど行っていない理由については、「時間がないから」の割合が40.9%と最も高く、次いで「面倒だから」の割合が36.2%、「病気やけがをしているから」の割合が21.3%となっています。

令和4年度調査と比べると、「病気やけがをしているから」の割合が3.7ポイント増加し、「面倒だから」の割合が3.4ポイント減少しています。

性別×年代でみると、男性40歳代、女性20～50歳代で「時間がないから」の割合が5割半ばを超えています。また、男女とも70歳以上では、「病気やけがをしているから」の割合が約4割～4割半ばと高くなっています。

ライフサイクル別でみると、若者、育児期、教育期で「時間がないから」の割合が5割半ば以上と高く、特に育児期では80.3%と高くなっています。単身高齢者、高齢者夫婦では「病気やけがをしているから」の割合が約4割と高くなっています。



問 21 各種講座への参加、個人で行う学習、教育機関で行う学習、趣味やボランティアを通じた学習などの生涯学習活動に取り組んでいますか。(ひとつだけに○)

各種講座への参加、個人で行う学習、教育機関で行う学習、趣味やボランティアを通じた学習などの生涯学習活動に取り組んでいるかについては、「取り組んでいない」の割合が 62.3%と最も高く、次いで「あまり取り組んでいない」の割合が 18.0%となっています。

令和4年度調査と比べると、「おおむね毎週取り組んでいる」と「月に数回取り組んでいる」を合わせた“取り組んでいる”の割合は、2.8ポイント増加しています。

性別×年代で見ると、“取り組んでいる”の割合は、男性 20 歳代で 37.5%と高くなっています。一方、男性 40～60 歳代と女性 30～40 歳代では「あまり取り組んでいない」と「取り組んでいない」を合わせた“取り組んでいない”の割合が 8 割後半と高くなっています。



C 都市魅力について（文化・観光・産業・環境等）

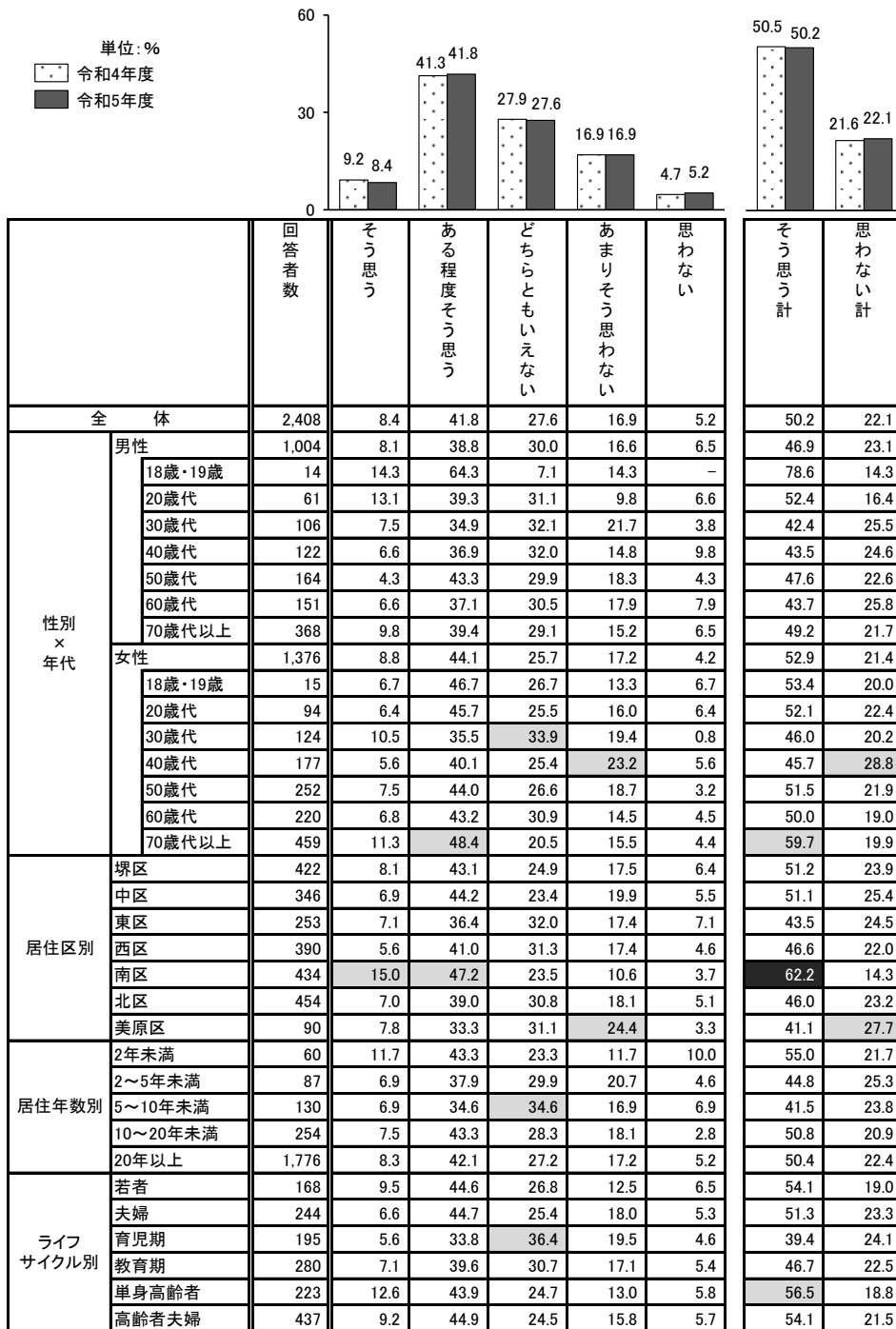
問1 堺市はまちなみの美しさに満足できるまちだと思いますか。（ひとつだけに○）

堺市はまちなみの美しさに満足できるまちだと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が50.2%となっています。

令和4年度調査と比べると、ほぼ同等となっています。

性別×年代でみると、女性70歳代以上で“そう思う”の割合が約6割と高くなっています。

居住区別でみると、南区で“そう思う”の割合が62.2%と高くなっています。



問2 堺市は海外の人たちに紹介したくなる魅力がある都市だと思いますか。
(ひとつだけに○)

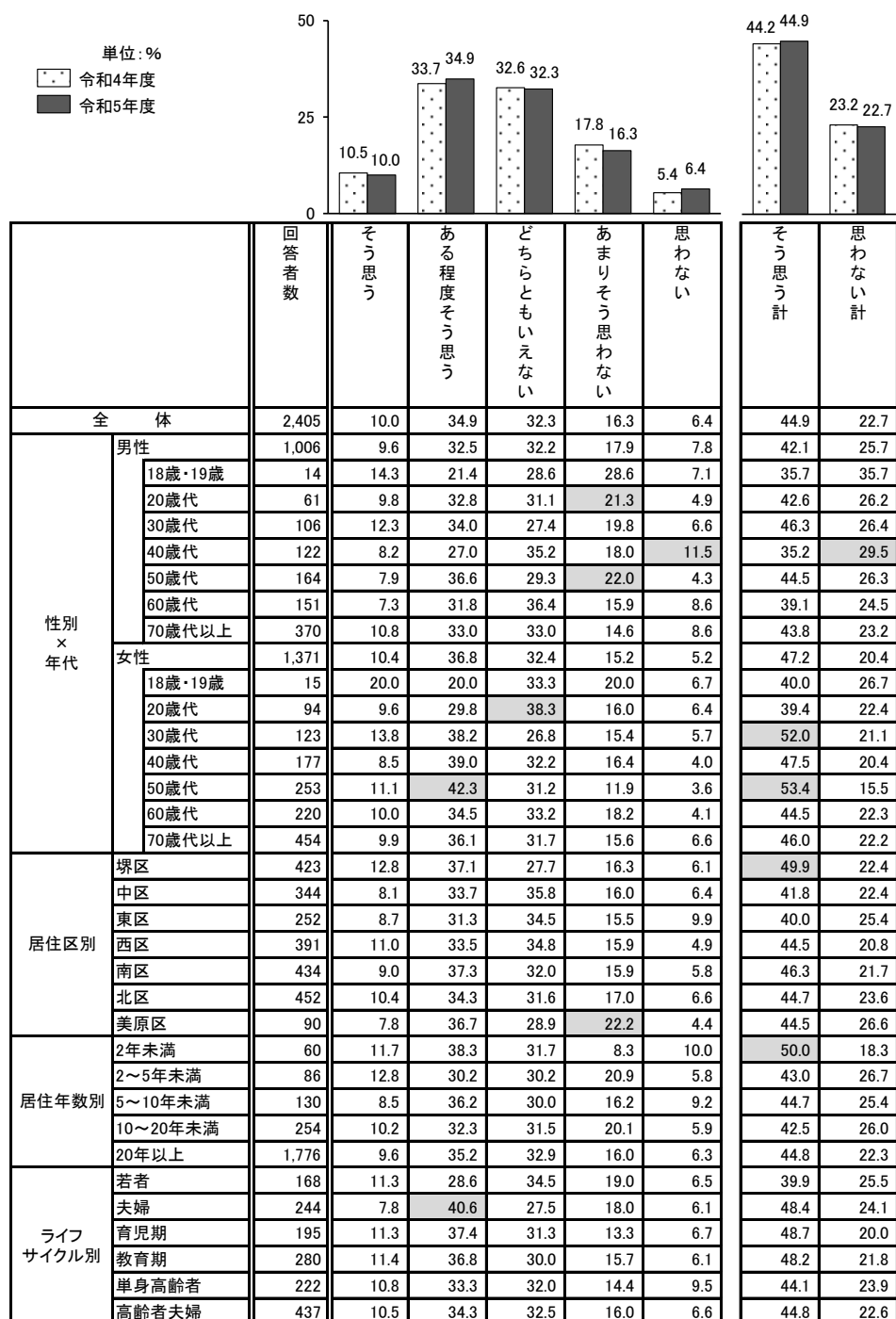
堺市は海外の人たちに紹介したくなる魅力がある都市だと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が44.9%となっています。

令和4年度調査と比べると、“そう思う”の割合はほぼ同等となっています。

性別×年代でみると、女性30歳代と50歳代で“そう思う”の割合が5割強と高い一方、男性40歳代では、「あまりそう思わない」と「思わない」を合わせた“思わない”の割合が29.5%と高くなっています。

居住区別でみると、堺区で“そう思う”の割合が49.9%と高くなっています。

居住年数別でみると、2年未満で“そう思う”の割合が50.0%と高くなっています。



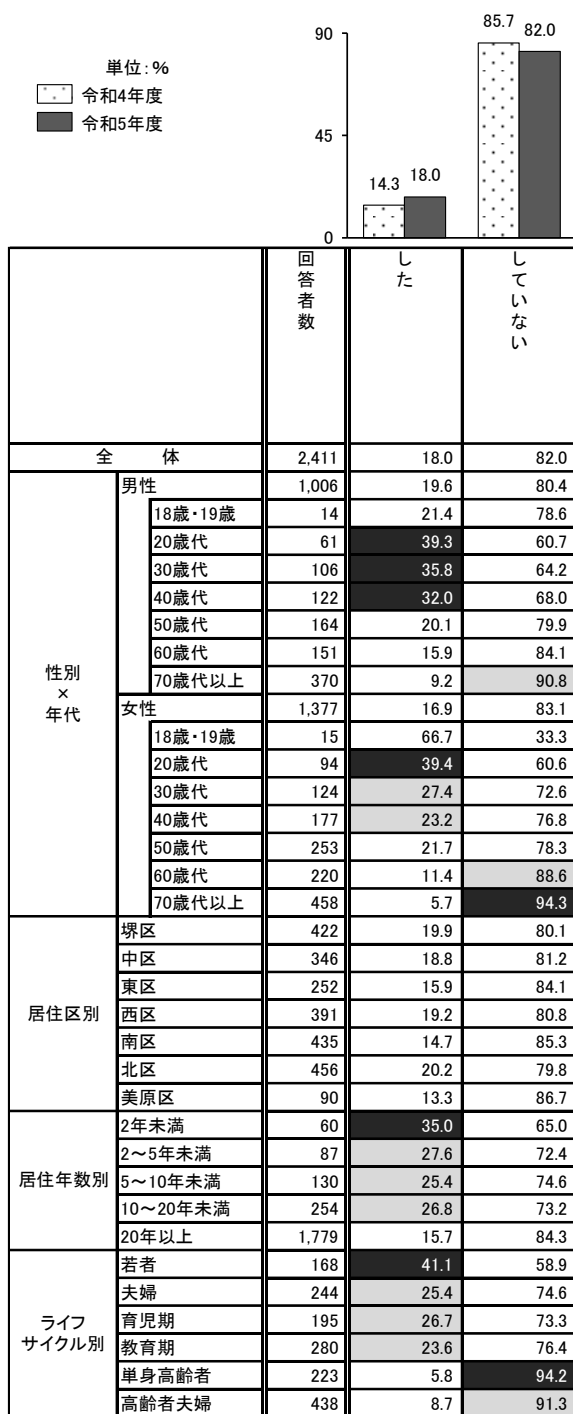
問3 おおむね1年以内に、外国人と交流しましたか。(ひとつだけに○)
※SNSなどオンラインでの交流を含む

おおむね1年以内に、外国人と交流したかについては、「した」の割合が18.0%、「していない」の割合が82.0%となっています。

令和4年度調査と比べると、「した」の割合は3.7ポイント増加しています。

性別×年代で見ると、男女ともに、年代が低くなるにつれて「した」の割合が高くなる傾向がみられ、男女とも20歳代では約4割と高い一方、男女とも70歳代以上では1割未満となっています。

ライフサイクル別で見ると、若者で「した」が41.1%と高くなっている一方、単身高齢者と高齢者夫婦では「していない」の割合が9割を超えています。



問4 前問で「していない」を選んだ方に伺います。
交流していない、最も大きな理由をお選びください。(ひとつだけに○)

おおむね1年以内に、外国人と交流していない、最も大きな理由については、「交流する機会がないから」の割合が69.7%と最も高く、次いで「興味がないから」の割合が11.0%、「言葉が通じないから」の割合が10.3%となっています。

令和4年度調査と比べると、ほぼ同等となっています。

性別×年代でみると、女性40～50歳代で「交流する機会がないから」の割合が8割前後と高くなっています。

ライフサイクル別でみると、夫婦、育児期、教育期で「交流する機会がないから」の割合が7割台後半と高くなっています。



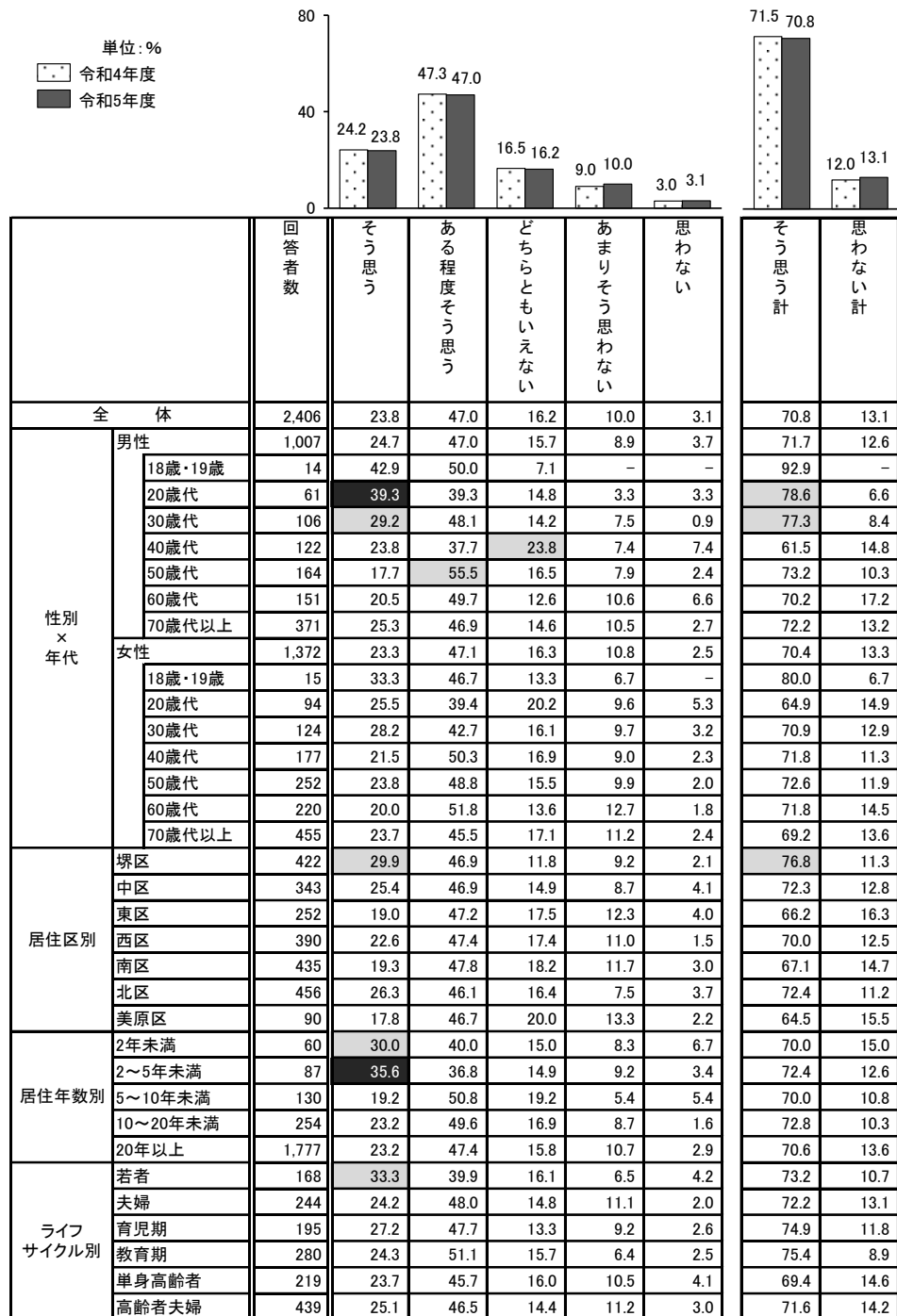
問5 堺市は歴史文化資源を身近に感じることができるまちだと思いますか。
(ひとつだけに○)

堺市は歴史文化資源を身近に感じることができるまちだと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が70.8%となっています。

令和4年度調査と比べると、ほぼ同等となっています。

性別×年代でみると、男性20～30歳代で“そう思う”の割合が7割台後半と高くなっています。

居住区別でみると、“そう思う”の割合は、堺区で76.8%と高くなっています。



問6 次のうち、堺の伝統産業であることを知っているものをお選びください。
(あてはまるものすべてに○)

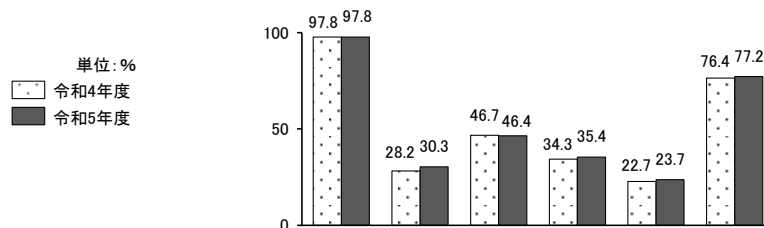
堺の伝統産業であることを知っているものについては、「刃物」の割合が97.8%と最も高く、次いで「自転車」の割合が77.2%、「線香」の割合が46.4%となっています。

令和4年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代でみると、女性60歳代以上でいずれの品も伝統産業であることを知っている割合が高くなっている傾向がみられます。

居住区別でみると、堺区で「線香」の割合が61.9%、西区で「注染・和晒」の割合が41.9%、中区と南区で「敷物（緞通）」の割合が3割半ばと、他区と比べて高くなっています。

ライフサイクル別でみると、高齢者夫婦でいずれの品も伝統産業であることを知っている割合が高くなっています。



		回答者数	刃物	注染・和晒	線香	昆布加工	敷物（緞通）	自転車
全 体		2,395	97.8	30.3	46.4	35.4	23.7	77.2
性別 × 年代	男性	1,003	97.6	25.3	44.1	31.9	21.8	76.6
	18歳・19歳	14	92.9	-	35.7	7.1	7.1	71.4
	20歳代	56	98.2	8.9	28.6	5.4	3.6	55.4
	30歳代	106	92.5	19.8	21.7	15.1	12.3	55.7
	40歳代	122	98.4	23.0	32.0	15.6	18.9	68.0
	50歳代	164	99.4	22.6	37.8	29.9	17.7	83.5
	60歳代	151	98.0	25.2	46.4	33.8	19.9	83.4
	70歳代以上	372	98.1	31.7	58.3	47.0	30.9	82.5
	女性	1,365	97.9	34.1	48.4	38.2	25.0	77.7
	18歳・19歳	15	100.0	20.0	53.3	13.3	6.7	66.7
	20歳代	86	95.3	9.3	26.7	19.8	8.1	68.6
	30歳代	121	95.0	24.8	24.8	23.1	5.8	59.5
	40歳代	177	98.9	27.1	34.5	29.4	13.6	73.4
50歳代	253	98.8	34.8	47.8	36.4	25.7	79.1	
60歳代	219	99.1	41.6	61.2	46.1	34.2	84.9	
70歳代以上	459	98.0	41.0	58.6	47.3	33.1	83.0	
居住区別	堺区	417	96.6	27.1	61.9	42.7	16.8	84.7
	中区	346	98.8	37.0	40.8	32.1	35.0	76.9
	東区	252	99.6	27.8	44.8	33.3	23.8	75.0
	西区	387	96.6	41.9	43.4	40.6	17.8	77.5
	南区	435	97.9	27.8	41.6	30.6	36.6	77.0
	北区	450	98.0	24.4	48.4	35.1	16.2	73.1
	美原区	90	97.8	18.9	30.0	26.7	10.0	71.1
居住年数別	2年未満	53	84.9	5.7	20.8	15.1	1.9	49.1
	2～5年未満	86	95.3	22.1	15.1	15.1	14.0	52.3
	5～10年未満	128	96.9	18.8	18.8	17.2	9.4	55.5
	10～20年未満	253	98.0	22.5	32.8	22.9	14.6	68.4
	20年以上	1,778	98.8	34.0	52.8	40.6	26.8	82.2
ライフ サイクル別	若者	159	96.9	10.1	32.7	14.5	6.9	64.8
	夫婦	239	96.7	28.9	38.1	27.2	21.8	75.7
	育児期	192	99.0	24.5	27.6	23.4	16.1	57.3
	教育期	280	99.3	28.2	38.2	28.6	18.6	79.3
	単身高齢者	222	98.2	32.9	53.6	45.0	30.6	84.2
	高齢者夫婦	441	97.3	41.7	63.0	49.2	34.0	84.8

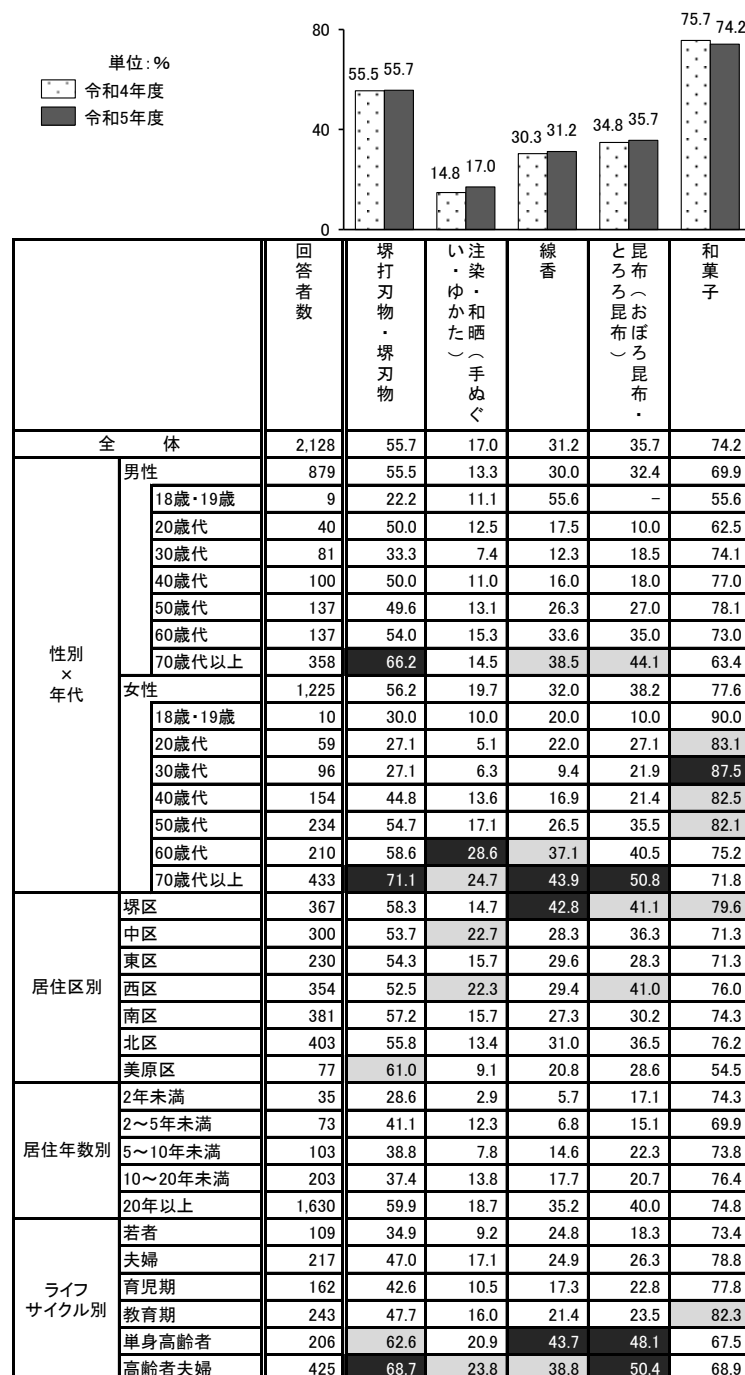
問7 次の堺産品で購入したことがあるものをお選びください。
(あてはまるものすべてに○)

堺産品で購入したことがあるものについては、「和菓子」の割合が74.2%と最も高く、次いで「堺打刃物・堺刃物」の割合が55.7%、「昆布（おぼろ昆布・とろろ昆布）」の割合が35.7%となっています。

令和4年度調査と比べると、「注染・和晒（手ぬぐい・ゆかた）」の割合が2.2ポイント増加しています。

性別×年代で見ると、女性20～50歳代で「和菓子」の割合が8割以上と高くなっています。また、男女ともに70歳代以上で「堺打刃物・堺刃物」の割合が6割半ばから7割強と高くなっています。

居住区別で見ると、美原区で「堺打刃物・堺刃物」の割合が61.0%と高くなっています。



問 8 自転車を利用する方に伺います。
 あなたがお住まいの地域の自転車の利用環境に満足していますか。
 (ひとつだけに○)

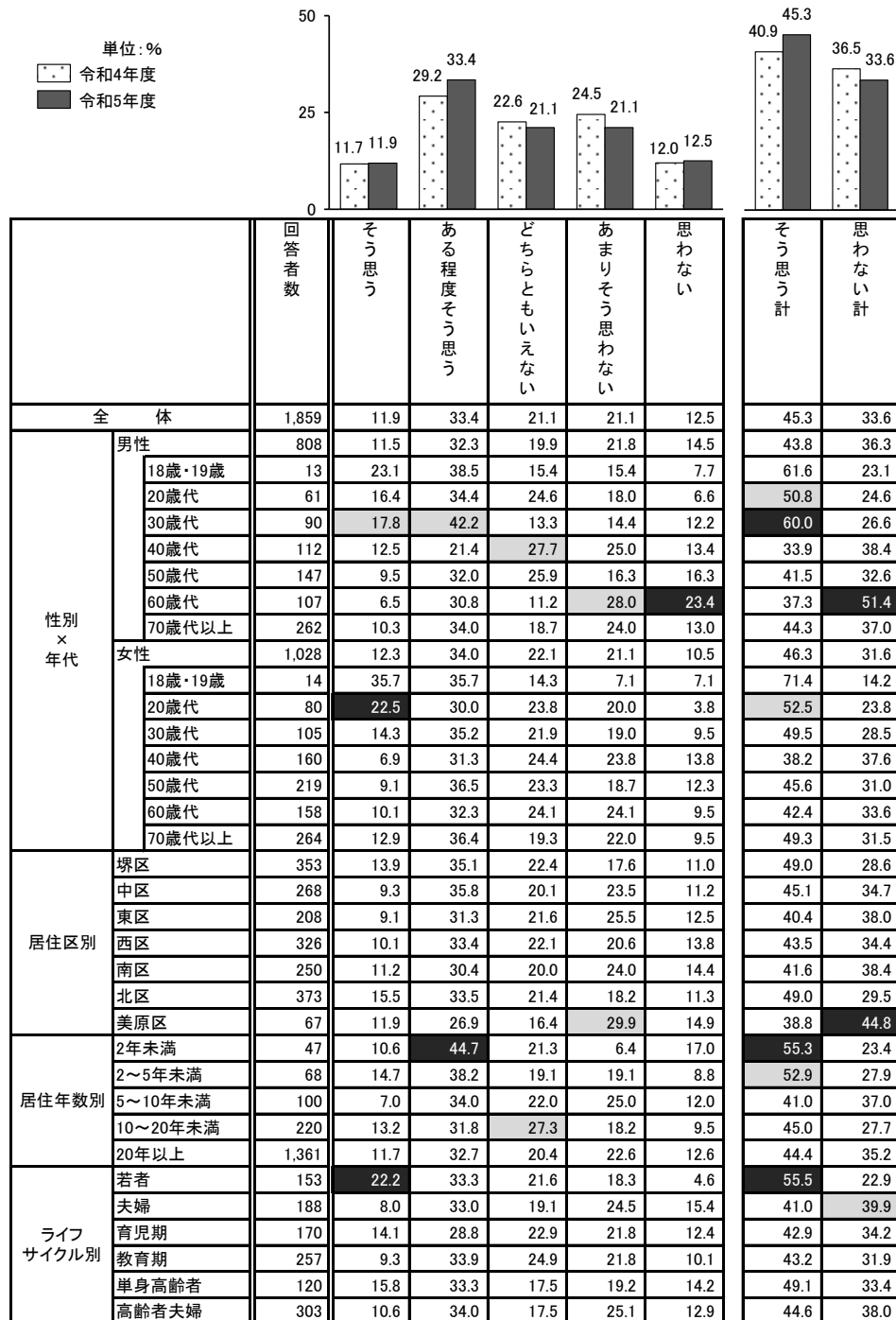
地域の自転車の利用環境に満足しているかについて、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が45.3%となっています。

令和4年度調査と比べると、“そう思う”の割合は4.4ポイント増加しています。

性別×年代でみると、男性30歳代で“そう思う”の割合が60.0%と高くなっています。

居住区別でみると、“そう思う”の割合は、美原区でのみ4割未満と低くなっています。

ライフサイクル別でみると、若者で“そう思う”の割合が55.5%と高くなっています。



問9 前問で「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「思わない」を選んだ方に伺います。

あなたがお住まいの地域の自転車利用環境について、次の項目のうち、満足していないものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)

地域の自転車の利用環境に満足していないものは、「道路の走りやすさ」が76.4%で最も高く、次いで「自転車利用者の交通ルールの順守度」の割合が48.8%、「駅前駐輪場の利便性」の割合が40.1%となっています。

性別×年代で見ると、女性30歳代で「道路の走りやすさ」の割合が88.2%と高くなっています。また、男性50歳代では、「自転車利用者の交通ルールの順守度」「駅前駐輪場の利便性」が全体より10ポイント以上高くなっています。

居住区別で見ると、美原区で「道路の走りやすさ」、堺区で「駅前駐輪場の利便性」の割合が全体より10ポイント以上高くなっています。



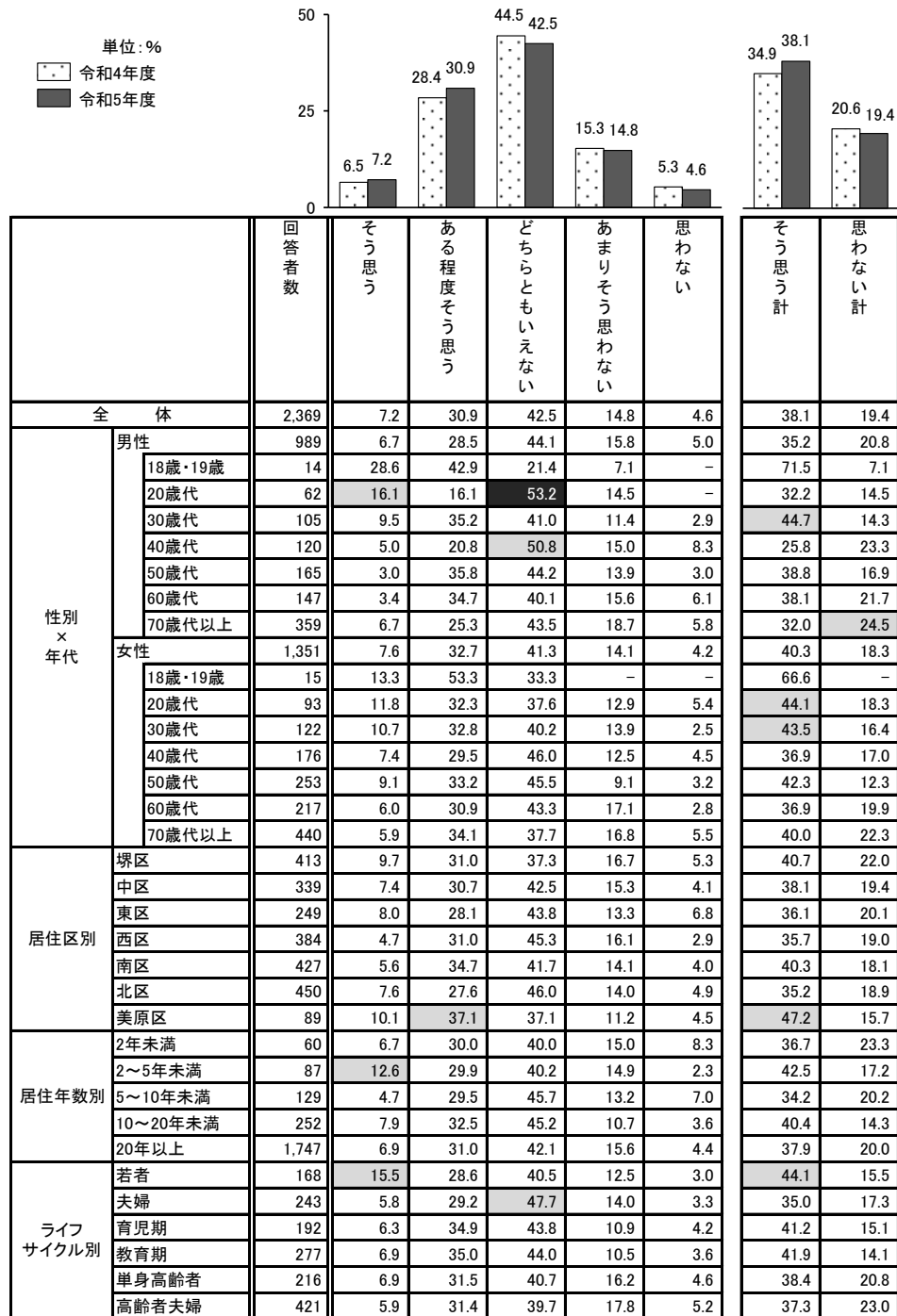
問 10 堺市は文化・芸術活動をしやすいまちだと思いますか。(ひとつだけに○)

堺市は文化・芸術活動をしやすいまちだと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が38.1%となっています。

令和4年度調査と比べると、“そう思う”の割合は3.2ポイント増加しています。

性別×年代でみると、男性30歳代と女性20～30歳代で“そう思う”の割合が4割半ばと高くなっています。

居住区別でみると、美原区で“そう思う”の割合が47.2%と高くなっています。

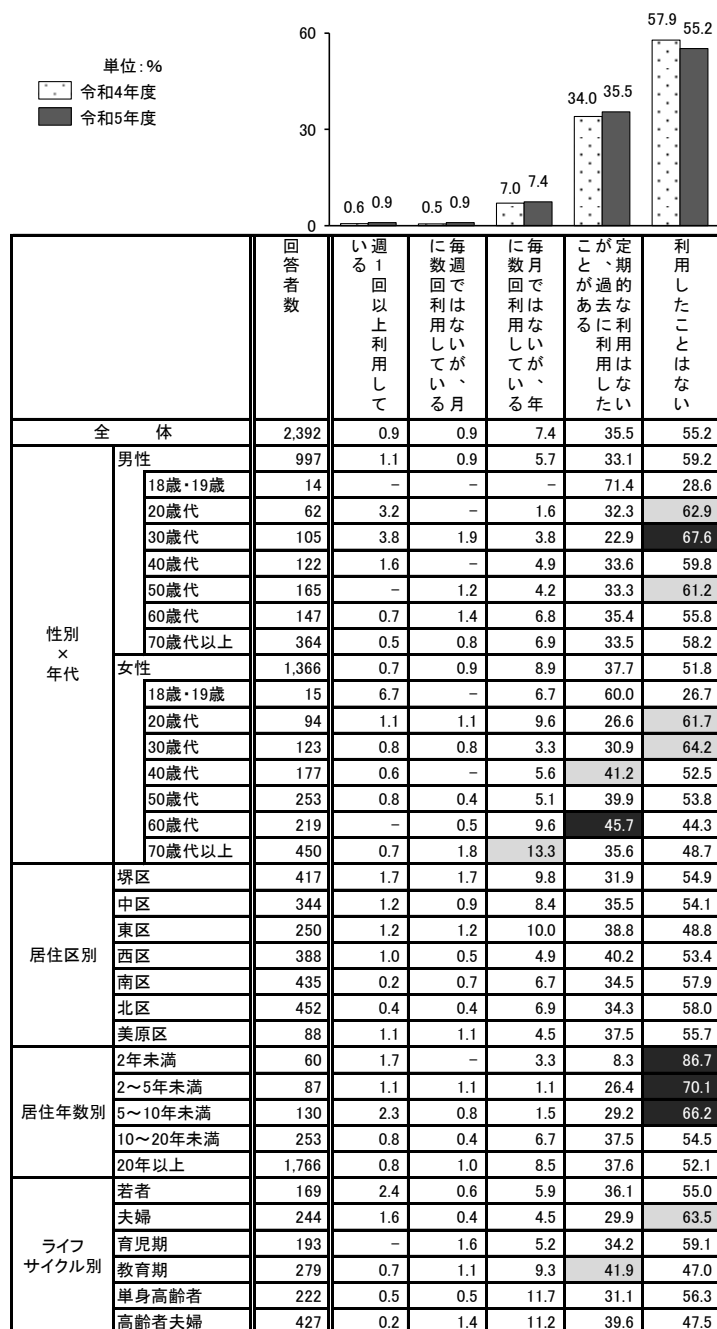


問 11 フェニーチェ堺（堺市民芸術文化ホール）や文化会館、文化館（堺 アルフォンス・ミュシャ館）を文化・芸術の活動や鑑賞等のために利用したことがありますか。（ひとつだけに○）

フェニーチェ堺（堺市民芸術文化ホール）や文化会館、文化館（堺 アルフォンス・ミュシャ館）を文化・芸術の活動や鑑賞等のために利用したことがあるかについては、「利用したことはない」の割合が 55.2%と最も高く、次いで「定期的な利用はないが、過去に利用したことがある」の割合が 35.5%となっています。

令和4年度調査と比べると、「利用したことはない」が2.7ポイント減少しています。

性別×年代でみると、男性20～30歳代と50歳代、女性20～30歳代で「利用したことはない」の割合が6割を超えており、特に男性30歳代で6割半ばを超えています。女性40歳代と60歳代で「定期的な利用はないが、過去に利用したことがある」の割合が4割以上と高くなっています。



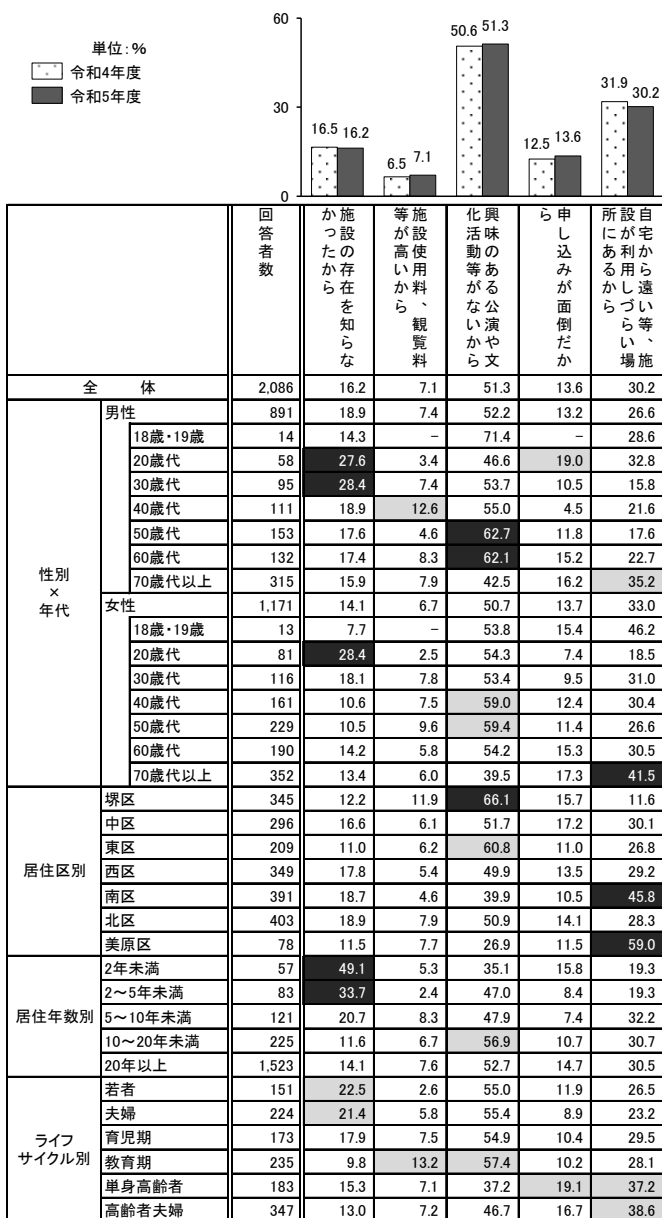
**問 12 前問で「定期的な利用はないが、過去に利用したことがある」「利用したことはない」を選んだ方に伺います。
その選択肢を選んだ理由をお選びください。(あてはまるものすべてに○)**

フェニーチェ堺や文化会館、文化館を文化・芸術の活動や鑑賞等のために利用したことがあるかについて、「定期的な利用はないが、過去に利用したことがある」「利用したことはない」を選んだ理由は、「興味のある公演や文化活動等がないから」の割合が 51.3%と最も高く、次いで「自宅から遠い等、施設が利用しづらい場所にあるから」の割合が 30.2%、「施設の利用を知らなかったから」の割合が 16.2%となっています。

令和4年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代でみると、男性 50～60 歳代と女性 40～50 歳代では、「興味のある公演や文化活動等がないから」が 6 割前後と高くなっています。また、男性 20～30 歳代と女性 20 歳代では、「施設の利用を知らなかったから」が 3 割弱と高くなっています。

居住区別でみると、「自宅から遠い等、施設が利用しづらい場所にあるから」の割合が、美原区で 59.0%、南区で 45.8%と、他区と比べて高くなっています。



問 13 概ね 6 か月以内に、通勤、通学以外の目的で都心エリアを訪れましたか。
 (ひとつだけに○)

※都心エリアとは、堺東駅から堺駅の周辺や阪堺線沿線を含むエリアであり、さかい利晶の杜や大浜公園などの施設や店舗なども含みます。

概ね 6 か月以内に、通勤、通学以外の目的で都心エリア（堺東駅から堺駅の周辺や阪堺線沿線を含むエリア）を訪れたかについては、「訪れた」の割合が 59.6%、「訪れていない」の割合が 40.4%となっています。

令和 4 年度調査と比べると、「訪れた」の割合が 3.1 ポイント増加しています。

性別×年代で見ると、「訪れた」の割合は、女性 20 歳代で 71.0%と最も高く、女性 70 歳代以上で 49.2%と最も低くなっています。男性 70 歳代以上でも 52.2%と低めになっていますが、その他の性・年代では「訪れた」の割合はいずれも 6 割台となっています。

居住区別で見ると、「訪れた」の割合は、堺区で 78.0%と最も高くなっており、南区、美原区で 4 割台と低くなっています。

ライフサイクル別で見ると、「訪れた」の割合は、単身高齢者、高齢者夫婦で 5 割台、その他の層では 6 割台後半となっています。



問 14 前問で「訪れた」を選んだ方に伺います。次のどのような目的で訪れましたか。
(あてはまるものすべてに○)

概ね6か月以内に、通勤、通学以外の目的で都心エリアを訪れた人の目的は、「買物・食事」の割合が77.8%と最も高く、次いで「公共施設（市役所、保健センター、病院等）の利用」の割合が34.5%、「娯楽・レジャー・催事」の割合が28.1%となっています。

令和4年度調査と比べると、「公共施設（市役所、保健センター、病院等）の利用」の割合が2.8ポイント、「文化活動・習い事等」の割合が2.5ポイント増加しています。

性別×年代でみると、男性 20～40 歳代、女性 30 歳代で「娯楽・レジャー・催事」の割合が4割前後と高くなっています。

居住区別でみると、堺区で「公共施設（市役所、保健センター、病院等）の利用」の割合が48.5%と、他区と比べて高くなっています。



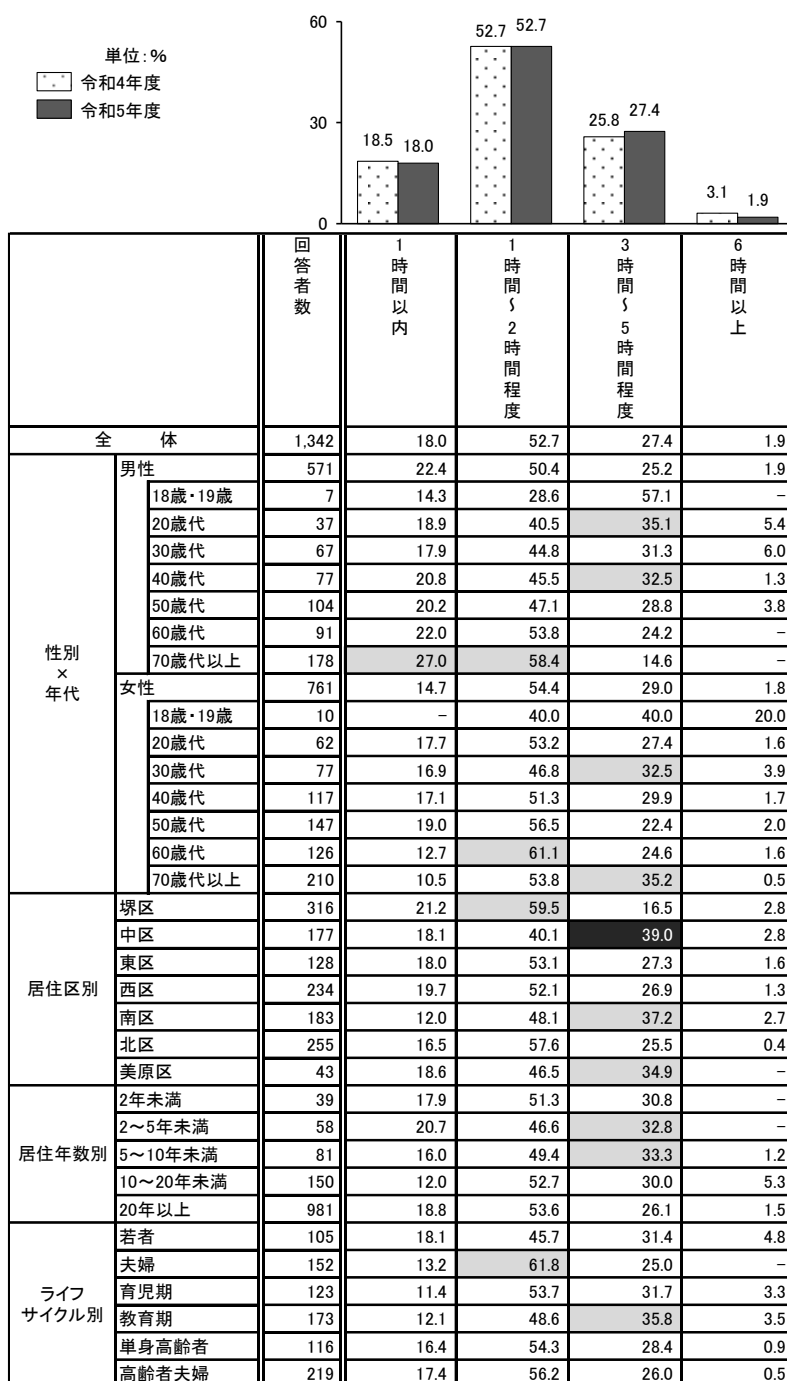
問 15 問 13 で「訪れた」を選んだ方に伺います。
都心エリアでの平均滞在時間は、どのくらいでしたか。(ひとつだけに○)

概ね 6 か月以内に、通勤、通学以外の目的で都心エリアを訪れた人の平均滞在時間は「1 時間～2 時間程度」の割合が 52.7%と最も高く、次いで「3 時間～5 時間程度」の割合が 27.4%、「1 時間以内」の割合が 18.0%となっています。

令和 4 年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代でみると、「3 時間～5 時間程度」の割合が、男性 20 歳代と女性 70 歳代以上で 3 割半ば以上と他の年代と比べて高くなっています。

居住区別でみると、中区で「3 時間～5 時間程度」の割合が 39.0%と他区に比べ高くなっています。



問 16 現在、仕事をしておらず、就職活動もしていない方に伺います。
その理由はなぜですか。（あてはまるものすべてに○）

現在、仕事をしておらず、就職活動もしていない方の理由は、「高齢のため」の割合が 71.4%と最も高く、次いで「配偶者の収入や蓄えなどで、仕事をしなくても生活ができるため」の割合が 15.4%、「病気やけがのため」の割合が 14.1%となっています。

ライフサイクル別でみると、単身高齢者と高齢者夫婦で「高齢のため」の割合が 8割半ば以上と高く、育児期で「育児や介護などで家を離れられないため」が 73.0%と高くなっています。教育期でも「育児や介護などで家を離れられないため」が 41.3%で最も高くなっています。



問 17 堺市内で採れた食材を、選んで食べていますか。(おおむね6か月以内)
(ひとつだけに○)

堺市内で採れた食材を、選んで食べているか(おおむね6か月以内)については、「時々食べている」の割合が39.9%と最も高く、次いで「食べていない」の割合が38.3%、「おおむね毎週食べている」と「月に数回食べている」の割合がともに10.9%となっています。「食べていない」を除いた“食べている”の割合は61.7%となっています。

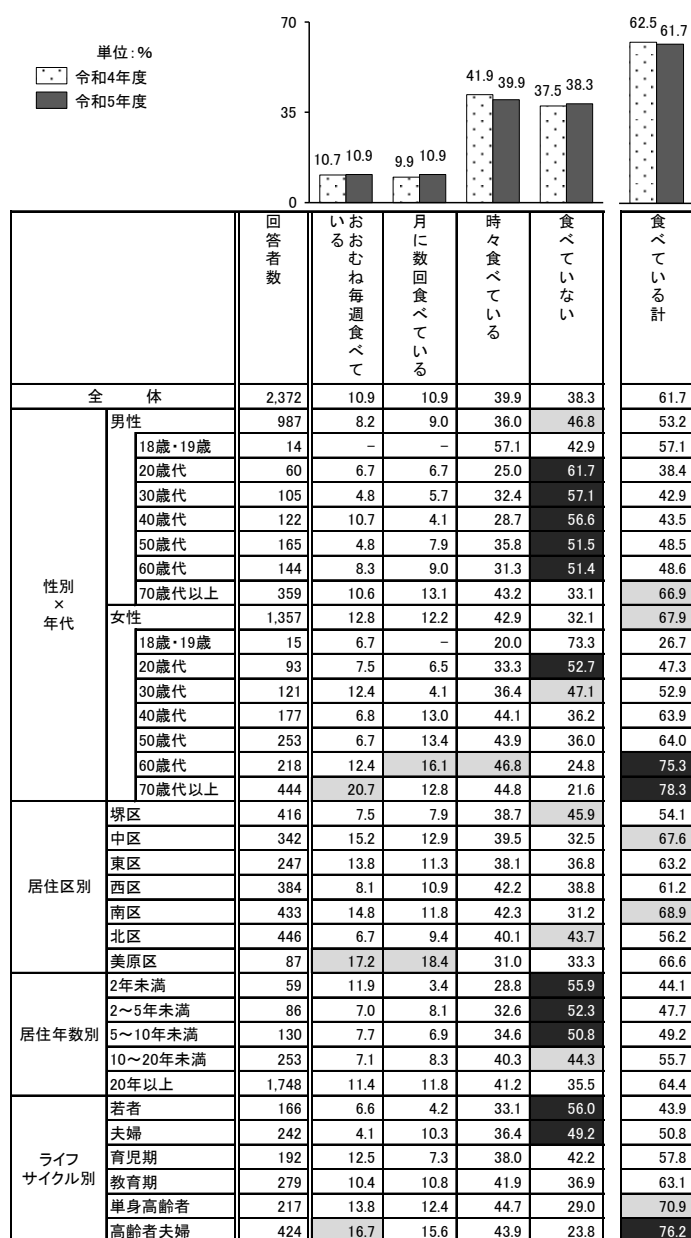
令和4年度調査と比べると、「時々食べている」の割合が2.0ポイント減少しています。

性別×年代でみると、女性60歳代以上で“食べている”が7割半ばを超えている一方、男性20～40歳代では「食べていない」の割合が5割半ばを超えています。

居住区別でみると、中区と南区で“食べている”の割合が6割半ば以上と高くなっています。

居住年数別でみると、年数が短いほど「食べていない」の割合が高くなっています。

ライフサイクル別でみると、単身高齢者、高齢者夫婦で“食べている”の割合が7割を超えています。一方、若者、夫婦で「食べていない」の割合が約5割～5割半ばと高くなっています。

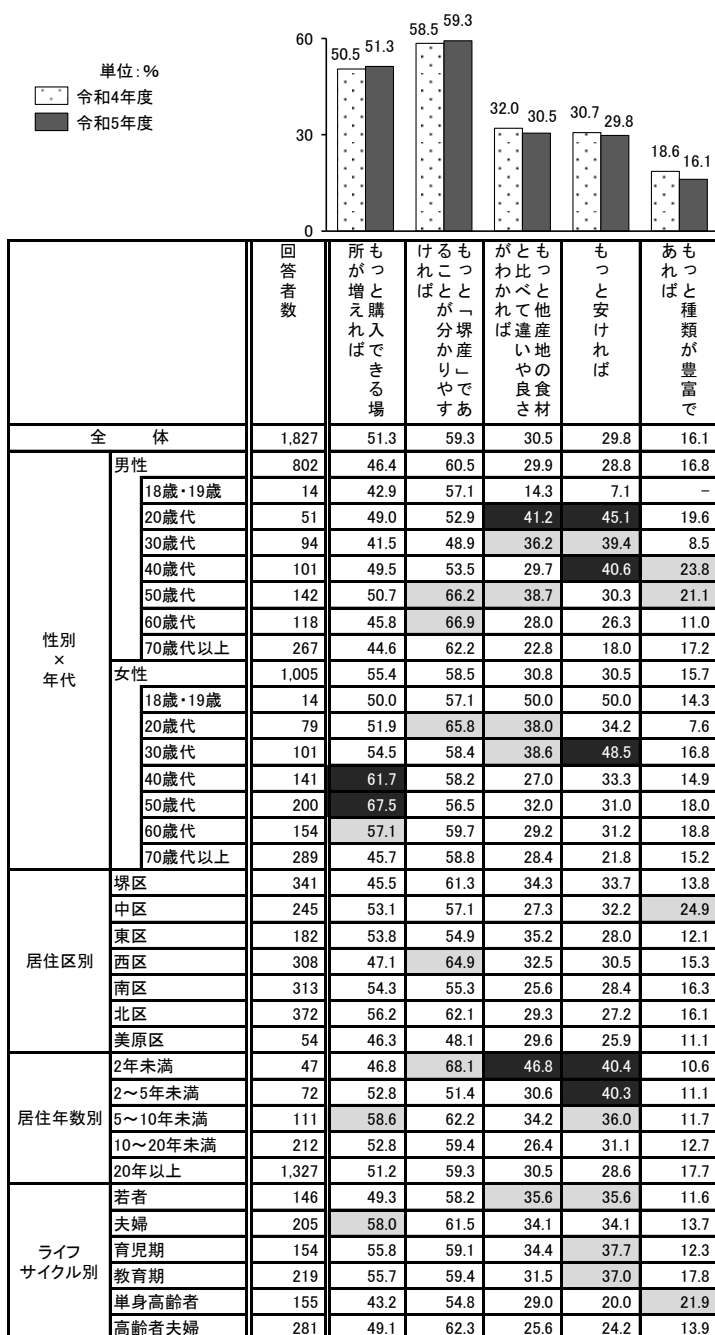


問 18 前問で「時々食べている」「食べていない」を選んだ方に伺います。
 どうすれば、今よりも市内で採れた食材を食べようと思いますか。
 (あてはまるものすべてに○)

堺市内で採れた食材を、選んで食べているか(おおむね6か月以内)について、「時々食べている」「食べていない」を選んだ方は、「もっと「堺産」であることが分かりやすければ」の割合が59.3%と最も高く、次いで「もっと購入できる場所が増えれば」の割合が51.3%、「もっと他産地の食材と比べて違いや良さがわかれば」の割合が30.5%となっています。

令和4年度調査と比べると、「もっと種類が豊富であれば」の割合が2.5ポイント減少していますが、傾向は大きく変わりません。

性別×年代で見ると、男性20歳代と女性30歳代で「もっと安ければ」の割合が4割半ば以上と高くなっています。また、女性40～50歳代で「もっと購入できる場所が増えれば」の割合が6割台と高くなっています。



問 19 あなたは「消費期限」と「賞味期限」の意味を知っていますか。
(ひとつだけに○)

「消費期限」と「賞味期限」の意味を知っているかについては、「どちらも知っている」の割合が90.9%と最も高くなっています。

令和4年度調査と比べると、ほぼ同等となっています。

性別×年代で見ると、「どちらも知っている」の割合は、男性50歳代以上と女性70歳代以上で8割台となっていますが、その他の年代ではいずれも9割以上となっています。



問 20 あなたはどのような理由で「食品ロス」を発生させたことがありますか。

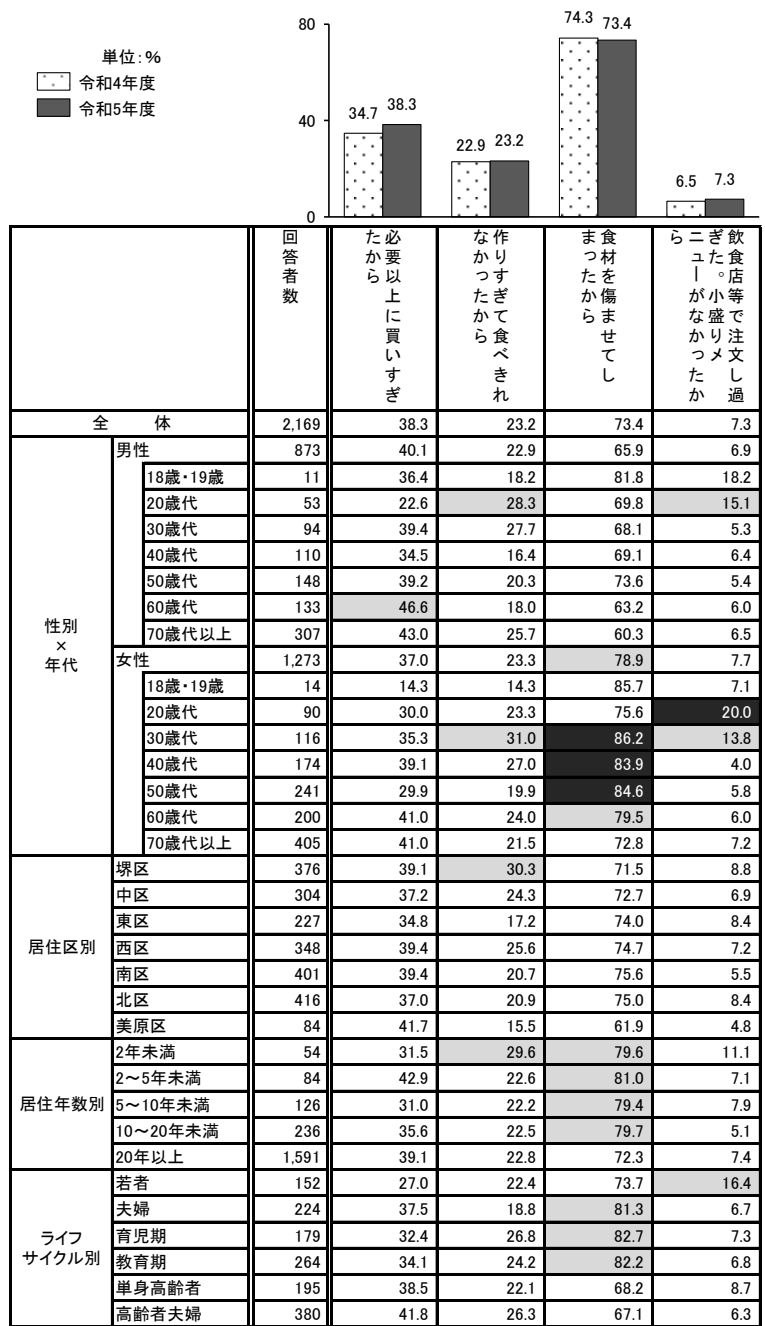
(あてはまるものすべてに○)

※食品ロスとは、食べ残し、賞味期限切れ等の理由により食べられるのに捨てられている食品のことです。

どのような理由で「食品ロス」を発生させたことがあるかについては、「食材を傷ませてしまったから」の割合が 73.4%と最も高く、次いで「必要以上に買いすぎたから」の割合が 38.3%、「作りすぎて食べきれなかったから」の割合が 23.2%となっています。

令和 4 年度調査と比べると、「必要以上に買いすぎたから」の割合が 3.6 ポイント増加しています。

性別×年代でみると、女性 30～50 歳代で「食材を傷ませてしまったから」の割合が 8 割を超えています。また、女性 20 歳代で「飲食店等で注文し過ぎた。小盛りメニューがなかったから」が 20.0%と高くなっています。



問 21 ごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか。(ひとつだけに○)

ごみの減量やリサイクルに取り組んでいるかについては、「ごみの分別などルールを守っている」の割合が 69.4%と最も高く、次いで「積極的に取り組んでいる」の割合が 18.3%となっています。

令和 4 年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代でみると、「あまり取り組んでいない」と「取り組んでいない」を合わせた“取り組んでいない”の割合が男性 30 歳代と女性 20 歳代で 2 割半ばと高くなっています。

居住区別でみると、美原区で「ごみの分別などルールを守っている」が 77.8%と高くなっています。

ライフサイクル別でみると、単身高齢者、高齢者夫婦で「積極的に取り組んでいる」が 2 割半ばと高くなっています。

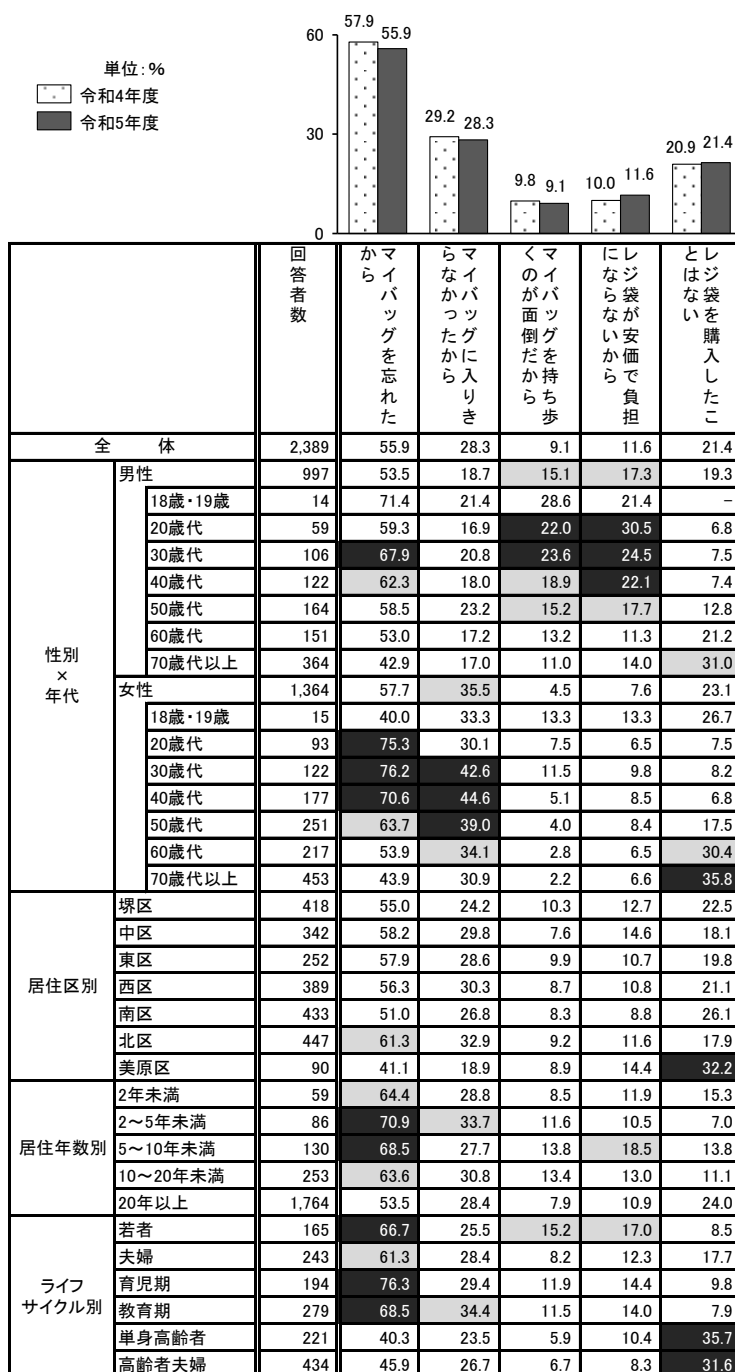


問 22 レジ袋有料化後、あなたがレジ袋を購入したのはどのような理由からですか。
(あてはまるものすべてに○)

レジ袋有料化後、レジ袋を購入したのはどのような理由かについては、「マイバッグを忘れたから」の割合が55.9%と最も高く、次いで「マイバッグに入りきらなかったから」の割合が28.3%、「レジ袋を購入したことはない」の割合が21.4%となっています。

令和4年度調査と比べると、「マイバッグを忘れたから」の割合が2.0ポイント減少しています。

性別×年代で見ると、男性30歳代と女性20～40歳代で「マイバッグを忘れたから」、女性30～50歳代で「マイバッグに入りきらなかったから」、男性20～30歳代で「マイバックを持ち歩くのが面倒だから」、男性20～40歳代で「レジ袋が安価で負担にならないから」、女性70歳代以上で「レジ袋を購入したことはない」の割合がそれぞれ高くなっています。



問 23 戸建て住宅の持ち家にお住まいの方に伺います。
 あなたがお住まいの住宅では、太陽光発電を導入していますか。
 (ひとつだけに○)

住宅で太陽光発電を導入しているかについては、「導入している」の割合が 11.2%、「導入していない」の割合が 88.8%となっています。

令和 4 年度調査では戸建て住宅に限定していませんでしたが、「導入している」の割合を比べると、3.1 ポイント増加しています。

性別×年代でみると、男性 30～40 歳代と女性 40 歳代で「導入している」の割合が 2 割台と高くなっています。

居住区別でみると、西区で「導入している」の割合が 16.3%と高めになっています。

居住年数別でみると、10～20 年未満で「導入している」の割合が 24.0%と高くなっています。



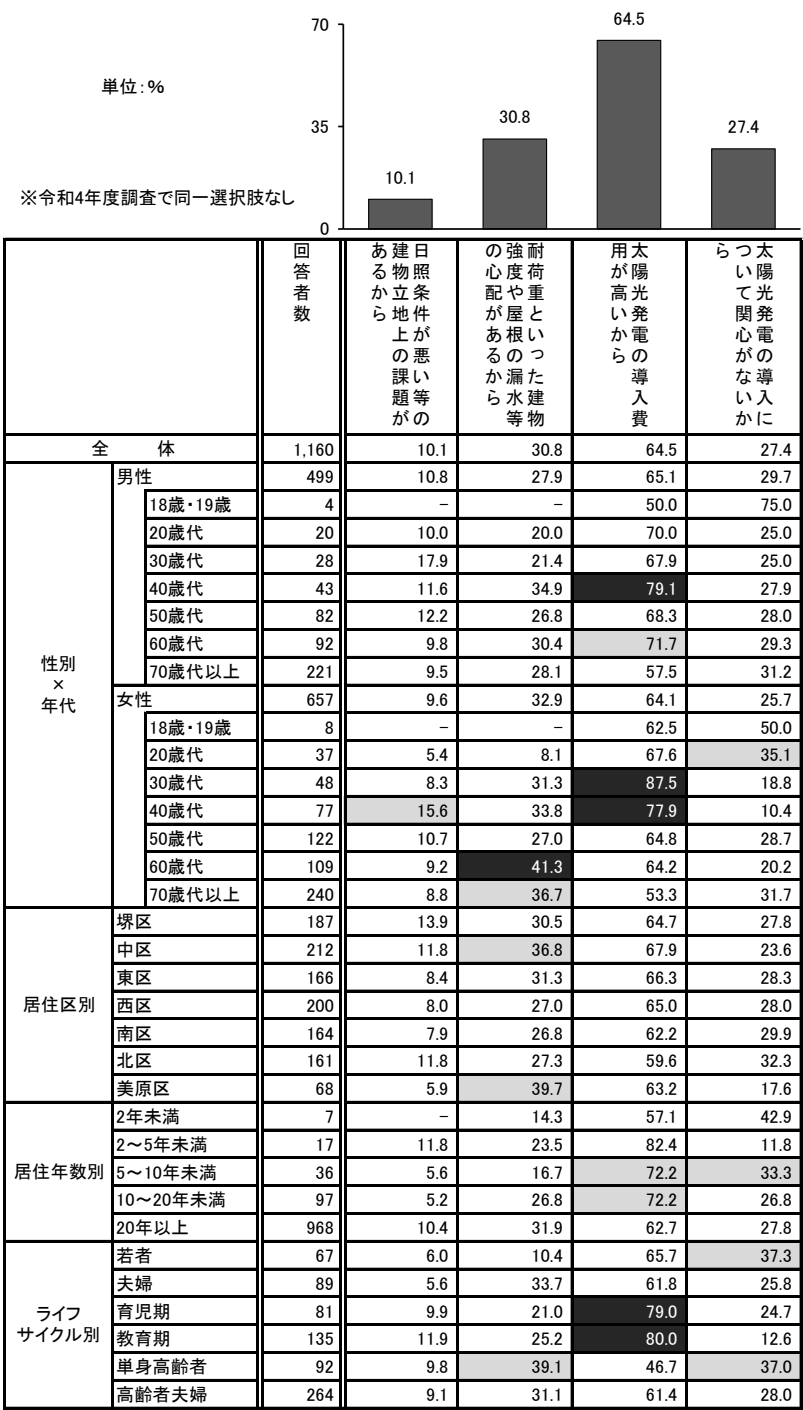
※令和4年度は設問文が
 「あなたがお住まいの住宅では、太陽光発電を導入していますか。」

問 24 前問で「導入していない」を選んだ方に伺います。
導入していない理由をお選びください。(あてはまるものすべてに○)

住宅で太陽光発電を導入しているかについて、「導入していない」理由は、「太陽光発電の導入費用が高いから」の割合が 64.5%と最も高く、次いで「耐荷重といった建物強度や屋根の漏水等の心配があるから」の割合が 30.8%、「太陽光発電の導入について関心がないから」の割合が 27.4%となっています。

性別×年代でみると、「太陽光発電の導入費用が高いから」の割合は、女性 30 歳代で 9 割弱、男女とも 40 歳代で 8 割弱と高くなっています。

居住区別でみると、中区と美原区で「耐荷重といった建物強度や屋根の漏水等の心配があるから」の割合が高めになっています。



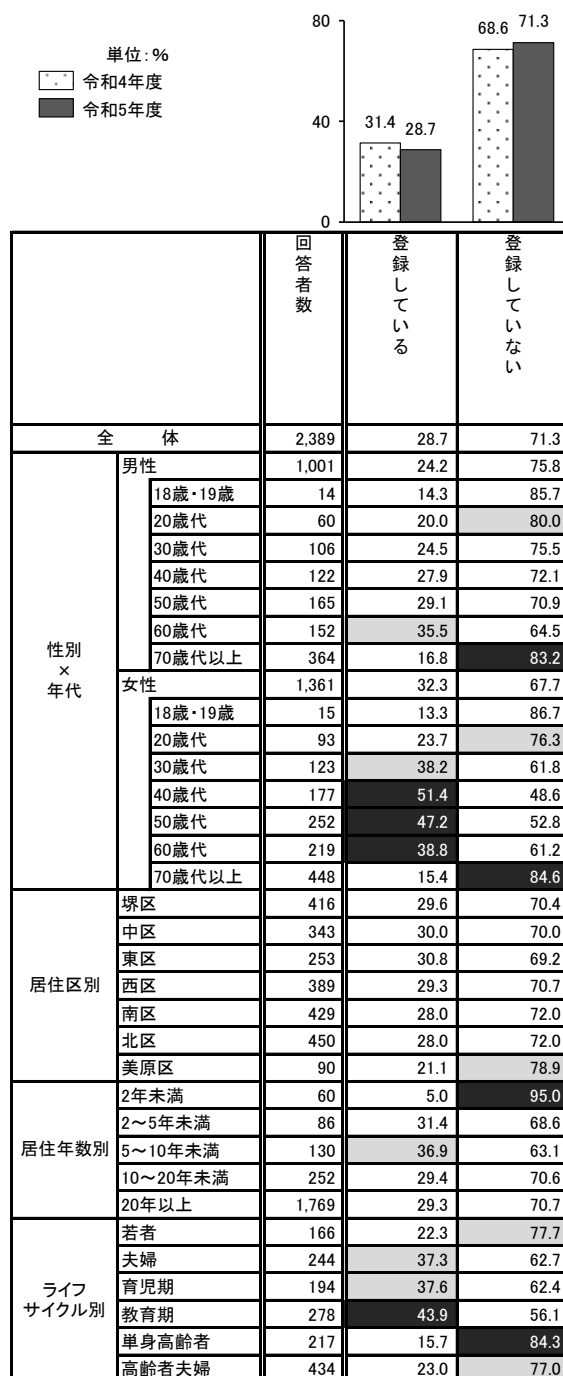
問 25 あなたは、堺市 LINE 公式アカウントを登録していますか。(ひとつだけに○)

堺市 LINE 公式アカウントを登録しているかについては、「登録している」の割合が 28.7%、「登録していない」の割合が 71.3%となっています。

令和 4 年度調査と比べると、「登録している」の割合は 2.7 ポイント減少しています。

性別×年代で見ると、「登録している」の割合は、女性 40～50 歳代で 5 割前後、男女とも 60 歳代で 3 割台後半と高くなっている一方、男女とも 70 歳代以上では 1 割半ばと低くなっています。性別で「登録している」の割合を比べると、男性で 24.2%、女性で 32.3%と、女性の方が高くなっています。

ライフサイクル別で見ると、「登録している」の割合は、教育期で 43.9%、夫婦、育児期で 37% 台と高くなっています。



問 26 前問で「登録していない」を選んだ方に伺います。
 あなたが堺市 LINE 公式アカウントを登録していない理由をお選びください。
 (あてはまるものすべてに○)

堺市 LINE 公式アカウントを登録しているかについて、「登録していない」理由は、「堺市 LINE 公式アカウントを知らなかったから」の割合が 40.4%、「LINE で情報が欲しいと思わないから」の割合が 29.7%、「登録の仕方がわからないから」の割合が 24.7%となっています。

令和 4 年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代でみると、男女とも 20 歳代と女性 30 歳代で「堺市 LINE 公式アカウントを知らなかったから」の割合が 6 割以上と高くなっています。また、女性 40 歳代で「LINE で情報が欲しいと思わないから」の割合が 4 割半ば、男性 20 歳代と 40 歳代で「不要な情報ばかり届きそうだから」の割合が約 3 割と高くなっています。男女とも 70 歳代以上では「そもそも LINE を利用していないから」、女性 70 歳代以上では「登録の仕方がわからないから」の割合が、それぞれ約 4 割と高くなっています。

ライフサイクル別でみると、単身高齢者と高齢者夫婦で「登録の仕方がわからないから」「そもそも LINE を利用していないから」の割合が高くなっています。



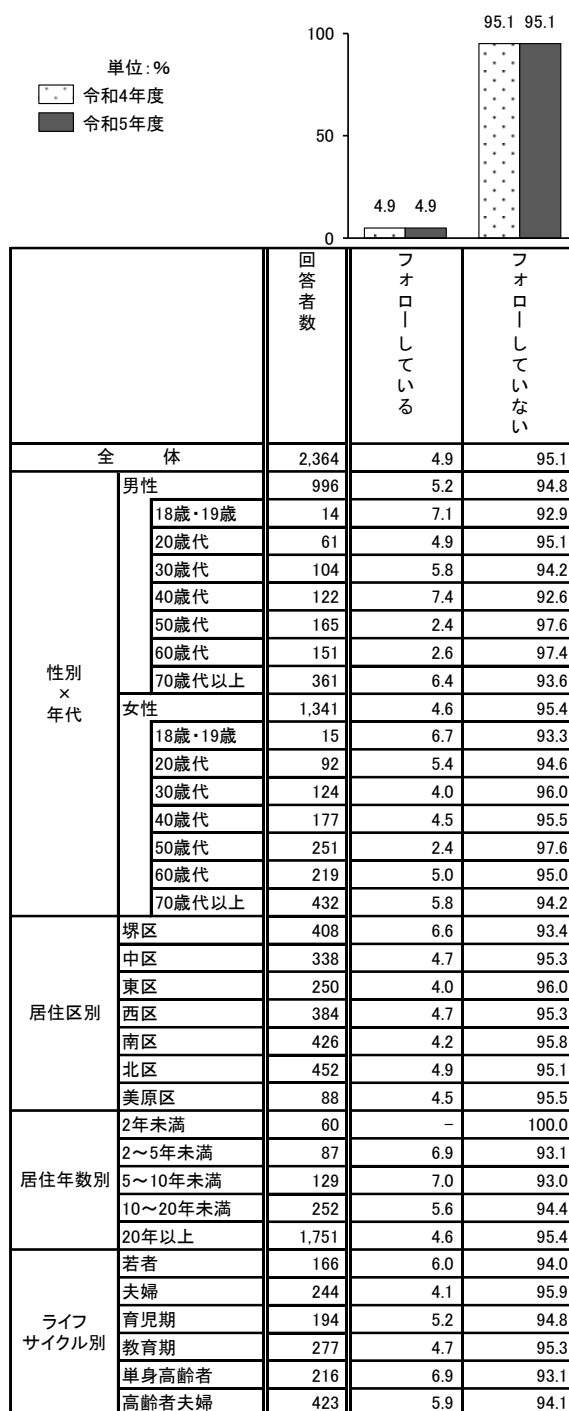
問 27 あなたは、堺市広報課 X（旧 Twitter）をフォローしていますか。
（ひとつだけに○）

堺市広報課 X（旧 Twitter）をフォローしているかについては、「フォローしている」の割合が 4.9%、「フォローしていない」の割合が 95.1%となっています。

令和 4 年度調査と比べると、全く同等となっています。

性別×年代で見ると、男性 40 歳代で「フォローしている」の割合が 7.4%と、最も高くなっています。

ライフサイクル別で見ると、「フォローしている」の割合は、単身高齢者で 6.9%と最も高くなっています。

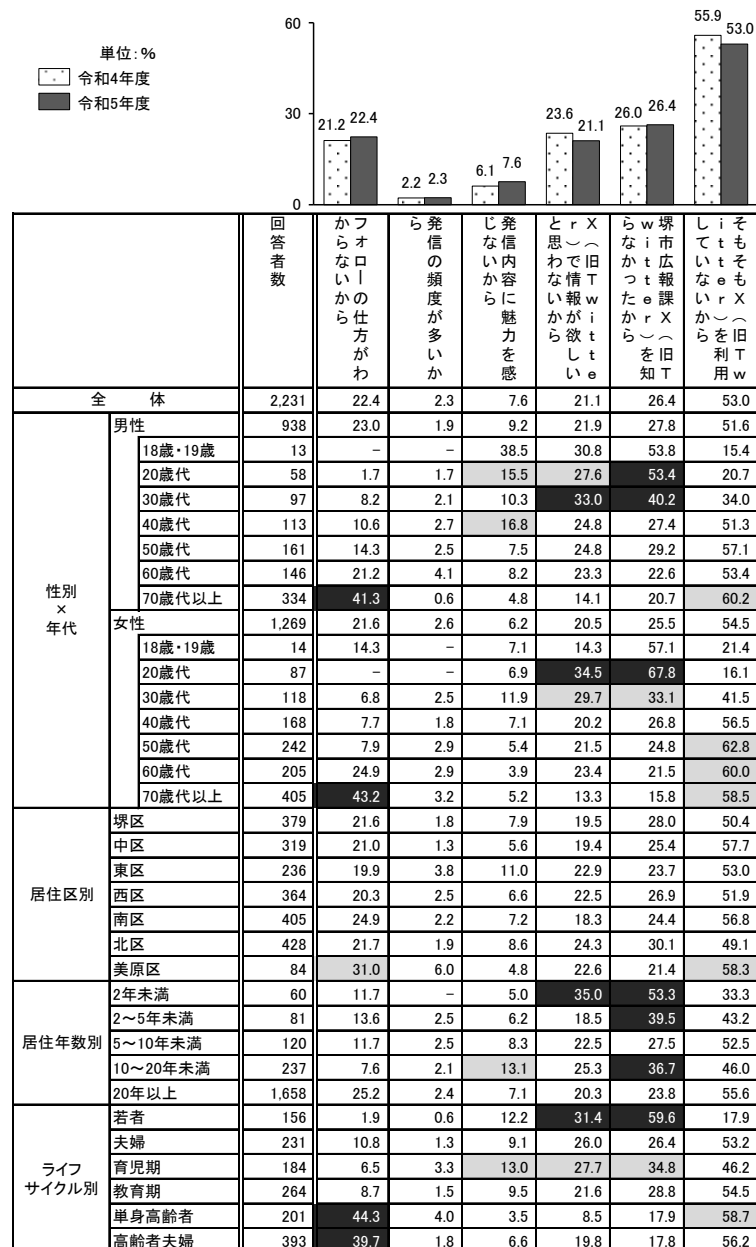


問 28 前問で「フォローしていない」を選んだ方に伺います。
 あなたが堺市広報課 X（旧 Twitter）をフォローしていない理由をお選びください。
 い。（あてはまるものすべてに○）

堺市広報課 X（旧 Twitter）をフォローしているかについて、「フォローしていない」理由は、「そもそも X（旧 Twitter）を利用していないから」の割合が 53.0%、「堺市広報課 X（旧 Twitter）を知らなかったから」の割合が 26.4%、「フォローの仕方がわからないから」の割合が 22.4%となっています。

令和 4 年度調査と比べると、「そもそも X（旧 Twitter）を利用していないから」の割合が 2.9 ポイント、「X（旧 Twitter）で情報が欲しいと思わないから」の割合が 2.5 ポイント減少しています。

性別×年代でみると、男女ともに 20 歳代で「堺市広報課 X（旧 Twitter）を知らなかったから」の割合が 5 割以上、男性 30 歳代と女性 20 歳代で「X（旧 Twitter）で情報が欲しいと思わないから」の割合が 3 割以上、男女とも 70 歳代以上で「フォローの仕方がわからないから」の割合が 4 割以上と、それぞれ高くなっています。



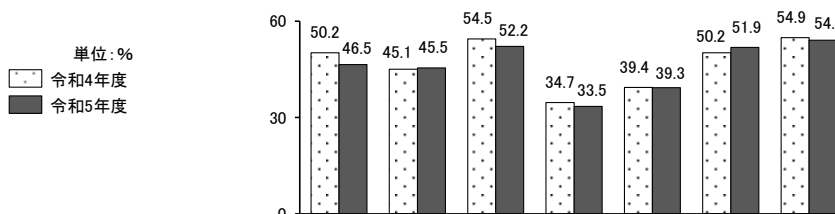
問 29 泉北ニュータウンにおいて、子育て世代の住民を増やすためには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

泉北ニュータウンにおいて、子育て世代の住民を増やすためには、どのようなことが必要だと思うかについては、「鉄道・バスなどの公共交通の便利さ」の割合が 54.1%と最も高く、次いで「子育て環境の充実」の割合が 52.2%、「日常の買い物の便利さ」の割合が 51.9%となっています。

令和 4 年度調査と比べると、「子育て世代のライフスタイルに合った住宅の供給」が 3.7 ポイント、「子育て環境の充実」が 2.3 ポイント減少しています。

性別×年代でみると、男性 20～30 歳代と女性 50 歳代で「鉄道・バスなどの公共交通の便利さ」、女性 20 歳代で「子育て環境の充実」と「日常の買い物の便利さ」の割合が 6 割を超えています。

ライフサイクル別でみると、若者、育児期では「子育て環境の充実」の割合が 6 割を超えて最も高くなっています。



	回答者数	住宅の供給	子育て世代に合ったライフスタイル	機身近な場所で働ける	子育て環境の充実	教育環境の充実	医療機関の充実	日常の買い物の便利さ	鉄道・バスなどの公共交通の便利さ
全体	2,145	46.5	45.5	52.2	33.5	39.3	51.9	54.1	
性別×年代	男性	906	45.9	45.0	52.5	34.4	38.0	49.6	52.1
	18歳・19歳	13	46.2	46.2	84.6	53.8	30.8	61.5	53.8
	20歳代	59	49.2	37.3	57.6	47.5	47.5	55.9	64.4
	30歳代	106	45.3	38.7	60.4	43.4	40.6	51.9	65.1
	40歳代	114	45.6	46.5	47.4	36.0	34.2	46.5	55.3
	50歳代	159	55.3	45.3	54.7	35.2	40.9	57.9	54.1
	60歳代	140	47.1	42.9	57.1	39.3	41.4	49.3	48.6
	70歳代以上	298	40.3	48.7	46.6	25.2	33.6	43.3	43.6
	女性	1,219	47.1	45.9	51.8	32.8	40.4	53.8	55.8
	18歳・19歳	14	42.9	50.0	57.1	28.6	42.9	50.0	64.3
	20歳代	87	52.9	41.4	63.2	43.7	46.0	64.4	51.7
	30歳代	117	44.4	43.6	61.5	35.9	41.0	56.4	59.8
	40歳代	171	44.4	45.6	50.9	33.9	33.3	57.9	55.6
	50歳代	244	51.2	45.9	50.4	32.4	43.9	53.7	66.4
60歳代	204	54.4	48.5	53.9	34.3	41.2	52.9	53.9	
70歳代以上	359	41.8	45.7	46.8	28.7	39.6	49.0	48.5	
居住区別	堺区	359	43.5	44.8	48.5	30.4	36.2	50.7	57.9
	中区	324	53.1	45.7	54.9	37.3	43.8	58.0	52.8
	東区	211	49.8	45.0	59.2	36.0	42.2	55.5	56.4
	西区	347	46.7	41.2	49.3	28.5	37.2	47.8	57.1
	南区	427	44.3	51.5	56.2	38.6	42.9	50.1	42.9
	北区	394	45.7	46.2	49.0	33.8	37.6	54.6	61.2
	美原区	70	40.0	30.0	45.7	18.6	27.1	40.0	51.4
居住年数別	2年未満	55	49.1	58.2	63.6	41.8	40.0	56.4	50.9
	2～5年未満	81	35.8	38.3	61.7	43.2	44.4	66.7	65.4
	5～10年未満	117	43.6	44.4	55.6	37.6	39.3	51.3	55.6
	10～20年未満	237	40.5	39.7	54.4	38.4	36.3	56.5	60.3
	20年以上	1,585	48.0	46.8	51.0	32.0	39.3	50.6	52.5
ライフサイクル別	若者	158	50.0	41.8	60.8	45.6	46.2	59.5	55.7
	夫婦	233	49.8	42.9	50.2	36.9	36.5	54.9	56.2
	育児期	183	49.2	44.3	65.6	44.3	45.9	57.9	60.1
	教育期	268	44.8	40.3	54.1	41.4	36.6	54.5	54.9
	単身高齢者	168	40.5	45.8	52.4	32.7	38.7	47.0	45.8
	高齢者夫婦	370	44.1	44.6	45.4	27.8	41.6	48.6	49.2

D 転入、転出について

問1 堺市への転入や転出について、あてはまるものをお選びください。
(ひとつだけに○)

堺市への転入や転出については、「どれもあてはまらない（生まれてから堺市居住も含む）」の割合が39.1%と最も高く、次いで「希望してはいないが、事情により堺市に転入した」の割合が32.8%、「希望して堺市に転入した」の割合が24.5%となっています。

令和4年度調査と比べると、「希望して堺市に転入した」の割合が2.5ポイント増加しています。

居住年数別でみると、20年以上以外で「希望してはいないが、事情により堺市に転入した」の割合が4割台で最も高くなっています。

堺市居住前の居住地別でみると、南河内地域以外で「希望してはいないが、事情により堺市に転入した」の割合が最も高くなっていますが、特にその他近畿圏で54.7%と高くなっています。



※定住意向別

「定住意向あり層」はA問1で「そう思う」または「ある程度そう思う」と回答した人、「定住意向なし層」はA問1で「どちらともいえない」「あまりそう思わない」または「思わない」と回答した人です。

※住居形態別

「持ち家」は、E問7で「持ち家（一戸建て）」「持ち家（マンション）」と回答した人、「賃貸・社宅・寮」はE問7で「公的賃貸住宅」「民間賃貸住宅」「社宅・寮」と回答した人です。

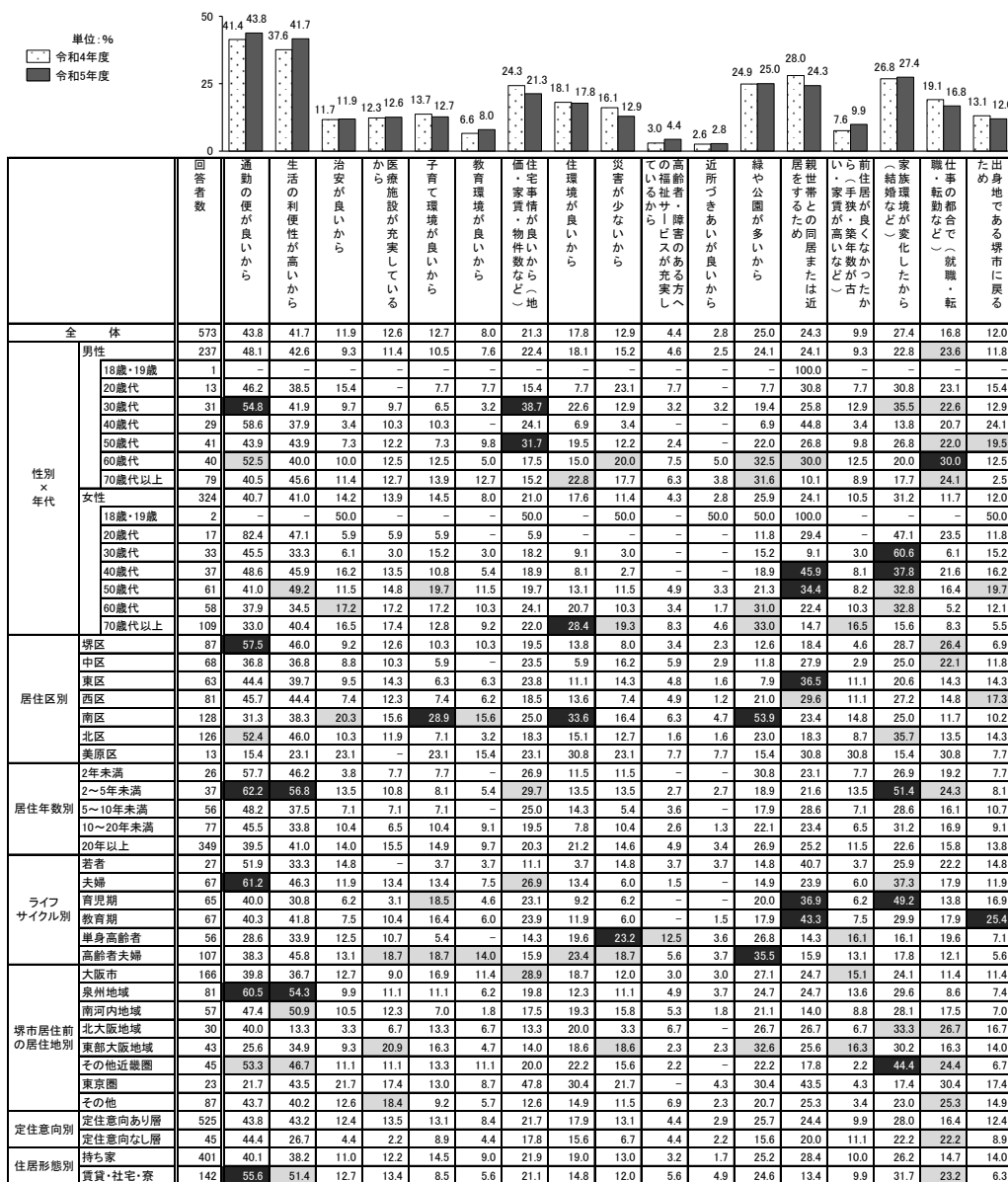
問2 問1で「希望して堺市に転入した」を選んだ方に伺います。
堺市内へ転入を希望したのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

堺市への転入や転出について、「希望して堺市に転入した」理由は、「通勤の便が良いから」の割合が43.8%と最も高く、次いで「生活の利便性が高いから」の割合が41.7%、「家族環境が変化したから（結婚など）」の割合が27.4%となっています。

令和4年度調査と比べると、「生活の利便性が高いから」の割合が4.1ポイント増加している一方、「親世帯との同居または近居をするため」「災害が少ないから」「住宅事情が良いから（地価・家賃・物件数など）」の割合が3ポイント以上減少しています。

居住区別でみると、堺区で「通勤の便が良いから」、南区で「緑や公園が多いから」の割合が5割以上と高くなっています。また、「住環境が良いから」「子育て環境が良いから」の割合も南区では全体より10ポイント以上高くなっています。

ライフサイクル別でみると、夫婦で「通勤の便が良いから」、育児期で「親世帯との同居または近居をするため」と「家族環境が変化したから（結婚など）」、教育期で「親世帯との同居または近居をするため」と「出身地である堺市に戻るため」、単身高齢者で「災害が少ないから」、高齢者夫婦で「緑や公園が多いから」などの割合が高くなっています。

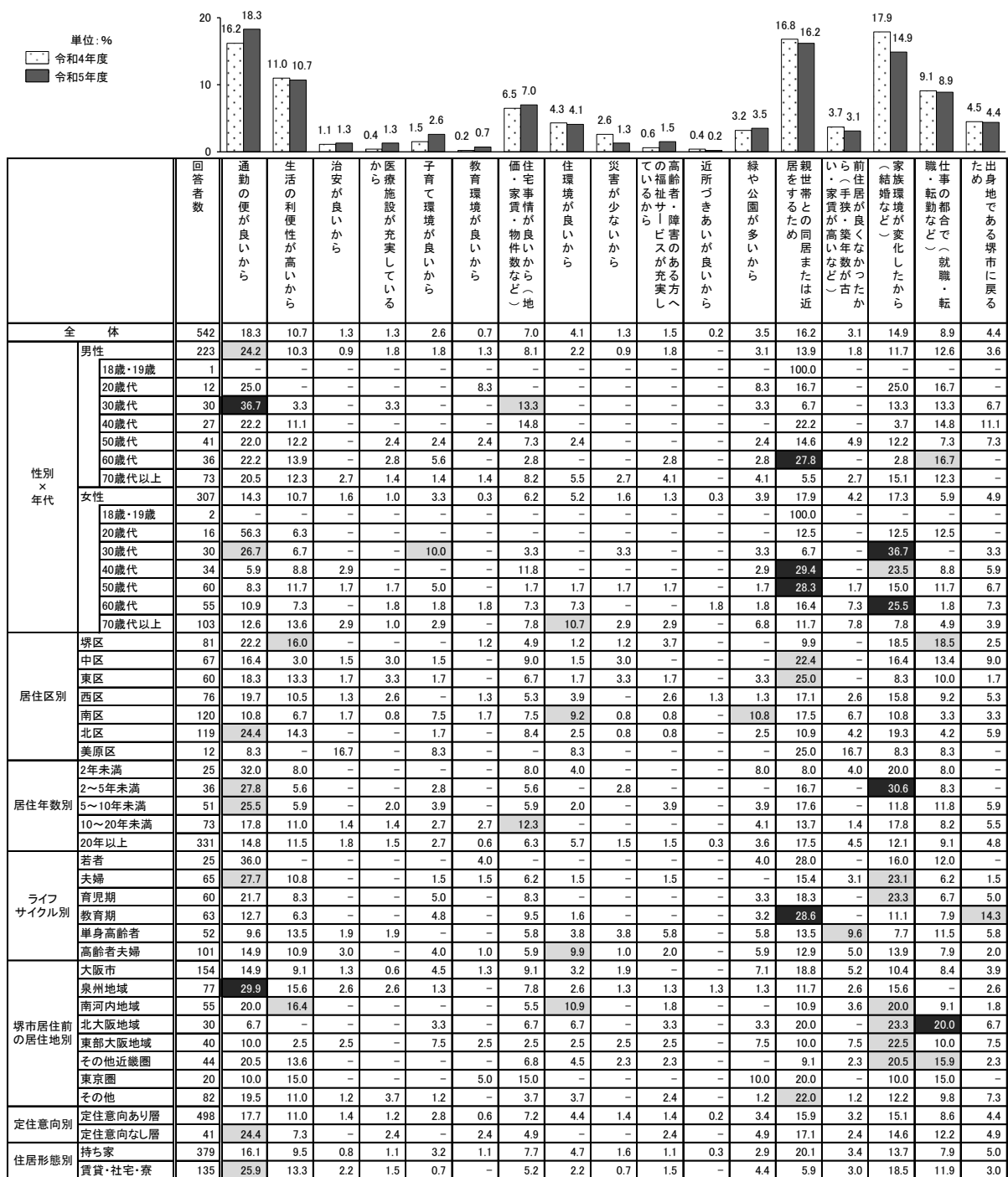


問3 前問でお答えいただいた堺市に転入を希望した理由の中で、最も大きな理由をひとつだけ選び、その番号をご記入ください。

堺市に転入を希望した最も大きな理由については、「通勤の便が良いから」の割合が18.3%と最も高く、次いで「親世帯との同居または近居をするため」の割合が16.2%、「家族環境が変化してから（結婚など）」の割合が14.9%となっています。

令和4年度調査と比べると、「通勤の便が良いから」の割合が2.1ポイント増加し、「家族環境が変化してから（結婚など）」の割合が3.0ポイント減少しています。

性別×年代で見ると、男性30歳代で「通勤の便が良いから」、女性30歳代で「家族環境が変化してから（結婚など）」の割合が3割以上と高くなっています。また、男性60歳代と女性40～50歳代では、「親世帯との同居または近居をするため」が2割台後半と高くなっています。



**問4 問2で「生活の利便性が高いから」を選んだ方に伺います。
生活の利便性が高いと感じた主な理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)**

堺市に転入を希望した理由について、「生活の利便性が高いから」を選んだ理由は、「スーパーやコンビニエンスストアが近くにあるから」の割合が85.7%と最も高く、次いで「病院や診療所が近くにあるから」の割合が65.4%、「保育施設や学校が近くにあるから」の割合が43.3%となっています。

令和4年度調査と比べると、「病院や診療所が近くにあるから」の割合が6.6ポイント減少し、「金融機関が近くにあるから」の割合が5.0ポイント増加しています。

居住区別でみると、西区で「スーパーやコンビニエンスストアが近くにあるから」、南区で「病院や診療所が近くにあるから」「保育施設や学校が近くにあるから」の割合が高くなっています。



問5 問2で「治安が良いから」を選んだ方に伺います。
治安が良いと感じた最も大きな理由は何ですか。(ひとつだけに○)

堺市に転入を希望した理由について、「治安が良いから」を選んだ理由は、「犯罪や事件が少ないと思ったから」の割合が54.2%と最も高く、次いで「警察や派出所が近くにあるから」の割合が22.0%となっています。

令和4年度調査と比べると、「犯罪や事件が少ないと思ったから」の割合が7.5ポイント増加しています。



問6 問2で「子育て環境が良いから」を選んだ方に伺います。
 子育て環境が良いと感じた最も大きな理由は何ですか。(ひとつだけに○)

堺市に転入を希望した理由について、「子育て環境が良いから」を選んだ理由は、「近所に子どもが遊べる公園があるから」の割合が30.5%と最も高く、次いで「保育施設が利用しやすい場所にあるから」と「近所に同年代の子どもが多いから」の割合がともに23.7%となっています。

令和4年度調査と比べると、「保育施設が利用しやすい場所にあるから」の割合が8.8ポイント増加し、「近所に子どもが遊べる公園があるから」の割合が16.3ポイント減少しています。



問7 問2で「教育環境が良いから」を選んだ方に伺います。
 教育環境が良いと感じた最も大きな理由は何ですか。(ひとつだけに○)

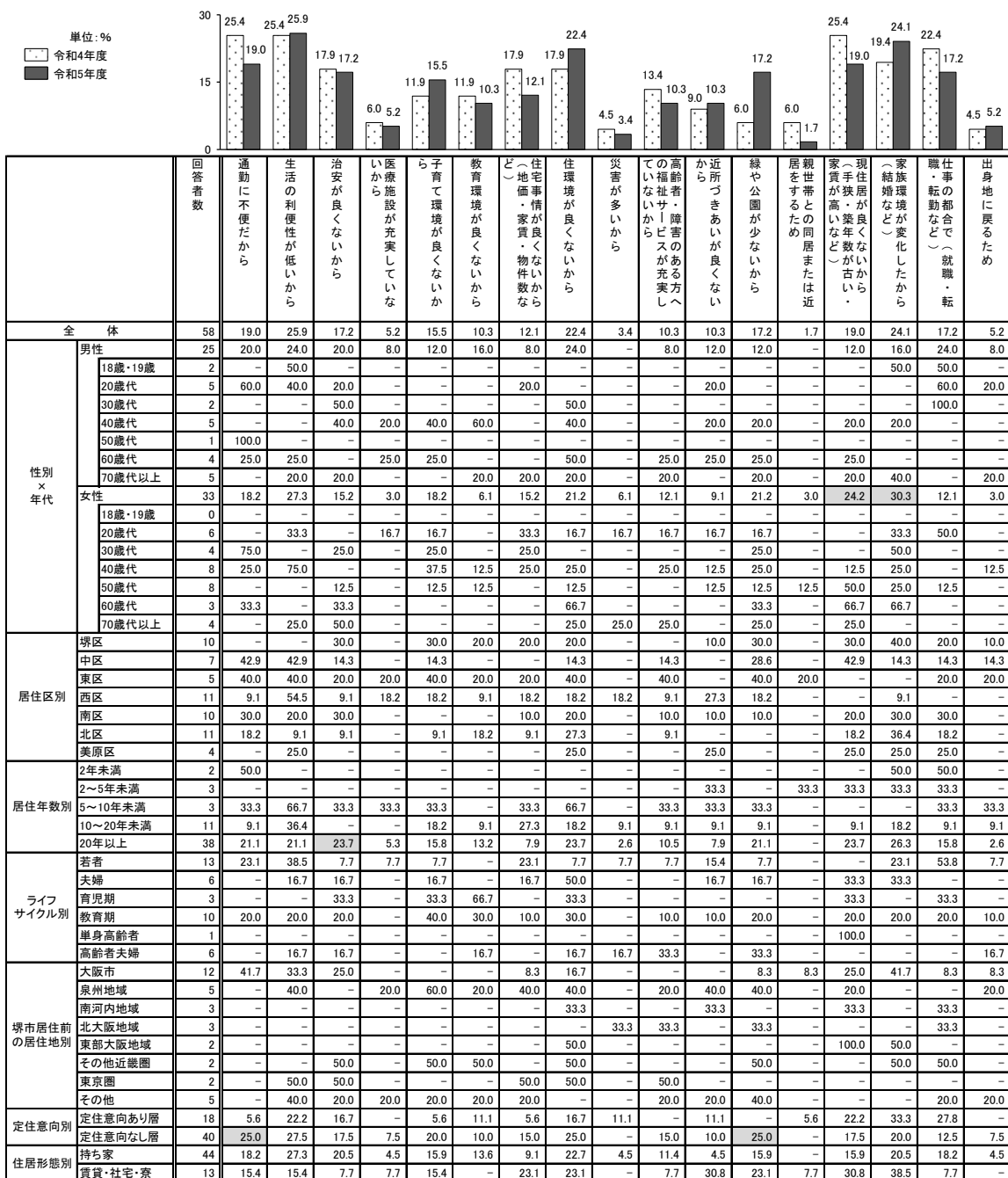
堺市に転入を希望した理由について、「教育環境が良いから」を選んだ理由は、「学校が近く
 あり、通学しやすいから」の割合が50.0%と最も高く、次いで「学力の向上が期待できると思
 ったから」の割合が28.9%となっています。



問8 問1で「希望して堺市外へ転出の予定がある」または「今後できれば堺市外へ転出したい」を選んだ方に伺います。堺市外への転出を希望するのはなぜですか。
(あてはまるものすべてに○)

堺市外への転出を希望する理由は、「生活の利便性が低いから」の割合が25.9%と最も高く、次いで「家族環境が変化したから(結婚など)」の割合が24.1%、「住環境が良くないから」の割合が22.4%となっています。

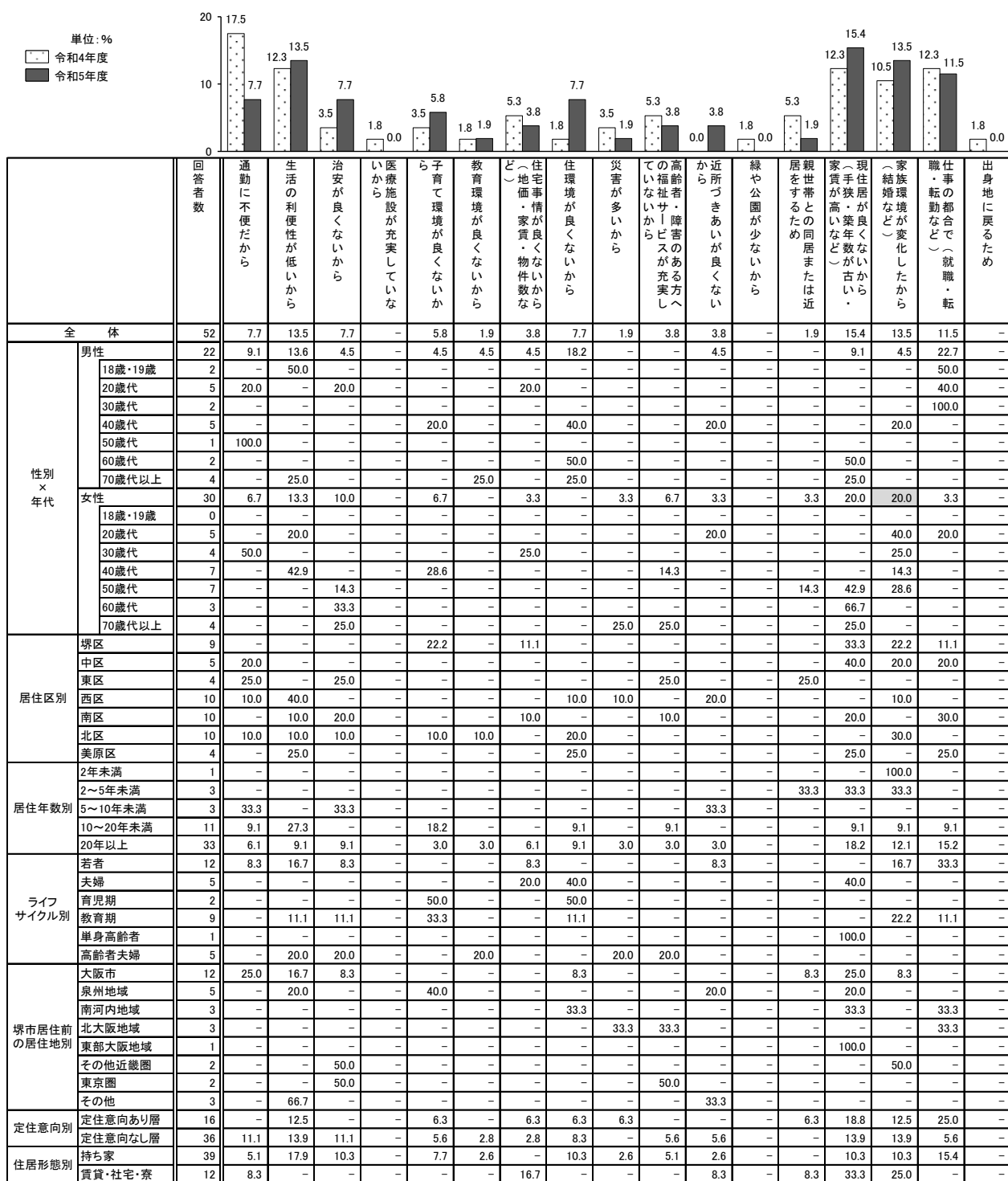
令和4年度調査と比べると、「緑や公園が少ないから」の割合が11.2ポイント、「家族環境が変化したから(結婚など)」と「住環境が良くないから」の割合が4ポイント以上増加しています。一方、「通勤に不便だから」「現住居が良くないから(手狭・築年数が古い・家賃が高いなど)」「住宅事情が良くないから(地価・家賃・物件数など)」「仕事の都合で(就職・転職・転勤など)」の割合は5ポイント以上減少しています。



問9 前問でお聞かせいただいた堺市外への転出を希望する理由の中で、最も大きな理由をひとつだけ選び、その番号をご記入ください。

堺市外への転出を希望する最も大きな理由については、「現住居が良くないから（手狭・築年数が古い・家賃が高いなど）」の割合が15.4%と最も高く、次いで「生活の利便性が低いから」と「家族環境が変化したから（結婚など）」の割合がともに13.5%となっています。

令和4年度調査と比べると、「住環境が良くないから」「治安が良くないから」の割合が4ポイント以上増加し、「通勤に不便だから」の割合が9.8ポイント減少しています。



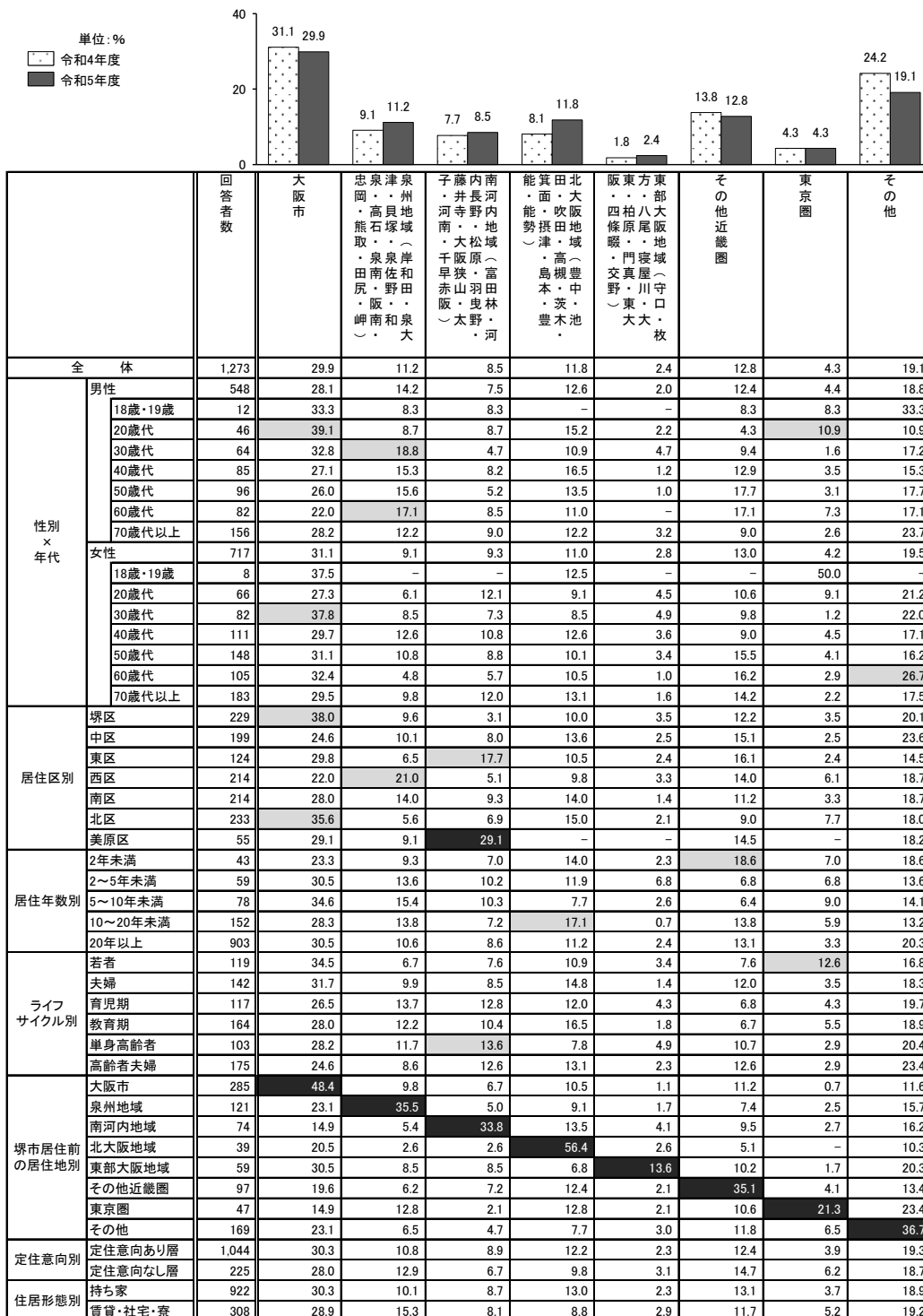
問 10 転出の予定がある方は転出予定先をお聞かせください。転出の予定がない方は、もし堺市以外に住むとしたら、どこに住みたいと思いますか。(ひとつだけに○)

堺市以外に住むとしたら、どこに住みたいと思うかについては、「大阪市」の割合が 29.9%と最も高くなっています。

令和 4 年度調査と比べると、「北大阪地域」の割合が 3.7 ポイント、「泉州地域」の割合が 2.1 ポイント増加しています。

居住区別でみると、堺区と北区で「大阪市」の割合が 3 割半ば以上、美原区で「南河内地域」の割合が約 3 割と高くなっています。

堺市居住前の居住地別にみると、以前住んでいた地域がそれぞれ高くなっています。



Ⅲ 調査票

令和5年度 市民意識調査

あなたの日常生活における意識や行動について伺います。

A 堺のまちについて

(例)	これからも堺市に住み続けたいですか。(ひとつだけに○)		
①	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問1	これからも堺市に住み続けたいですか。(ひとつだけに○)		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問2	堺市は魅力や愛着を感じるまちだと思いますか。(ひとつだけに○)		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問3	堺市は年齢や性別、国籍にかかわらず、能力を十分に発揮できる環境*が整っているまちだと思いますか。 ※多様性を認め合う、差別のない平等な社会のこと (ひとつだけに○)		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

B 安全・安心について（防災・防犯・子育て・健康・介護等）

問1	堺市は災害に強く、安全・安心に暮らせるまちだと思いますか。(ひとつだけに○)		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問2	堺市は治安に関する不安が少ないまちだと思いますか。(ひとつだけに○)		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問 3	生活に身近な犯罪（子どもや女性をねらった性犯罪・特殊詐欺・車上ねらい等の自動車関連犯罪など）に対して、あなたやあなたの家族が日頃から気にしている、または取り組んでいる防犯対策は何ですか。（あてはまるものすべてに○）		
1	防犯アプリを活用する、防犯ブザーや防犯ホイッスルなどの防犯・護身用グッズを携帯するなどの対策をしている		
2	暗い夜道を避ける、1人での外出や歩行中のイヤホン使用を控えるなど警戒している		
3	不審な電話には、一旦電話を切って確認するなどしている		
4	車や自転車を離れる際はドアや鍵の施錠を行い、貴重品を置かないようにしている		

問 4	生活に身近な犯罪（子どもや女性をねらった性犯罪・特殊詐欺・車上ねらい等の自動車関連犯罪など）を減らすために、有効と考えるものはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）		
1	街頭防犯カメラ・防犯灯などの設置推進		
2	警察によるパトロール強化		
3	地域による子ども見守り・パトロール活動など自主防犯活動の充実		
4	行政や警察からの犯罪情報の積極的な発信		

問 5	堺市は子育てがしやすいまちだと思いますか。（ひとつだけに○）		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問 6	あなたがお住まいの地域は近所づきあいが良いと思いますか。（ひとつだけに○）		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問 7	健康・介護など日常生活における困りごとについて、相談に乗ってくれたり助けてくれる人が身近にいますか。（ひとつだけに○）		
1	いる		
2	いない		

問 8	あなたは、生活や健康等の悩みがあるときの相談窓口を知っていますか。（ひとつだけに○） ※相談窓口とは、行政機関による公的なものだけでなく民間団体によるものも含まれます。また電話、対面、訪問、SNS等の形態を問いません。		
1	知っている		
2	知らない		

問 9	あなたはゲートキーパーについて知っていますか。(ひとつだけに○)		
	※ゲートキーパーとは、悩んでいる人や自殺の危険を示すサインを発している人に気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な相談窓口や支援につなげ、見守る人のことです。		
	1	内容を知っている	
	2	名称は聞いたことがある	
3	知らない		

問 10	堺市は、地域行事（まつり、清掃活動、交流イベント等）や防犯、防災に関する取組など、地域でのさまざまな活動が活発なまちだと思いますか。(ひとつだけに○)		
	1	2	3
	4	5	6
	7	8	9

問 11	高齢者や子どもの見守りなど、地域福祉活動に参加したことがありますか。(ひとつだけに○)		
	1	ある	
	2	ない	

問 12	前問で「2」を選んだ方に伺います。		
	参加したことがない、最も大きな理由をお選びください。(ひとつだけに○)		
	1	2	3
	4	5	6

問 13	定期的に血圧や体重を測定するなど、自分自身の健康状態をチェックしていますか。(ひとつだけに○)		
	1	している	
	2	していない	

問 14	40歳～74歳の方に伺います。		
	あなたは特定健康診査を受診していますか。(ひとつだけに○)		
	※特定健康診査とは、生活習慣病の予防のため、40歳から74歳までの方を対象に、メタボリックシンドロームに着目し行う健診のことで、職場の健康診断や人間ドックを含みます。		
	1	受診している	
2	受診していない		

問 15	前問で「2」を選んだ方にお伺いします。		
	受診していない、最も大きな理由をお選びください。(ひとつだけに○)		
	1	2	3
	4	5	6

問 16	医療や介護、健康について相談でき、必要なときには専門機関などを紹介してくれる、かかりつけの医師はいますか。(ひとつだけに○)		
1	いる		
2	いない		

問 17	前問で「2」を選んだ方に伺います。かかりつけの医師がない、最も大きな理由をお選びください。(ひとつだけに○)		
1	特に健康に問題はなく、医療機関にかかることがほとんどないから	4	かかりつけの医療機関を持つ必要性を感じないから
2	その都度、受診する医療機関を選んでいるから	5	医療費が経済的に負担になるから
3	どういった医療機関に行けばいいのか、よく分からないから	6	その他

問 18	外出する頻度はどのくらいですか。※学校、仕事、買い物、飲食、隣近所等への外出を含む(ひとつだけに○)		
1	週 5 回以上	5	月に数回
2	週 4 回	6	年に数回
3	週 2~3 回	7	外出しない
4	週 1 回		

問 19	1日に30分以上の運動(日常の歩行や自転車を含む)やスポーツはどれくらい行っていますか。(ひとつだけに○)		
1	週 3 回以上	4	毎週ではないが月に数回
2	週 2 回	5	ほとんど行っていない
3	週 1 回		

問 20	前問で「5」を選んだ方に伺います。ほとんど行っていない理由をお選びください。(あてはまるものすべてに○)		
1	面倒だから	4	場所や施設がないから
2	時間がないから	5	病気やけがをしているから
3	仲間がないから		

問 21	各種講座への参加、個人で行う学習、教育機関で行う学習、趣味やボランティアを通じた学習などの生涯学習活動に取り組んでいますか。(ひとつだけに○)		
1	おおむね毎週取り組んでいる	3	あまり取り組んでいない
2	月に数回取り組んでいる	4	取り組んでいない

C 都市魅力について（文化・観光・産業・環境等）

問 1	堺市はまちなみの美しさに満足できるまちだと思いますか。（ひとつだけに○）		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問 2	堺市は海外の人たちに紹介したくなる魅力がある都市だと思いますか。（ひとつだけに○）		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問 3	おおむね 1 年以内に、外国人と交流しましたか。※SNS などオンラインでの交流を含む（ひとつだけに○）		
1	した		
2	していない		

問 4	前問で「2」を選んだ方に伺います。 交流していない、最も大きな理由をお選びください。（ひとつだけに○）		
1	興味がなから	4	時間がないから
2	交流する機会がないから	5	文化や慣習を理解しあえないと思うから
3	言葉が通じないから	6	その他

問 5	堺市は歴史文化資源を身近に感じることができるまちだと思いますか。（ひとつだけに○）		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問 6	次のうち、堺の伝統産業であることを知っているものをお選びください。（あてはまるものすべてに○）		
1	刃物	4	昆布加工
2	注染・和晒	5	敷物（緞通）
3	線香	6	自転車

問 7	次の堺産品で購入したことがあるものをお選びください。（あてはまるものすべてに○）		
1	堺打刃物・堺刃物	4	昆布（おぼろ昆布・とろろ昆布）
2	注染・和晒（手ぬぐい・ゆかた）	5	和菓子
3	線香		

問 8	自転車を利用する方に伺います。 あなたがお住まいの地域の自転車の利用環境に満足していますか。(ひとつだけに○)		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問 9	前問で「3」「4」「5」を選んだ方に伺います。 あなたがお住まいの地域の自転車利用環境について、次の項目のうち、満足していないものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)		
1	自転車を楽しむ機会の充実度	4	駅前駐輪場の利便性
2	シェアサイクルの利用しやすさ	5	道路の走りやすさ
3	自転車利用者の交通ルールの順守度		

問 10	堺市は文化・芸術活動をしやすいまちだと思いますか。(ひとつだけに○)		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問 11	フェニーチェ堺（堺市民芸術文化ホール）や文化会館、文化館（堺 アルフォンス・ミュシャ館）を文化・芸術の活動や鑑賞等のために利用したことがありますか。(ひとつだけに○)		
1	週 1 回以上利用している	4	定期的な利用はないが、過去に利用したことがある
2	毎週ではないが、月に数回利用している	5	利用したことはない
3	毎月ではないが、年に数回利用している		

問 12	前問で「4」「5」を選んだ方に伺います。 その選択肢を選んだ理由をお選びください。(あてはまるものすべてに○)		
1	施設存在を知らなかったから	4	申し込みが面倒だから
2	施設使用料、観覧料等が高いから	5	自宅から遠い等、施設が利用しづらい場所にあるから
3	興味のある公演や文化活動等がないから		

問 13	概ね 6 か月以内に、通勤、通学以外の目的で都心エリアを訪れましたか。(ひとつだけに○) ※都心エリアとは、堺東駅から堺駅の周辺や阪堺線沿線を含むエリアであり、さかい利晶の杜や大浜公園などの施設や店舗なども含まれます。		
1	訪れた		
2	訪れていない		

問 14	前問で「1」を選んだ方に伺います。 次のどのような目的で訪れましたか。(あてはまるものすべてに○)		
1	買物・食事	4	観光
2	娯楽・レジャー・催事	5	公共施設（市役所、保健センター、病院等）の利用
3	文化活動・習い事等		

問 15	問 13 で「1」を選んだ方に伺います。 都心エリアでの平均滞在時間は、どのくらいでしたか。(ひとつだけに○)		
1	1 時間以内	3	3 時間～5 時間程度
2	1 時間～2 時間程度	4	6 時間以上

問 16	現在、仕事をしておらず、就職活動もしていない方に伺います。 その理由はなぜですか。(あてはまるものすべてに○)		
1	病気やけがのため	4	育児や介護などで家を離れられないため
2	高齢のため	5	自分に合う仕事が見つからなかったため
3	配偶者の収入や蓄えなどで、仕事をしなくても生活ができるため	6	仕事することに不安があるため

問 17	堺市内で採れた食材を、選んで食べていますか。(おおむね 6 か月以内) (ひとつだけに○)		
1	おおむね毎週食べている	3	時々食べている
2	月に数回食べている	4	食べていない

問 18	前問で「3」「4」を選んだ方に伺います。 どうすれば、今よりも市内で採れた食材を食べようと思いますか。(あてはまるものすべてに○)		
1	もっと購入できる場所が増えれば	4	もっと安ければ
2	もっと「堺産」であることが分かりやすければ	5	もっと種類が豊富であれば
3	もっと他産地の食材と比べて違いや良さがわかれば		

問 19	あなたは「消費期限」と「賞味期限」の意味を知っていますか。(ひとつだけに○)		
1	どちらも知っている	3	「賞味期限」は知っているが、「消費期限」は知らない
2	「消費期限」は知っているが、「賞味期限」は知らない	4	知らない

問 20	あなたはどのような理由で「食品ロス」を発生させたことがありますか。(あてはまるものすべてに○) ※食品ロスとは、食べ残し、賞味期限切れ等の理由により食べられるのに捨てられている食品のことです。		
1	必要以上に買すぎたから	3	食材を傷ませてしまったから
2	作りすぎて食べきれなかったから	4	飲食店等で注文し過ぎた。小盛りメニューがなかったから

問 21 ごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか。(ひとつだけに○)			
1	積極的に取り組んでいる	3	あまり取り組んでいない
2	ごみの分別などルールを守っている	4	取り組んでいない

問 22 レジ袋有料化後、あなたがレジ袋を購入したのはどのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)			
1	マイバッグを忘れたから	4	レジ袋が安価で負担にならないから
2	マイバッグに入りきらなかったから	5	レジ袋を購入したことはない
3	マイバッグを持ち歩くのが面倒だから		

問 23 戸建て住宅の持ち家にお住まいの方に伺います。 あなたがお住まいの住宅では、太陽光発電を導入していますか。(ひとつだけに○)			
1	導入している		
2	導入していない		

問 24 前問で「2」を選んだ方に伺います。 導入していない理由をお選びください。(あてはまるものすべてに○)			
1	日照条件が悪い等の建物立地上の課題があるから		
2	耐荷重といった建物強度や屋根の漏水等の心配があるから		
3	太陽光発電の導入費用が高いから		
4	太陽光発電の導入について関心がないから		

問 25 あなたは、堺市 LINE 公式アカウントを登録していますか。(ひとつだけに○)			
1	登録している		
2	登録していない		

問 26 前問で「2」を選んだ方に伺います。 あなたが堺市 LINE 公式アカウントを登録していない理由をお選びください。(あてはまるものすべてに○)			
1	登録の仕方がわからないから	4	LINE で情報が欲しいと思わないから
2	メッセージが頻繁に届きそうだから	5	堺市 LINE 公式アカウントを知らなかったから
3	不要な情報ばかり届きそうだから	6	そもそも LINE を利用していないから

問 27 あなたは、堺市広報課 X (旧 Twitter) をフォローしていますか。(ひとつだけに○)			
1	フォローしている		
2	フォローしていない		

問 28 前問で「2」を選んだ方に伺います。 あなたが堺市広報課 X (旧 Twitter) をフォローしていない理由をお選びください。(あてはまるものすべてに○)			
1	フォローの仕方がわからないから	4	X (旧 Twitter) で情報が欲しいと思わないから
2	発信の頻度が多いから	5	堺市広報課 X (旧 Twitter) を知らなかったから
3	発信内容に魅力を感じないから	6	そもそも X (旧 Twitter) を利用していないから

問 29	泉北ニュータウンにおいて、子育て世代の住民を増やすためには、どのようなことが必要だと思いますか。 (あてはまるものすべてに○)		
1	子育て世代のライフスタイルに合った住宅の供給	5	医療機関の充実
2	身近な場所で働ける機会の提供	6	日常の買い物の便利さ
3	子育て環境の充実	7	鉄道・バスなどの公共交通の便利さ
4	教育環境の充実		

D 転入、転出について

問 1	堺市への転入や転出について、あてはまるものをお選びください。(ひとつだけに○)		
1	希望して堺市に転入した	4	希望してはいないが、事情により堺市外へ転出の予定がある
2	希望してはいないが、事情により堺市に転入した	5	今後できれば堺市外へ転出したい
3	希望して堺市外へ転出の予定がある	6	どれもあてはまらない(生まれてから堺市居住も含む)

問 2	問 1 で「1」を選んだ方に伺います。 堺市内へ転入を希望したのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)		
1	通勤の便が良いから	10	高齢者・障害のある方への福祉サービスが充実しているから
2	生活の利便性が高いから	11	近所づきあいが良いから
3	治安が良いから	12	緑や公園が多いから
4	医療施設が充実しているから	13	親世帯との同居または近居をするため
5	子育て環境が良いから	14	前住居が良くなかったから(手狭・築年数が古い・家賃が高いなど)
6	教育環境が良いから	15	家族環境が変化したから(結婚など)
7	住宅事情が良いから(地価・家賃・物件数など)	16	仕事の都合で(就職・転職・転勤など)
8	住環境が良いから	17	出身地である堺市に戻るため
9	災害が少ないから		

問 3	前問でお答えいただいた堺市に転入を希望した理由の中で、最も大きな理由をひとつだけ選び、その番号をご記入ください。		
-----	--	--	--

問 4	問 2 で「2」を選んだ方に伺います。 生活の利便性が高いと感じた主な理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)		
1	スーパーやコンビニエンスストアが近くにあるから	4	金融機関が近くにあるから
2	病院や診療所が近くにあるから	5	その他
3	保育施設や学校が近くにあるから		

問 5	問 2 で「3」を選んだ方に伺います。 治安が良いと感じた最も大きな理由は何ですか。(ひとつだけに○)		
1	犯罪や事件が少ないと思ったから	4	警察や派出所が近くにあるから
2	防犯意識が高いと思ったから	5	その他
3	防犯カメラや防犯灯が多いと思ったから		

問 6	問 2 で「5」を選んだ方に伺います。 子育て環境が良いと感じた最も大きな理由は何ですか。(ひとつだけに○)		
1	保育施設が利用しやすい場所にあるから	4	子育て支援制度が充実しているから
2	近所に子どもが遊べる公園があるから	5	その他
3	近所に同年代の子どもが多いから		

問 7	問 2 で「6」を選んだ方に伺います。 教育環境が良いと感じた最も大きな理由は何ですか。(ひとつだけに○)		
1	学校が近くにあり、通学しやすいから	4	学習塾や習い事に通いやすいから
2	学力の向上が期待できと思ったから	5	その他
3	子ども同士の仲が良いと思ったから		

問 8	問 1 で「3」または「5」を選んだ方に伺います。 堺市外への転出を希望するのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)		
1	通勤に不便だから	10	高齢者・障害のある方への福祉サービスが充実していないから
2	生活の利便性が低いから	11	近所づきあいが良くないから
3	治安が良くないから	12	緑や公園が少ないから
4	医療施設が充実していないから	13	親世帯との同居または近居をするため
5	子育て環境が良くないから	14	現住居が良くないから（手狭・築年数が古い・家賃が高いなど）
6	教育環境が良くないから	15	家族環境が変化したから（結婚など）
7	住宅事情が良くないから（地価・家賃・物件数など）	16	仕事の都合で（就職・転職・転勤など）
8	住環境が良くないから	17	出身地に戻るため
9	災害が多いから		

問 9	前問でお聞かせいただいた堺市外への転出を希望する理由の中で、最も大きな理由をひとつだけ選び、その番号をご記入ください。		
------------	--	--	--

問 10	問 8 で「2」を選んだ方に伺います。 生活の利便性が低いと感じた主な理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)		
	1	スーパーやコンビニエンスストアが近くにないから	4 金融機関が近くにないから
	2	病院や診療所が近くにないから	5 その他
	3	保育施設や学校が近くにないから	

問 11	問 8 で「3」を選んだ方に伺います。 治安が良くないと感じた最も大きな理由は何ですか。(ひとつだけに○)		
	1	犯罪や事件が多いと思ったから	4 警察や派出所が近くにないから
	2	防犯意識が低いと思ったから	5 その他
	3	防犯カメラや防犯灯が少ないと思ったから	

問 12	問 8 で「5」を選んだ方に伺います。 子育て環境が良くないと感じた最も大きな理由は何ですか。(ひとつだけに○)		
	1	保育施設が利用しやすい場所がないから	4 子育て支援制度が充実していないから
	2	近所に子どもが遊べる公園がないから	5 その他
	3	近所に同年代の子どもが少ないから	

問 13	問 8 で「6」を選んだ方に伺います。 教育環境が良くないと感じた最も大きな理由は何ですか。(ひとつだけに○)		
	1	学校が遠くにあり、通学しにくいから	4 学習塾や習い事に通いにくいから
	2	学力の向上が期待できないと思ったから	5 その他
	3	子ども同士の仲が良くないと思ったから	

問 14	転出の予定がある方は転出予定先をお聞かせください。転出の予定がない方は、もし堺市以外に住むとしたら、どこに住みたいと思いますか。(ひとつだけに○)		
	1	大阪市	5 東部大阪地域 (守口・枚方・八尾・寝屋川・大東・柏原・門真・東大阪・四條畷・交野)
	2	泉州地域 (岸和田・泉大津・貝塚・泉佐野・和泉・高石・泉南・阪南・忠岡・熊取・田尻・岬)	6 その他近畿圏
	3	南河内地域 (富田林・河内長野・松原・羽曳野・藤井寺・大阪狭山・太子・河南・千早赤阪)	7 東京圏
	4	北大阪地域 (豊中・池田・吹田・高槻・茨木・箕面・摂津・島本・豊能・能勢)	8 その他

E あなたご自身のことについて

あなたご自身のことについて、あてはまるものをお選びください。

問 1 お住まいの区（ひとつだけに○）			
1	堺区	5	南区
2	中区	6	北区
3	東区	7	美原区
4	西区		

問 2 性別（ひとつだけに○）	
1	男性
2	女性
3	「1」「2」にあてはまらない

問 3 年齢（数字をご記入ください）	
_____	歳

問 4 同居している世帯の構成（ひとつだけに○）			
1	単身世帯（ひとり暮らし）	4	三世帯世帯（親と子と孫）
2	夫婦のみ	5	その他
3	二世帯世帯（親と子）		

問 5 同居家族等（あてはまるものすべてに○）			
1	就学前（0～6歳）の家族がいる	5	75歳以上の家族がいる
2	小学生の家族がいる	6	1～5以外の家族がいる
3	中学生の家族がいる	7	同居していない家族（親、子、孫など3親等内の親族）が市内に住んでいる
4	65～74歳の家族がいる		

問 6 職業（ひとつだけに○）			
1	会社員・公務員（正規雇用）	6	農林漁業
2	派遣社員・契約社員・嘱託社員	7	その他就労 （「1」～「6」以外の形態で就労している）
3	アルバイト・パートタイマー（アルバイト等をしている学生を含む）	8	家事専業
4	会社等役員	9	無職（収入が年金のみの方、アルバイト等をしていない学生を含む）
5	自営業・自由業（自営業の手伝い・内職含む）		

問 7 お住まい（ひとつだけに○）			
1	持ち家（一戸建て）	4	民間賃貸住宅
2	持ち家（マンション）	5	社宅・寮
3	公的賃貸住宅	6	その他

問 8 堺市に何年住んでいますか。（数字をご記入ください）	
_____年（1年未満の方は「0」とご記入ください）	

問 9 堺市に住む前は、どちらに住んでいましたか。（ひとつだけに○）			
1	生まれてからずっと堺市に住んでいる	6	東部大阪地域（守口・枚方・八尾・寝屋川・大東・柏原・門真・東大阪・四條畷・交野）
2	大阪市	7	その他近畿圏
3	泉州地域（岸和田・泉大津・貝塚・泉佐野・和泉・高石・泉南・阪南・忠岡・熊取・田尻・岬）	8	東京圏
4	南河内地域（富田林・河内長野・松原・羽曳野・藤井寺・大阪狭山・太子・河南・千早赤阪）	9	その他
5	北大阪地域（豊中・池田・吹田・高槻・茨木・箕面・摂津・島本・豊能・能勢）		

お忙しい中、ご協力いただき、ありがとうございました。

【お願い】 本調査票に回答を記載された場合は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて

令和 6 年 1 月 26 日（金） までに郵便ポストに投函をお願いします。

堺の魅力 発信中！

市政やイベントなど旬の情報のほか、災害情報をお届けします。

堺市LINE公式アカウントでは、欲しい情報を選んで
受信できるセグメント配信も実施中。ぜひご登録ください！



堺市LINE公式アカウント
@sakai-city



堺市広報課X(旧ツイッター)
https://twitter.com/sakai_koho/



堺市広報課フェイスブック
<https://www.facebook.com/koho.sakaicity/>



堺市公式インスタグラム
https://www.instagram.com/sakaicity_official/



堺動画チャンネル(YouTube)
▶堺の魅力や市長記者会見などの動画を発信
<https://www.youtube.com/user/sakaivideochannel>

堺市公式アカウントについてのお問い合わせ先

堺市広報課 〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号

TEL:(072)228-7402(直通) / FAX:(072)228-8101

令和5年度
堺市市民意識調査報告書

発行：令和6年3月

堺市 市長公室 政策企画部
〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号
TEL 072-228-7517 FAX 072-222-9694
HP <https://www.city.sakai.lg.jp>

堺市行政資料番号 1-C2-24-0034